

更	變
更	變

第 號							登記 番號
社員ノ	氏名、	住所、	出資ノ	種類、	價格及	ヒ責任	商號
更							變

社員ノ	氏名、	住所、	出資ノ	種類、	價格及	ヒ責任
更						

附錄第八號

株式會社登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ

枚

地方裁判所長

更	變
更	變

附錄第九號

株式合資會社登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ

枚

地方裁判所長

更	變
更	變

號					第 番 登 記		
五 月 日	四 目 的	三 支 店	二 本 店	一 商 號	官 登 及 月 ノ 登 記 及 日 年 記		
					第 二 十 三 號 ヨリ マテ 月 日 登 記 年	第 十 五 號 ヨリ マテ 日 登 記 年 月	第 一 號 ヨリ マテ 日 登 記 年 月
一 十 所	十 監 查 役 ノ 氏 名 住	九 代 表 社 員 ノ 氏 名	八 公 告 ノ 爲 ス 方 法	七 各 株 ニ 付 キ 拂 込 ミ タ ル 株 金 額	六 一 株 ノ 金 額	株 金 ノ 總 額	

二十	一十二	十二	九十	八十	七十	六十	五十	四十	三十
金付各	月決株	ノ増加	額ミ付各	ヒノ社	率社債ノ	金各社債ノ	額社債ノ	キ配業前	散期存
額タキ新	日議金増	ノ總株	ミタキ拂	ノ方債	社債ノ利	各社債ノ	額社債ノ	利率スヘ	ノ又立
株込株ニ	年加	金	込ニ	法及還					ノハ時

六	十	二	五	十	二	四	十	二	三	十	二
ノ年月日	清算結了		所	氏名、住	清算人ノ	四月日	由及ヒ年	解散ノ事	株式ノ數	其各種ノ	優先株ノ
【明治】 日登記			【明治】 日登記			【明治】 日登記					
年			年			年					
月			月			月					

更	變
更	變

更	變
更	變

更		變	
更		變	

附錄第十號

何々登記見出帳

區裁判所

部		ノ	
名 稱	登	記	簿
	冊 數		
冊數丁數登記番號ノ繼續用紙冊數		備	
考		考	

(台三)

丁

部		ノ	
名 稱	登	記	簿
	冊 數		
冊數丁數登記番號ノ繼續用紙冊數		備	
考		考	

附錄第十一號

商業登記受附帳

區裁判所

更		變	
更		變	

受附ノ年
月日
受附番號
的登記ノ目
氏申請人ノ
氏名

備

考

(台三)

丁

六 謄本抄本證明書交付帳
七 受領證原符元帳

前項第二號乃至第七號ノ帳簿ハ一各年毎ニ別冊ト爲スヘシ但分冊スルコトヲ妨ケス

第五條 相互會社ノ設立ノ登記ノ申請書ニハ設立ノ年月日ヲ記載スヘシ外國相互保險會社ノ登記ノ申請書ニ添付スヘキ書類カ外國語ヲ以テ記載シタルモノナルトキハ申請人ハ之ニ其譯文ヲ添付スヘシ

第六條 登記所ニ差出スヘキ社員名簿ノ表紙ハ厚紙ヲ用キ表面ニ相互會社社員名簿ト記載シ裏面ニ其枚數ヲ記載シ申請人記名捺印スヘシ

社員名簿ノ用紙ニハ丁數ヲ記入シ且毎葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ取締役又ハ監査役カ多數ナルトキハ各一人ノ記名捺印又ハ契印ヲ以テ足ル

第七條 社員名簿カ二冊以上ナルトキハ申請人ハ各冊ノ表紙ニ其冊數ヲ記載スヘシ

第七條ノ二 相互會社カ其主タル事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ新所在地ノ登記所ニ登記ヲ申請スルトキハ更ニ社員名簿ヲ差出スヘシ但社員名簿ニハ現存セル事項ノミヲ記載スヘシ

前項ノ規定ハ外國相互保險會社カ其事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ之ヲ準用ス

第八條 社員名簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其申請書ニ變更シタル事項ノ記載アル用紙ヲ編綴セル社員名簿ノ冊數及ヒ丁數ヲ記載スヘシ

第九條 相互會社ノ設立ノ年月日ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ記載スヘシ第九條ノ二 相互會社ノ支配人ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ

第十條 登記官吏カ登記ヲ爲シタルトキハ社員名簿ノ表紙ニ登記番號、受附ノ年月日、受附番號及ヒ登記所ノ名稱ヲ記載スヘシ

第十一條 社員名簿ノ記載ノ變更ノ申請アリタルトキハ社員登記簿ノ登記用紙中番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ變更シタル事項ノ記載アル社員名簿ノ冊數及ヒ丁數ヲ記載シ相當欄ニ保險業法第四十九條ノ規定ニ依リ社員名簿ニ記載シタル事項ヲ移シタル上變更欄ニ其登記ヲ爲スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ社員名簿中相當部分ノ餘白ニ社員登記簿第何冊第何丁ニ移シタル旨及ヒ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第十二條 社員ノ入社ニ因リ社員名簿ノ記載ノ變更ノ申請アリタルトキハ社員登記簿ノ登記用紙中番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ相當欄ニ保險業法第四十九條ニ掲ケタル事項ヲ登記スヘシ

第十三條 社員ノ退社ニ因リ社員名簿ノ記載ノ變更ノ申請アリタルトキハ社員名簿中相當部分ノ餘白ニ其登記ヲ爲シ退社シタル社員ノ氏名ヲ朱抹スヘシ

若シ其社員カ社員登記簿ニ登記セラレタル者ナルトキハ社員登記簿ノ登記用紙中變更欄ニ退社ノ登記ヲ爲シ登記番號及ヒ其社員ノ氏名ヲ朱抹スヘシ

第十四條 社員登記簿ノ登記用紙中或欄カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新ニ番號欄ニ前番號ヲ轉寫シ其左側ニ第二ノ文字、前番號ノ用紙ヲ編綴セル社員登記簿ノ冊數、丁數及ヒ其繼續用紙ナルコトヲ記載シ社員ノ氏名、住所欄ニ社員ノ氏名、住所ヲ移シタル上登記ヲ爲スヘシ

附錄第一號

相互保險會社登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ

枚

地方裁判所長

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ前用紙ノ番號ノ左側ニ第一ノ文字並ニ繼續用紙ヲ編綴セル社員登記簿ノ冊數、丁數及ヒ之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ
前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス
第十四條ノ二 本令中社員名簿及ヒ社員登記簿ニ關スル規定ハ社員ノ全員カ保險料ヲ限度トシテ責任ヲ負フ會社ニハ之ヲ適用セス
第十四條ノ三 社員ノ全員カ保險料ヲ限度トシテ責任ヲ負フ會社ノ社員名簿ハ第四條第二號ノ帳簿ニ之ヲ編綴スヘシ
第十五條 不動産登記法施行細則第四條、第五條、第十二條、第二十條乃至第二十四條、第二十七條、第三十三條乃至第三十五條ノ二、第三十六條、第三十七條、第三十九條、第四十七條、第五十一條及ヒ商業登記取扱手續第五條乃至第七條、第九條乃至第二十條、第二十一條第一項、第三項、第五項、第二十三條乃至第二十八條、第二十九條乃至第三十三條、第四十三條ノ三、第四十三條ノ五乃至第四十四條ノ四、第四十四條ノ七乃至第四十六條、第四十七條第二項、第四十八條、第四十九條ノ三ノ規定ハ相互保險會社ノ登記ニ之ヲ準用ス
第十六條 商業登記取扱手續第四十四條ノ二ノ規定ハ外國相互保險會社カ其事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ之ヲ準用ス
第十七條 外國相互保險會社ノ登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外相互保險會社ノ登記ニ關スル規定ヲ準用ス
附則
受附番號ハ明治三十三年分ニ限リ七月一日ニ始メ十二月三十一日ニ止ムヘシ

號						第	登
						記	號
						官	及
						印	年
						一	登
						名	記
						稱	ノ
						一	年
						事	月
						務	日
						所	登
						二	記
						保	ノ
						險	第
						ノ	一
						三	欄
						種	【
						類	明
						四	治
						事	年
						業	月
						ノ	登
						四	記
						範	ノ
						圍	第
						五	十
						基	四
						金	日
						ノ	登
						五	記
						總	ノ
						額	第
						六	十
						基	四
						金	日
						ノ	登
						六	記
						利	ノ
						ヘ	第
						キ	一
						權	欄
						一	【
						十	明
						一	治
						分	年
						配	月
						ノ	登
						九	記
						分	ノ
						配	第
						ノ	十
						十	四
						社	日
						員	登
						ノ	記
						十	ノ
						責	第
						任	十
						ノ	四
						十	日
						十	登
						種	記
						類	ノ
						一	第
						十	一
						公	欄
						告	【
						ヲ	明
						一	治
						十	年
						十	月
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ
						十	第
						十	十
						十	四
						十	日
						十	登
						十	記
						十	ノ

○相互保險會社ニ關スル登記事務

取扱所

明治三十三年七月十四日
司法省令第二十三號

相互保險會社ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テノミ之ヲ取扱ハシム

○外國相互保險會社ニ關スル登記

事務取扱所

明治三十三年十月六日
司法省令第三十八號

外國相互保險會社ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テノミ之ヲ取扱フ

第六節 工場、鑛業抵當

○工場抵當登記取扱手續

明治三十八年六月二十六日
司法省令第十八號

改正 大正五年第二七號

第一條 工場抵當法ニ依ル登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外
不動産登記法施行細則ノ規定ニ依ル

第二條 工場財團登記簿ハ附錄第一號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第三條 工場財團共同人名簿ハ附錄第二號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第四條 工場財團所有權保存ノ登記ヲ申請スルニハ工場抵當法第二十二條ニ掲ケタル書面ノ外工場ノ圖面ヲ提出スヘシ

第五條 各別ノ所有者ニ屬スル數箇ノ工場ニ付工場財團所有權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ工場抵當法第二十一條第一號乃至第三號ノ事項ニ付各所有者ノ氏名又ハ名稱ヲ記載スヘシ

第六條 工場財團目錄ノ記載ハ後九條ノ規定ニ從フヘシ

第七條 土地ニ付テハ郡、市、區、町、村、字、土地ノ番號、地目、段別又ハ坪數及用方ヲ記載スヘシ

第八條 工作物ニ付テハ其ノ種類、構造及建坪又ハ延長ヲ記載シ且其ノ所在ノ土地ヲ表示スヘシ

第九條 機械、器具、電柱、電線、配置諸管、軌條其ノ他ノ附屬物ニ付テハ其ノ種類、構造、箇數又ハ延長ヲ記載シ若製作者ノ氏名又ハ名稱、製造ノ年月、記號、番號其ノ他同種類ノ他ノ物ト區別スルニ足ルヘキ特質アルトキハ其ノ特質ヲ記載スヘシ

數箇ノ土地又ハ工作物ノ一ニ附屬スル物ニ付テハ其ノ附屬スル土地又ハ工作物ヲ表示スヘシ

輕微ナル附屬物ノ記載ハ概括シテ之ヲ爲スコトヲ得

第十條 登記シタル船舶ニ付テハ船舶登記規則第十六條ニ掲ケタル事項ヲ記載スヘシ

第十一條 地上權ニ付テハ第七條ニ掲ケタル事項ノ外設定ノ目的及範圍、存續期間、地代及其ノ支拂時期、設定ノ年月日並ニ所有者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第十二條 賃借權ニ付テハ第七條、第八條、第九條又ハ第十條ニ掲ケタル事項ノ外存續期間、借賃及其ノ支拂時期、設定ノ年月日並ニ賃借人ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第十三條 工場抵當法第十六條第二項ニ依リ抵當權ノ目的タルヘキ地役權

第二十條 登記官吏カ登記ヲ爲シタルトキハ工場財團目錄及工場ノ圖面ニ申請書受付ノ年月日、受付番號及登記番號ヲ記載スヘシ

工場抵當法第三十九條ニ依リ提出シタル目錄ニハ申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スルヲ以テ足ル

第二十一條 登記官吏カ工場抵當法第二十三條第二項、第四項、第二十六條、第二十八條第二項、第三十四條第二項、第三十七條第二項、第四十條、第四十四條第二項、第四項及第四十八條第二項ニ依リ通知ヲ爲ストキハ其ノ要旨、通知ヲ受クル者及通知ヲ發スル年月日ヲ不動産登記法施行細則第十四條第十三號ノ通知簿ニ記入スヘシ

第二十二條 登記官吏カ工場抵當法第二十三條第二項、第二十八條第二項、第三十四條第二項、第三十七條第二項、第四十三條、第四十四條第二項及第四十八條第二項ニ依リ通知ヲ受ケタルトキハ受付帳ニ通知事項ノ要旨、通知ヲ爲シタル登記所ノ名稱、受付ノ年月日及受付番號ヲ記載シ通知書ニ受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ但シ通知事項ノ要旨ハ登記ノ目的欄ニ、通知ヲ爲シタル登記所ノ名稱ハ申請人ノ氏名欄ニ之ヲ記載スヘシ

第二十三條 工場財團目錄及工場ノ圖面ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

第二十四條 工場抵當法第三條ノ場合ニ於テハ土地又ハ建物カ同法第一條ノ工場ニ屬スルモノナルコトヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ提出スヘシ

第二十五條 前條ノ場合ニ於テ土地又ハ建物ノ登記用紙中相當區事項欄ニ其ノ登記ヲ爲ストキハ工場抵當法第三條ニ依リテ目錄ノ提出アリタルコトヲ記載スヘシ

第二十六條 第九條、第十六條、第十七條、第二十條及第二十三條ノ規定ハ工場抵當法第三條ノ目錄ニ之ヲ準用ス

(台三)

(台三)

ニ付テハ承役地ノ表示、設定ノ目的及範圍、設定ノ年月日並ニ所有者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第十四條 工業所有權ニ付テハ其ノ權利ノ種類、名稱、番號及原簿登錄ノ年月日ヲ記載スヘシ

工業所有權ニ關スル實施權ニ付テハ實施權ノ範圍並ニ本權ノ種類、名稱、番號、原簿登錄ノ年月日及其ノ權利者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第十五條 數箇ノ工場ニ付工場財團ヲ設ケル場合ニ於テハ各工場ニ屬スルモノヲ區分シテ記載スヘシ

數箇ノ工場カ各別ノ所有者ニ屬スル場合ニ於テハ各所有者ニ屬スルモノヲ區分シテ記載スヘシ

第十六條 工場財團目錄ヲ作成スルニハ美濃判大ノ紙料ヲ用ユヘシ

第十七條 工場財團目錄ニハ其ノ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但シ申請人カ多數ナルトキハ其ノ一人ノ契印ヲ以テ足ル

第十八條 工場ノ圖面ニハ工場ニ屬スル土地及工作物ノ方位、形狀及間尺並ニ重要ナル附屬物ノ配置ヲ記載シ申請人ノ署名、捺印スヘシ

地上權ノ目的タル土地、賃借權ノ目的タル土地及工作物並ニ承役地ニ付テハ各其ノ方位、形狀及間尺ヲ記載スヘシ

工場ノ一部ヲ以テ工場財團ヲ設ケル場合ニ於テハ財團ニ屬スル部分ト之ニ屬セサル部分トヲ區分スヘシ

第十九條 登記官吏カ工場抵當法第二十條第三項ニ依リ表示欄ニ工場財團ノ表示ヲ爲スニハ工場ノ名稱、位置、主タル營業所及營業ノ種類ヲ記載スヘシ

第五條ノ場合ニ於テハ所有者ノ氏名又ハ名稱ヲモ記載スヘシ

附則

本令ハ工場抵當法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附録第一號

工場財團登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

登記 番號	第	部	題	表
		(示表團財)		
表示 番號				表示 欄
表示 番號				表示 欄
表示 番號				表示 欄
表示 番號				表示 欄
表示 番號				表示 欄
表示 番號				表示 欄
表示 番號				表示 欄

丁

甲		順位 番號	事項 欄
(權有所) 區			

乙		順位 番號	事項 欄

丁

										番號
										申請人ノ氏名、住所
										持分
										豫備

丁

(台三)

										番號
										申請人ノ氏名、住所
										持分
										豫備

(權當抵) 區

地方裁判所長

紙數表紙ヲ除キ

枚

工場財團共同人名簿

附錄第二號

區裁判所

(台三)

○礦業抵當登記取扱手續

明治三十八年六月二十六日
司法省令第十九號

- 第一條 礦業抵當法ニ依ル礦業財團ノ登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外工場抵當登記取扱手續中工場財團ニ關スル規定ヲ準用ス
- 第二條 礦業財團所有權保存ノ登記ヲ申請スルニハ礦業抵當法第三條及工場抵當法第二十二條ニ掲ケタル書面ノ外工作物ノ配置ヲ記載シタル圖面ヲ提出スヘシ
- 第三條 礦業財團目録ニ掲ケヘキ礦業權ニ付テハ礦區ノ位置、礦業ノ名稱、礦區ノ面積、礦業權設定ノ年月日及其ノ登録番號ヲ記載スヘシ
- 第四條 探掘權ニ付期限アルモノニ付テハ其ノ期限ヲ記載スヘシ
- 第五條 礦業財團目録ニ掲ケヘキ土地ノ使用權ニ付テハ土地所在ノ郡、市、區、町村、字、土地ノ番號、地目、段別又ハ坪數、使用ノ目的、使用ノ時期、使用ノ期間、使用料及其ノ支拂時期並ニ土地所有者及關係人ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ
- 第六條 數箇ノ礦業權ニ付礦業財團ヲ設ケル場合ニ於テ礦業財團目録ヲ作成スルニハ各礦區ニ屬スルモノヲ區分シテ記載スヘシ但シ數箇ノ礦區ニ付合併施業ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第七條 登記官吏カ礦業財團登記簿ノ用紙中表示欄ニ礦業財團ノ表示ヲ爲スニハ礦區ノ位置、礦物ノ名稱、礦區ノ面積、礦業權ノ登録番號及礦業事務所ヲ記載スヘシ
- 第八條 礦業財團目録及第二條ニ依リ提出シタル圖面ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

附則

本令ハ礦業抵當法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第七節 財團抵當

○漁業財團抵當登記取扱手續

大正十四年七月二日
司法省令第十六號

- 第一條 漁業財團抵當法ニ依ル漁業財團ノ登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外工場抵當登記取扱手續中工場財團ニ關スル規定ヲ準用ス
- 第二條 漁業財團所有權保存ノ登記ヲ申請スルニハ漁業財團抵當法第六條及工場抵當法第二十二條ニ掲ケタル書面ノ外漁場ノ圖面及漁場外ニ建設セル工作物アルトキハ其ノ配置ヲ記載シタル圖面ヲ提出スヘシ但シ漁業權ヲ包含セサル漁業財團ニ付テハ漁場ノ圖面ヲ提出スルコトヲ要セス
- 第三條 前項ノ圖面ニハ申請人署名、捺印スヘシ
- 第四條 漁業財團目録ノ記載ハ工場抵當登記取扱手續第七條乃至第十五條ノ規定ニ從フ外後八條ノ規定ニ從フヘシ
- 第五條 漁業權ニ付テハ其ノ存續期間、漁場ノ位置、漁業ノ種類及名稱、漁獲物ノ種類、漁業ノ時期、免許ニ附シタル條件又ハ制限、免許ノ年月日及免許番號ヲ記載スヘシ
- 第六條 漁業權ノ賃借權ニ付テハ其ノ目的タル漁業權ニ付前項ニ掲ケタル事項ヲ記載スル外賃借權ノ範圍、存續期間、借賃及其ノ支拂時期、設定ノ年月日並賃借人ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ
- 第七條 土地ノ使用權ニ付テハ土地所在ノ郡市區町村字、地番、地目、段別又ハ坪數、使用ノ目的、使用ノ範圍、使用ノ時期及期間、許可ノ年月

(台三)

日、使用料又ハ補償金及其ノ支拂時期並土地所有者及關係人ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第六條 水面ノ使用權ニ付テハ水面ノ位置及面積、使用ノ目的、使用ノ時期及期間、許可ノ年月日並使用料及其ノ支拂ノ時期ヲ記載スヘシ

第七條 引水又ハ排水ニ關スル權利ニ付テハ其ノ存續期間、水路ノ位置、水量、許可ノ年月日、使用料及其ノ支拂ノ時期ヲ記載スヘシ但シ水量ヲ記載シ難キモノニ付テハ引水權ニ在リテハ水路ノ取入口、排水權ニ在リテハ其ノ排水口ニ於ケル水路ノ斷面積及流速ヲ記載スルヲ以テ足ル

第八條 漁網ニ付テハ其ノ大サ及統數ヲ記載スヘシ

第九條 總噸數二十噸未滿又ハ積石數二百石未滿ノ船舶ニ付テハ其ノ種類、名稱、總噸數及登簿噸數又ハ積石數、進水ノ年月ヲ記載スヘシ但シ端舟其ノ他ノ舟ニシテ以上ノ事項ヲ記載シ難キモノニ付テハ其ノ長、幅及隻數ヲ記載スルヲ以テ足ル

第十條 築ニ付テハ其ノ柵數及一柵ノ株數ヲ記載スヘシ

第十一條 數箇ノ漁業權ニ付漁業財團ヲ設ケル場合ニ於テ漁業財團目録ヲ作成スルニハ各漁業權ニ屬スルモノヲ區分シテ記載スヘシ但シ數箇ノ漁業權ニ付合併施業ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 登記官吏カ漁業財團登記簿ノ用紙中表示欄ニ漁業財團ノ表示ヲ爲スニハ左ノ規定ニ從フヘシ

- 一 漁業權ヲ基本トシテ組成シタル漁業財團ニ付テハ漁業ノ種類、名稱、免許番號、漁場ノ位置及主タル營業所ヲ記載スヘシ
- 二 漁業權ノ賃借權ヲ基本トシテ組成シタル漁業財團ニ付テハ前號ノ例ニ準シテ賃借權ヲ表示シ且主タル營業所ヲ記載スヘシ
- 三 登記シタル船舶ヲ基本トシテ組成シタル漁業財團ニ付テハ船舶ノ

(台三)

- 種類、名稱、船籍港、登記番號、漁業ノ種類及主タル營業所ヲ記載スヘシ
- 四 水産物ノ養殖場ヲ基本トシテ組成シタル漁業財團ニ付テハ養殖場ノ名稱、位置、漁獲物ノ種類及主タル營業所ヲ記載スヘシ
- 第十三條 漁業財團目録及第二條ニ依リ提出シタル圖面ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

附則

本令ハ大正十四年七月六日ヨリ之ヲ施行ス

○自動車交通事業財團抵當登記取扱手續

昭和八年九月三十日
司法省令第三十三號

- 第一條 自動車交通事業法ニ依ル自動車交通事業財團ノ登記ニ付テハ本令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外不動産登記法施行細則ニ從フ
- 第二條 自動車交通事業財團ノ登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テ之ヲ取扱フ
- 第三條 自動車交通事業財團ノ所有者タル會社ノ本店ガ一登記所ノ管轄地ヨリ他ノ登記所ノ管轄地ニ移轉シタル場合又ハ自動車交通事業財團ノ所有權ガ一登記所ノ管轄地ニ本店ヲ有スル會社ヨリ他ノ登記所ノ管轄地ニ本店ヲ有スル會社ニ移轉シタル場合ニ於テハ其ノ自動車交通事業財團ノ登記ノ事務ハ第二十四條第一項ノ規定ニ依ル移送ヲ爲スニ至ル迄仍舊本店ノ所在地ノ登記所ニ於テ之ヲ取扱フ
- 第四條 自動車交通事業財團登記簿ハ附錄様式ニ依リ地方裁判所長ニ於テ之ヲ調製スベシ

第五條 登記所ニハ登記簿、共同人名簿及受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フベシ
一 共同擔保目録綴込帳
二 申請書類綴込帳
三 決定原本綴込帳
四 抗告書類綴込帳
五 評價事件簿
六 評價書類綴込帳
七 本登記簿綴込帳
八 謄本抄本交付帳
九 通知簿
十 受領證原符元帳
十一 還納受領證綴込帳

第六條 登記ノ申請書ニ自動車交通事業法第四十七條第三項ニ掲グル自動車運輸事業ノ表示ヲ爲スニハ事業種別(旅客運送又ハ物品運送ノ別)ヲ記載シ、路線又ハ一般自動車道ノ表示ヲ爲スニハ起點及終點、主ナル經過地並ニ延長ヲ記載スベシ
第七條 主務官廳ノ免許、許可又ハ認可ヲ要スル事項ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ主務官廳ノ免許書、許可書若ハ認可書又ハ其ノ認證アル謄本ヲ添附スベシ
第八條 自動車交通事業財團ニ屬スベキ自動車ニ付登記ヲ申請スルニハ申請書ニ登録済ヲ證スル主務官廳ノ書面ヲ添附スベシ
第九條 登記官吏ハ申請人ヲシテ自動車交通事業法第四十七條第一項ニ於テ準用スル工場抵當法第二十三條第二項、第三十四條第二項、第三十七條第二項、第四十三條、第四十四條第二項及第四十八條第二項ノ規定ニ

第十八條 貯藏物品ニ付テハ常備ノモノノ種類、數量又ハ箇數及所在ヲ記載スベシ
第十九條 自動車交通事業財團目録ヲ作成スルニハ強靱ナル美濃紙ヲ用フベシ
目錄ニハ其ノ每葉ノ綴目ニ契印スベシ但シ申請人が多數ナルトキハ其ノ一人ノ契印ヲ以テ足ル
第二十條 自動車交通事業財團ノ所有者タル會社ガ本店ヲ一登記所ノ管轄地ヨリ他ノ登記所ノ管轄地ニ移シタルトキハ遲滞ナク舊本店ノ所在地ノ登記所ニ所有權登記名義人ノ表示ノ變更登記ノ申請ヲ爲スベシ
前項ノ申請ヲ爲スニハ自動車交通事業財團目録ノ寫ヲ提出スルコトヲ要ス但シ此ノ寫ハ抹消ニ係ラザル部分ノミヲ記載シタルモノヲ以テ足ル
第二十一條 前條第二項ノ規定ハ自動車交通事業財團ノ所有權ガ一登記所ノ管轄地ニ本店ヲ有スル會社ヨリ他ノ登記所ノ管轄地ニ本店ヲ有スル會社ニ移轉シタル場合ノ所有權移轉登記ノ申請ニ付テハ準用ス
第二十二條 登記官吏ガ登記簿ノ表示欄ニ自動車交通事業財團ノ表示ヲ爲スニハ自動車交通事業法第四十七條第三項第一號乃至第五號ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
第二十三條 登記官吏ガ登記簿ヲ爲シタルトキハ自動車交通事業財團目録ニ申請書受附ノ年月日、受附番號及登記番號ヲ記載スベシ
自動車交通事業法第四十七條第一項ニ於テ準用スル工場抵當法第三十九條ノ規定ニ依リ提出シタル目錄ニハ申請書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スルヲ以テ足ル
第二十四條 舊本店ノ所在地ノ登記所ニ於テ第二十條第一項ノ變更登記ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ遲滞ナク登記簿(財團目録ヲ含ム)ノ謄本及附

依ル通知ヲ爲スニ必要ナル不動産ノ目錄ヲ提出セシムルコトヲ得
第十條 自動車交通事業財團目録ノ記載ハ後八條ノ規定ニ從フベシ
第十一條 土地ニ付テハ郡、市、區、町村、字、土地ノ番號、地目、面積及用方ヲ記載スベシ
第十二條 建物其ノ他ノ工作物ニ付テハ其ノ種類、構造、箇數及面積又ハ延長ヲ記載シ且其ノ所在ノ土地ヲ表示スベシ
第十三條 地上權ニ付テハ第十一條ニ掲グル事項ノ外設定ノ目的及範圍、存續期間、地代及其ノ支拂時期、設定ノ年月日並ニ所有者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スベシ
第十四條 賃借權ニ付テハ第十一條又ハ第十二條ニ掲グル事項ノ外存續期間、借賃及其ノ支拂時期、設定ノ年月日、登記其ノ他賃借權ヲ對抗スルコトヲ得ベキ事由、賃借人ノ氏名又ハ名稱及住所並ニ賃借權ノ讓渡若ハ賃借物ノ轉貸ヲ許ス特約アルトキハ其ノ特約ヲ記載スベシ
第十五條 地役權ニ付テハ承役地ノ表示、設定ノ目的及範圍、設定ノ年月日並ニ所有者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スベシ
第十六條 自動車ニ付テハ其ノ車名、形式、年式及登録番號ヲ記載シ且各輕微ナル附屬品ノ品名及數量ヲ記載スベシ
第十七條 器具機械ニ付テハ其ノ種類、構造、箇數及所在ヲ記載シ若シ製作者ノ氏名又ハ名稱、製造ノ年月、記號、番號其ノ他同種類ノ他ノ物ト區別スルニ足ルベキ特質アルトキハ其ノ特質ヲモ記載スベシ
土地又ハ工作物ニ屬スル器具機械ニ付テハ其ノ土地又ハ工作物毎ニ前項ノ記載ヲ爲スベシ
前條第二項ノ規定ハ器具機械ノ記載ニ付テハ準用ス

屬書類ヲ新本店ノ所在地ノ登記所ニ移送スベシ第二十一條ノ所有權移轉ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同ジ
前項ノ登記簿ノ謄本ハ抹消ニ係ラザル登記ノミヲ記載シタルモノヲ以テ足ル第二十二條第二項ノ規定ニ依リ財團目録ノ寫ヲ提出シタルトキハ之ヲ用ヒテ財團目録ノ謄本ヲ作成スルコトヲ得
第二十五條 新本店ノ所在地ノ登記所ニ於テ前條第一項ノ規定ニ依リ移送ヲ受ケタルトキハ登記官吏ハ移送ヲ受ケタル登記簿ノ謄本ニ依リ登記ヲ爲スベシ
前項ノ登記ヲ爲スニハ登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其ノ左側ニ前登記ノ登記番號ヲ、表示番號欄及順位番號欄ニ新ナル番號ヲ記載シ其ノ左側ニ前登記ノ番號ヲ表示スベシ
表示欄及事項欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニハ前登記ノ登記所ノ名稱、登記簿ノ謄本ニ依リ登記ヲ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スベシ
第二十六條 新本店ノ所在地ノ登記所ニ於テ前條ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ舊本店ノ所在地ノ登記所ニ其ノ旨ヲ通知スベシ
登記用紙ヲ閉鎖スベシ
第二十七條 第五條第九號ノ通知簿ニハ前條第一項、第二十八條、不動産登記法施行細則第六十九條ノ二、自動車交通事業法第四十七條ニ於テ準用スル工場抵當法第二十三條第二項、第二十六條、第二十八條第二項、第三十四條第二項、第三十七條第二項、第四十三條、第四十四條第二項、第四十八條第二項及不動産登記法第二十八條ノ三、第六十條ノ二、第六

第二編 民事 第九章 登記 自動車交通事業財團抵當

十一條、第六十三條乃至第六十三條ノ三、第七十五條第一項、第二百二十六條第二項、第四百十九條ノ二第一項、第五百五十三條第二項ノ通知事項、通知ヲ受クル者及通知ヲ發スル年月日ヲ記載スベシ

第二十八條 自動車交通事業法第四十六條第三項第一號ノ通知ニハ左ノ事項ヲ掲グベシ

- 一 財團ノ表示
- 二 財團所有者ノ名稱及住所
- 三 登記ノ年月日
- 四 抵當權者ノ氏名又ハ名稱及住所
- 五 債權額、辨濟期及利息

自動車交通事業法第四十六條第三項第二號ノ通知ニハ前項第一號及第二號ノ事項並ニ閉鎖ノ事由及其ノ年月日ヲ掲グベシ

第二十九條 登記官吏ガ自動車交通事業法第四十七條第一項ニ於テ準用スル工場抵當法第二十三條第二項、第二十八條第二項、第三十四條第二項、第三十七條第二項、第四十三條、第四十四條第二項及第四十八條第二項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタルトキハ不動産登記受附帳ニ通知事項ノ要旨、通知ヲ爲シタル登記所ノ名稱、受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ通知書ニ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スベシ此ノ場合ニ於テハ通知事項ノ要旨ハ登記ノ目的欄ニ、通知ヲ爲シタル登記所ノ名稱ハ申請人ノ氏名稱ニ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十條 自動車交通事業財團目錄ハ永久ニ之ヲ保存スベシ

附則

本令ハ自動車交通事業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附錄樣式

七九八

自動車交通事業財團登記簿 區裁判所

紙數表紙ヲ除キ 枚 地方裁判所長

(台三)

登記番	第	表題	部	(示表團財)	表
表示	番	表示	表示	表示	表示
表示	欄	表示	表示	表示	表示
表示	欄	表示	表示	表示	表示
表示	欄	表示	表示	表示	表示

(權有所) 區	甲	順位	事項	欄	順位	事項	欄
	番	事項	欄	番	事項	欄	番
	號	欄	欄	號	欄	欄	號
		欄	欄		欄	欄	
		欄	欄		欄	欄	

第二編 民事 第九章 登記 自動車交通事業財團抵當

(台三)

(權當抵) 區	乙	順位	事項	欄	順位	事項	欄
	番	事項	欄	番	事項	欄	番
	號	欄	欄	號	欄	欄	號
		欄	欄		欄	欄	
		欄	欄		欄	欄	

七九九

第八節 農業用動産抵當

○農業用動産抵當登記令

昭和八年十一月二十九日 (總理、司法、農林大臣副署) 勅令第三百八號

- 第一條 農業用動産ノ抵當權ノ登記ニ付テハ其ノ目的タル農業用動産ノ所在ノ場所ヲ管轄スル區裁判所又ハ其ノ出張所ヲ以テ管轄登記所トス
- 第二條 各登記所ニ農業用動産抵當登記簿及農業用動産抵當共同人名簿ヲ備フ
- 第三條 農業用動産抵當登記簿ハ一個ノ動産ニ付一用紙ヲ備フ
- 第四條 農業用動産抵當登記簿ハ其ノ一用紙ヲ登記番號欄、表題部及甲乙ノ二區ニ分チ尙表題部及甲區ニ表示欄及表示番號欄、乙區ニ事項欄及順位番號欄ヲ設ク
- 登記番號欄ニハ各農業用動産ニ付登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス
- 表題部表示欄ニハ農業用動産ノ表示ヲ爲シ及其ノ變更ニ關スル事項ヲ記載シ、甲區表示欄ニハ所有者ノ表示ヲ爲シ及其ノ變更ニ關スル事項ヲ記載シ、表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス
- 乙區事項欄ニハ抵當權ニ關スル事項ヲ記載シ順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス
- 第五條 登記ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スルコトヲ要ス
 - 一 農業用動産ノ表示

- 二 不動産登記法第三十六條第三號乃至第八號ニ掲グル事項
- 第六條 農業用動産ノ表示ヲ爲スニハ其ノ所在ノ場所ノ郡、市、區、町村、字及土地ノ番號ヲ記載スルノ外後三條ノ規定ニ從フコトヲ要ス
- 第七條 農業用機械 (農業動産信用法施行令第一條第一號及第二號ニ掲グルモノ) ニ付テハ其ノ種類及構造ヲ記載シ若シ製作者ノ氏名又ハ名稱、製造ノ年月、記號、番號其ノ他同種類ノ他ノ物ト區別スルニ足ルベキ特質アルトキハ其ノ特質ヲモ記載スルコトヲ要ス
- 第八條 牛及馬ニ付テハ其ノ性、生年月、用途及特徴ヲ記載スルコトヲ要ス
- 第九條 總噸數二十噸未滿又ハ積石數二百石未滿ノ漁船ニ付テハ其ノ船種、船名、船籍港又ハ定繫場所、尺度、積量、進水年月並ニ船鑑札又ハ之ニ類スル鑑札ノ交付年月及番號ヲ記載シ尙機關アルモノニ在リテハ其ノ種類、推進器アルモノニ在リテハ其ノ種類及數、帆船ニ在リテハ帆裝ヲモ記載スルコトヲ要ス
- 第十條 抵當權設定ノ登記ハ抵當權者及抵當權設定者之ヲ申請シ申請書ニ農業用動産ガ抵當權設定者ノ所有ニ係ルコトヲ證スルニ足ルベキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス
- 第十一條 始メテ抵當權ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表題部表示欄ニ農業用動産ノ表示ヲ爲シ且甲區表示欄ニハ所有者ノ氏名及住所ヲ記載スルコトヲ要ス
- 第十二條 農業用動産ガ共有ニ係ルトキハ共有者中申請書ニ掲ゲタル筆頭ノ者ノ氏名、住所及他ノ人員ヲ登記用紙ニ記載シ全員ノ氏名及住所ヲ共同人名簿ニ記載スルコトヲ得債務者ノ氏名及住所ヲ登記用紙ニ記載スベキ場合ニ於テ債務者ガ多數ナルトキ亦同ジ

第十三條

農業用動産又ハ其ノ所有者ノ表示ノ變更ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ際本ヲ添附スルコトヲ要ス

第十四條

農業用動産又ハ其ノ所有者ノ表示ノ變更ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中表示欄ニ變更後ノ事項及變更ノ原因ヲ、表示番號欄ニ番號ヲ記載シ前ノ表示及其ノ番號ヲ抹スルコトヲ要ス但シ事情ニ依リテハ表示欄ニ變更ノ部分ノミヲ表示ヲ爲シ表示番號欄ニ番號ヲ記載シタル上前ノ表示中變更セラレタル部分ノミヲ抹スルヲ以テ足ル

第十五條

農業用動産ノ所在ノ場所ガ甲登記所ノ管轄地ヨリ乙登記所ノ管轄地ニ移轉シタル場合ニ於テ其ノ變更ノ登記ヲ申請スルニハ甲登記所ニ登記簿ノ謄本ノ交付ヲ申請シ其ノ謄本ヲ乙登記所ニ提出シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ變更登記ハ登記簿ノ謄本ニ依リ登記ヲ移シタル後之ヲ爲スコトヲ要ス

第十六條

前條ノ場合ニ於テ登記簿ニ登記ヲ移ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其ノ左側ニ前登記番號ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ表示欄及事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ甲登記所ノ登記簿ノ謄本ニ依リ登記ヲ爲シタル旨及申請書受附ノ年月日ヲ記載シ登記簿ノ謄本ニ依リ登記ヲ爲シタル旨及申請書受附ノ年月日ヲ記載シ

第二編 民事 第九章 登記 農業用動産抵當

記官吏捺印スルコトヲ要ス

第十七條 二個以上ノ農業用動産ニ關スル抵當權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ共同擔保目録ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ目録ニハ各農業用動産ノ表示ヲ爲シ申請人之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

第十八條

抵當權ガ農業用動産ノ競落ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テ申請書ニ之ヲ證スルニ足ルベキ書面ヲ添附スルトキハ債務者、抵當權設定者又ハ競落人ノミニテ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第十九條

一用紙ノ抵當權ノ登記ガ全部抹消セラレタルトキハ登記用紙中表示欄ニ抵當權ノ登記ヲ抹消シタル旨ヲ記載シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第二十條

不動産登記法第二條乃至第七條、第八條第二項、第八條ノ二、第九條第二項、第十條、第十二條、第十三條、第十八條乃至第二十八條、第三十二條乃至第三十五條、第三十八條、第四十條、第四十二條乃至第五十條、第五十二條乃至第六十七條、第六十九條乃至第七十七條、第一百七條、第一百九條、第二百二條、第二百二十二條、第二百二十三條、第二百二十四條ノ二乃至第二百二十六條ノ二、第二百四十四條乃至第四百七條及第四百九條ノ二乃至第五百五十九條ノ規定ハ農業用動産ノ抵當權ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二十一條

本令ノ施行ニ關スル細則ハ司法大臣之ヲ定ム

附則

本令ハ農業動産信用法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○農業用動産抵當登記取扱手續

昭和八年十一月二十九日
司法省令第三十六號

- 第一條 農業用動産抵當登記簿ハ附録第一號様式ニ依リ地方裁判所長ニ於テ之ヲ調製スベシ
- 第二條 農業用動産抵當共同人名簿ハ附録第二號様式ニ依リ地方裁判所長ニ於テ之ヲ調製スベシ
- 第三條 農業用動産抵當登記見出帳ハ附録第三號様式ニ依リ之ヲ調製スベシ
- 第四條 農業用動産抵當登記見出帳ニハイロハ順ニ依リ豫メイノ部ヨリスノ部マデテ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ所有者ノ頭字ニ依リ相當ノ部ニ所有者ノ氏名、動産ノ種類、所在ノ場所、登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及登記番號ヲ記入スベシ
- 前項ノ規定ハ所有者ノ變更ニ因ル表示ノ變更ノ登記ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス
- 第五條 受附帳ハ附録第四號様式ニ依リ之ヲ調製スベシ
- 第六條 決定原本、抗告書類、評價書類及還納受領證ハ不動産登記法施行細則第十四條第一項第六號、第七號、第九號及第十六號ノ綴込帳ニ各之ヲ合綴スベシ
- 第七條 登記所ニハ登記簿、共同人名簿、見出帳及受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ
 - 一 共同擔保目録綴込帳
 - 二 申請書類綴込帳

(台三)

名、住所ヲ記載シ豫備欄ニ登記番號、申請書受附ノ年月日及表示番號又ハ順位番號ヲ記載シテ登記官吏捺印スベシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ番號欄及豫備欄ニ縱線ヲ劃シテ餘白ト分界スベシ

第十四條 共同人名簿ニ記載ヲ爲シタルトキハ登記用紙中甲區表示欄又ハ乙區事項欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ共同人名簿ニ於ケル番號ヲ記載スベシ

第十五條 共同人名簿ニ記載シタル所有者又ハ債務者ノ氏名、住所ノ變更ニ付登記簿ニ登記ヲ爲シタルトキハ人名簿中豫備欄ニ變更後ノ事項、申請書受附ノ年月日及表示番號又ハ順位番號ヲ記載シ登記官吏捺印シ前ニ記載シタル事項ヲ朱抹スベシ

第十六條 農業用動産抵當登記令第十五條第一項ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本ノ交付ヲ請求スルニハ抵當權者及抵當權設定者ニ於テ申請書ニ其ノ事由ヲ記載シ且同令第十三條第一項ノ添附書面ト共ニ之ヲ提出スベシ

前項ノ請求ニ因リテ交付スル謄本ニハ其ノ交付ノ事由ヲ附記スベシ

第十七條 登記簿ノ謄本ニ依リ登記ヲ移シタルトキハ登記用紙中乙區順位番號欄ニ新ナル番號ヲ記載シ其ノ左側ニ前登記ノ順位番號ヲ表示スベシ

第十八條 不動産登記法施行細則第四條、第五條、第十條、第十二條、第十三條、第十五條、第十六條ノ二、第十六條ノ三、第十七條、第十八條、第二十條乃至第二十四條、第二十九條乃至第三十一條、第三十二條ノ二乃至第三十七條ノ三、第三十九條乃至第四十一條、第四十三條ノ三乃至第四十三條ノ五、第四十四條第二項第三項、第四十四條ノ二、第四十四條ノ五、第四十四條ノ七乃至第四十四條ノ九、第四十四條ノ十一、第四十四條ノ十六、第四十五條、第四十六條、第四十六條ノ三乃至第四十七

三 謄本抄本交付帳

前項ノ帳簿ハ年毎ニ別冊ト爲スベシ

評價事件簿、本登記濟證交付帳、各種通知簿及受領證原符元帳ハ不動産登記法施行細則第十四條第一項第八號、第十一號、第十四號及第十五號ノ帳簿ヲ用フベシ

第八條 共同擔保目録ハ附録第五號様式ニ依リ之ヲ調製スベシ

共同擔保目録ニハ強韌ナル美濃紙ヲ用フルコトヲ要ス

第九條 登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其ノ登記ヲ申請スルニ必要ナル事項ノ外登録稅額ヲ記載スベシ但シ登録稅法第三條ノ七第一號ノ登記ニ付テハ課稅標準ノ價格ヲモ記載スベシ

登録稅法第十九條ノ八ノ場合ニ於テハ前項ニ掲グル事項ノ外差稅額ヲ記載スベシ

第十條 農業用機械(農業動産信用法施行令第一條第一號及第二號ニ掲グルモノ)ニ付テハ常置ノ場所、牛及馬ニ付テハ厩舎ノ所在ノ場所、漁船ニ付テハ定繫ノ場所ヲ以テ其ノ農業用動産ノ所在ノ場所トス

第十一條 牛及馬ノ特徵ノ記載ハ其ノ毛色及旋毛ヲ以テ之ヲ爲シ名號及斑紋アルモノハ之ヲ掲ゲ尙牛ニ在リテハ角番號アルモノ、馬ニ在リテハ耳朶ノ入墨アルモノハ之ヲモ掲グベシ

第十二條 登記原因及登記ノ目的ガ同一ニシテ且登録稅法第三條ノ七第四號但書及第五號但書ノ規定ニ依リ登録稅ヲ納付スベキ場合ニ於テ數個ノ登記所ノ管轄内ニ在ル數個ノ農業用動産ノ抵當權ニ關スル登記ヲ申請スルトキハ最初ニ登記ヲ申請スル登記所ニ登録稅ノ全額ヲ納付スベシ

第十三條 農業用動産抵當登記令第十二條ノ規定ニ依リ共同人名簿ニ記載ヲ爲スニハ番號欄ニ番號ヲ記載シ氏名住所欄ニ所有者又ハ債務者ノ氏

條、第四十九條、第五十一條、第五十二條、第五十六條、第五十七條ノ二乃至第五十七條ノ七、第五十八條乃至第六十二條、第六十三條ノ二、第六十三條ノ三、第六十四條乃至第六十七條、第六十九條ノ二乃至第七十條及第七十一條第二項ノ規定ハ農業用動産ノ抵當權ノ登記ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ農業動産信用法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附録第一號

農業用動産抵當登記簿	區裁判所
紙數表紙ヲ除キ	枚
地方裁判所長	

番 號	番 號
所有者又ハ債務者ノ氏名住所	所有者又ハ債務者ノ氏名住所
豫	豫
備	備

部	ノ
所有者ノ氏名	種動産ノ類
所在ノ場所 市區 町村 大字 字	登記簿
冊數 丁數	番號
備考	

附錄第三號

農業用動産抵當登記見出帳

區裁判所

(合三)

番表示 番號	甲 區 表 示 欄 (所有者)	番表示 番號	表 示 欄
番表示 番號	乙 區 表 示 欄 (抵當權)	番表示 番號	表 示 欄

紙數表紙ヲ除キ

枚

地方裁判所長

(合三)

農業用動産抵當共同人名簿

區裁判所

八〇四

第九節 船舶

○船舶登記規則

明治三十二年六月十五日(總理、逕信、)
勅令二百七十號(司法大臣副署)

改正 明治三十八年第七九號

大正二年第九三號、三年第二〇四號、八年第二八九號、一一年第五二〇號、一四年第三二八號

昭和七年第七九號、八年第一四二號

第一章 總則

第二章 登記所

第三章 登記簿

第四章 登記手續

第一節 通則

第二節 所有權ニ關スル登記手續

第三節 抵當權及ヒ賃借權ニ關スル登記手續

附則

船舶登記規則

第一章 總則

第一條 不動産登記法第二條乃至第七條、第八條ノ二、第九條第一項、第十條、第十二條、第十三條、第十八條乃至第三十五條、第三十八條乃至第六十六條、第六十九條乃至第七十八條、第一百條、第一百二條、第一百四條ノ二乃至第四百四條ノ十五、第四百八條、第四百九條、第五百一十條、第五百二十二條乃至第二百二十七條ノ二、第四百一十一條、第四百二十二條、第四百四十三條ノ二乃至第四百四十八條、第四百四十九條ノ二乃至第四百四十九條ノ五及ヒ第五百十條乃至第五百五十九條ノ規定ハ船舶ノ登記ニ之

ヲ準用ス

第二章 登記所

第二條 此規則ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外船舶港ヲ管轄スル區裁判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

船舶港カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カルトキハ司法大臣管轄登記所ヲ指定ス

第三條 登記所ハ船舶所有權移轉ノ登記又ハ第三十條ノ規定ニ依ル抹消ノ登記ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク其旨ヲ船舶港ヲ管轄スル管海官廳ニ通知スルコトヲ要ス

第三章 登記簿

第四條 登記簿ハ船舶港毎ニ別冊ト爲ス

第五條 登記簿ハ一艘ノ船舶ニ付キ一用紙ヲ備フ

第六條 登記簿ハ其一用紙ヲ登記番號欄、表題部及ヒ甲乙丙ノ三區ニ分チ尙ホ表題部ニ表示欄、表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄ヲ設ク

登記番號欄ニハ各船舶ニ付キ登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ第十六條ノ規定ニ依リテ船舶ノ表示ヲ爲シ及ヒ其變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス
乙區事項欄ニハ船舶管理人ニ關スル事項ヲ記載ス
丙區事項欄ニハ抵當權及ヒ賃借權ニ關スル事項ヲ記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

(台三)

第四章 登記手續

第一節 通則

第七條 登記ヲ申請スルニハ始メテ船舶所有權ノ登記ヲ申請スル場合及ヒ

第十一條第一項ノ場合ヲ除ク外申請書ニ登記證書ヲ添付スルコトヲ要ス

第八條 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

一 船舶ノ種類、名稱、船質及ヒ積量

二 船舶港

三 不動産登記法第三十六條第三號乃至第八號ニ掲ケタル事項

第九條 登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ登記證書ニ申請書受附ノ年月日、受附番號、順位番號、登記權利者ノ氏名、住所、登記原因、其日附、登記ノ目的及ヒ登記簿ノ旨ヲ記載シ登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ所有權ノ登記名義人ニ還付スルコトヲ要ス

第十條 登記證書カ滅失シタルトキハ船舶カ船舶港ニ碇泊スル場合ニ限り所有權ノ登記名義人ハ其登記ヲ爲シタル登記所ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ更ニ登記證書ノ交付ヲ申請スルコトヲ得

第十一條 所有權ノ登記名義人ハ登記證書ヲ提出セスシテ登記ヲ申請スルコトヲ得此場合ニ於テハ登記ハ特別登記簿ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ登記證書ヲ提出スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ之ヲ提出シテ更ニ登記ヲ申請スルコトヲ要ス

第十二條 登記官吏カ前條第二項ノ申請ヲ受ケタルトキハ特別登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移シ其末尾ニ特別登記簿ニ依リテ登記ヲ移シタル旨及ヒ申請書受附ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

(台三)

登記簿ニ登記ヲ移ストキハ順位番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載スルコトヲ要ス
登記簿ニ登記ヲ移シタルトキハ之ニ關スル特別登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第十三條 特別登記簿ノ登記ヲ登記簿ニ移シタルトキハ申請者以外ノ當事者ニ對シ之ニ本登記證書ヲ與フヘキ旨ヲ通知シ若シ第四十五條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル登記アルトキハ同時ニ其旨ヲ通知スルコトヲ要ス

不動産登記法第七十五條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二節 所有權ニ關スル登記手續

第十四條 始メテ所有權ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ書面ニ依リ自己カ所有者タルコトヲ證スル者ヨリ其登記ヲ申請スルコトヲ要ス

第十五條 始メテ所有權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ管海官廳ヨリ交付シタル船舶件名書ノ謄本ヲ添付スルコトヲ要ス

日本又ハ支那ニ於テ製造シタル船舶ニ付キ始メテ所有權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其船舶ノ製造地ヲ管轄スル登記所ノ特別登記簿ノ謄本又ハ特別登記簿ニ其船舶ニ關スル登記ナキコトヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第十六條 始メテ所有權ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ表示欄ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 船舶ノ種類及ヒ名稱

二 船質

三 國籍取得ノ年月日但日本ニ於テ船舶ヲ製造シタル場合ハ此限ニ在ラス

四 總噸數

五 純噸數

六 進水ノ年月

汽船ニ在リテハ前項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 機關ノ種類及ヒ數

二 推進器ノ種類及ヒ數

帆船ニ在リテハ第一項ニ掲ケタル事項ノ外帆裝ヲ記載スルコトヲ要ス

第十七條 始メテ所有權ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ登記官吏カ其登記ヲ完了シタルトキハ登記證書ヲ作り之ニ登記番號、船舶ノ種類、名稱、船質並ニ積量、船籍港及ヒ第九條ニ掲ケタル事項ヲ記載シ登記所ノ印ヲ捺捺シテ之ヲ登記權利者ニ交付スルコトヲ要ス

第十八條 所有權ノ登記ニ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ登記權利者カ日本ナルコトヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第十九條 所有權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ登記權利者カ商會社其他ノ法人ナルトキハ申請書ニ其本店又ハ主タル事務所ノ所在地及ヒ船舶法第一條ニ掲ケタル社員、無限責任社員、取締役、業務擔當社員若クハ代表者ノ氏名ヲ記載シ且之ヲ證スル登記ノ際本、抄本又ハ登記濟證及ヒ此等ノ者カ日本ナルコトヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ登記權利者カ支那ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル商會社其他ノ法人ナルトキハ申請書ニ其本店又ハ主タル事務所ノ所在地及ヒ大正十四年法律第五十二號ニ掲ケタル社員、無限責任社員、取締役若クハ代表者ノ氏名ヲ記載シ且之ヲ證スル登記ノ際本、抄本又ハ登記濟證及ヒ此等ノ者カ日本ナルコトヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

任社員、取締役若クハ代表者ノ全員ノ氏名ヲ記載シ且之ヲ證スル登記ノ際本、抄本又ハ登記濟證及ヒ此等ノ者ノ二分ノ一以上カ日本人ナルコトヲ證スルニ足ルヘキ書面並ニ其法人カ日本船舶ヲ所有スルニ適スルコトノ領事館ノ認定書又ハ其際本ヲ添附スルコトヲ要ス

同一ノ登記所ニ於テ既ニ商法第五十一條乃至第五十三條、第七條、第四百一十一條、第二百四十二條、舊商法第三百三十八條又ハ民法第四十六條ノ規定ニ依リテ登記ヲ爲シタルトキハ前二項ニ定メタル登記ノ際本、抄本又ハ登記濟證ヲ添附スルコトヲ要セス

第二十條 始メテ所有權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ船舶カ數人ノ共有ニ屬スルトキハ申請書ニ各共有者ノ持分及ヒ船舶管理人ノ氏名、住所ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ船舶所有者カ其所有權ノ一部ヲ讓渡シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十一條 第十六條ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生シ又ハ船舶所有者カ船籍港ヲ變更シタルトキハ所有權ノ登記名義人ハ遲滞ナク其登記ヲ申請スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ同一ノ船舶ノ登記用紙ニ抵當權又ハ賃借權ノ登記アルトキハ申請書ニ其登記名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ際本ヲ添附スルコトヲ要ス

第二十二條 前條第一項ノ場合ニ於テハ申請書ニ船舶原簿ノ際本又ハ抄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第二十三條 第十六條ニ掲ケタル事項ノ變更ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中表示欄ニ變更後ノ事項ヲ記載シ表示番號欄ニ番號ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ抹スルコトヲ要ス

第二十三條 削除

第二十四條 同一ノ登記所ノ管轄内ニ於ケル船籍港變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ新船籍港ノ登記簿ニ舊船籍港ノ登記ヲ移スコトヲ要ス

登記簿ニ登記ヲ移ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ舊船籍港ノ表示ヲ爲シ前項ノ場合ニ於テハ表示欄及ヒ事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ何船籍港ノ登記簿ニ依リ登記ヲ移シタル旨及申請書受附ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

登記簿ニ登記ヲ移シタルトキハ前登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第二十五條 船舶所有者カ船籍港ヲ甲登記所ノ管轄地ヨリ乙登記所ノ管轄地ニ移シタルトキハ舊船籍港ノ登記簿及ヒ其附屬書類ノ際本ノ交付ヲ甲登記所ニ申請シ其際本ヲ乙登記所ニ提出シテ登記ヲ申請スルコトヲ要ス

船籍港ヲ臺灣ニ移シ又ハ船籍港ヲ臺灣ヨリ移シタルトキ亦同シ

前條第二項、第三項及ヒ不動産登記法第九條第二項但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

り有カ消滅スヘキトキハ船舶管理人ノ登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第二十九條 未登記ノ船舶所有者權ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

不動産登記法第二百二十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十條 左ノ場合ニ於テハ所有權ノ登記名義人ハ申請書ニ事由ヲ記載シテ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ要ス

一 船舶カ滅失又ハ沈没シタルトキ

二 船舶カ解撤セラレタルトキ

三 船舶ノ存否カ六個月間分明ナラサルトキ

四 船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失シタルトキ

五 船舶カ船舶法第二十條ニ掲ケル船舶トナリタルトキ

前項ノ場合ニ於テハ其實事ヲ證スル官吏又ハ公吏ノ書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第二十六條 船舶管理人ノ更迭ノ登記ハ所有權ノ登記名義人ヨリ之ヲ申請スルコトヲ要ス

第二十七條 船舶管理人ノ表示ノ變更ノ登記ハ本人ヨリ之ヲ申請スルコトヲ要ス

不動産登記法第五十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十八條 所有權ノ移轉ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其移轉ノ結果ニ因

第三十一條 登記官吏カ抵當權ノ登記ヲ完了シタルトキハ登記證書ニ不動産登記法第一百七條ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十二條 製造中ノ船舶ノ抵當權ノ登記ハ製造地ヲ管轄スル登記所ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三十三條 製造中ノ船舶ノ抵當權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

一 船舶ノ種類及船質

二 龍骨ノ長さ若シ船舶カ龍骨ヲ備ヘサルモノナルトキハ航ノ長さ

三 計畫ノ幅及ヒ深サ

四 計畫ノ積量

五 製造地

六 造船者ノ氏名、住所若シ造船者カ法人ナルトキハ其名稱及ヒ事務

所

七 不動産登記法第三十六條第三號乃至第八號ニ掲ケタル事項

第三十四條 製造中ノ船舶ノ抵當權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ前條第一號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ證スル造船者ノ書面ヲ添付スルコトヲ要ス

第三十五條 製造中ノ船舶ノ抵當權ノ登記ハ特別登記簿ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三十六條 特別登記簿ニ抵當權ノ登記ヲ爲スコトキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ、表示欄ニ第三十三條第一號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ記載シ且甲區事項欄ニ登記義務者ノ氏名、住所及ヒ抵當權ノ登記ノ申請ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十七條 製造中ニ抵當權ノ登記アリタル船舶ノ所有權ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ船舶港カ抵當權ノ登記ヲ爲シタル登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ所有權ノ登記ヲ爲シタル後其登記用紙ニ抵當權ノ登記ヲ移スコトヲ要ス 抵當權ノ登記ヲ移スコトキハ其登記ノ末尾ニ特別登記簿ニ依リテ登記ヲ移シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス 抵當權ノ登記ヲ移シタルトキハ之ニ關スル特別登記簿ノ用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第三十八條 製造中ニ抵當權ノ登記アリタル船舶ノ所有權ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ船舶港カ抵當權ノ登記ヲ爲シタル登記所ノ管轄ニ屬セザルトキハ申請書ニ特別登記簿ノ謄本ヲ添付スルコトヲ要ス製造中ニ臺灣ニ於テ抵當權ノ登記アリタル船舶ノ所有權ノ登記ヲ爲スコトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ登記官吏ハ特別登記簿ノ謄本ニ依リ登記簿ニ抵當權ノ登記ヲ移スコトヲ要ス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十九條 船長カ商法第五百六十八條第一項第一號ノ規定ニ從ヒテ設定シタル抵當權ノ登記ハ日本又ハ支那ニ於テハ其契約ヲ爲シタル港ヲ管轄スル登記所、外國ニ於テハ最近ノ日本領事館ヲ以テ管轄登記所トス

第四十條 船長カ前條ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ船舶ヲ抵當ト爲シタル事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第四十一條 第三十九條ノ登記ハ特別登記簿ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第四十二條 特別登記簿ニ登記ヲ爲スコトキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ船舶ノ種類、名稱並ニ積量及ヒ船舶港ヲ記載シ且甲區事項欄ニ船舶所有者ノ氏名、住所及ヒ抵當權ノ登記ノ申請ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第四十三條 第三十九條ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ代理權ヲ證スル書面カ船中ニ備ヘ置クヘキモノナルトキハ登記官吏ハ登記完了ノ後之ヲ還附スルコトヲ要ス

第四十四條 第三十九條ニ定メタル登記所ハ登記ヲ爲シタル後遲滞ナク船舶港ヲ管轄スル登記所ニ特別登記簿ノ謄本ヲ移送シ其用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス船舶港ヲ管轄スル登記所カ臺灣ニ在ルトキ亦同シ

第四十五條 特別登記簿ノ謄本ノ移送ヲ受ケタル登記所ハ其謄本ニ依リ登記簿ニ登記ヲ移シ其末尾ニ特別登記簿ノ謄本ニ依リテ登記ヲ移シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス臺灣ニ於ケル登記所

(台三)

ヨリ特別登記簿ノ謄本ヲ移送ヲ受ケタルトキ亦同シ

登記官吏カ登記證書ニ依リ商法第五百六十八條第一項第一號ノ規定ニ從ヒテ設定シタル抵當權アルコトヲ知リタルトキハ前項ノ登記ヲ爲スマテ登記簿ニ他ノ登記ヲ爲スコトヲ得ス此場合ニ於テ登記ノ申請アリタルトキハ其登記ハ特別登記簿ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十二條及ヒ第十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十六條 登記官吏カ賃借權ノ登記ヲ完了シタルトキハ登記證書ニ不動産登記法第二百二十七條第一項ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第四十七條 既登記ノ船舶ニ關スル未登記ノ抵當權又ハ賃借權ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

不動産登記法第三百三十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

附則

第四十八條 此規則ハ商法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四十九條 不動産登記法第六十二條ノ規定ハ明治十年第二十八號布告ニ從ヒテ公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ之ヲ準用ス

第五十條 不動産登記法第六十三條ノ規定ハ此規則施行前ニ登記シタル船舶ニ付キ此規則施行ノ後登記ノ申請アリタル場合ニ之ヲ準用ス但登記用紙中表示欄ニ移スヘキ船舶ノ表示ハ第十六條ノ規定ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第五十一條 船舶法第二十條ニ掲ケタル船舶ニ非スシテ此規則施行前ニ登記セザリシ船舶ニ付テハ船舶法第四條ノ規定ニ依リテ其積量ノ測定ヲ受クルマテハ舊法ノ規定ニ依リテノミ登記ヲ爲スコトヲ得但賃借權ノ登記ニ付テハ舊登記用紙ニ丁區事項欄ヲ追加シ之ニ關シテハ此規則ノ規定ヲ

適用ス

前條ノ規定ハ前項ノ船舶ニ付キ此規則ニ依リテ登記ノ申請アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十二條 船舶法第二十條ニ掲ケタル船舶ニ付キ此規則施行前ニ爲シタル積量測定法第十二條ノ規定ニ依リ積量ノ改測ヲ受ケタル船舶簿ノ謄本又ハ第十六條第一項第二號ノ事項ヲ除クノ外同條ニ掲ケタル事項及改測ノ事實ヲ記載シタル船舶原簿ノ抄本ヲ添付スルコトヲ要ス

前項ノ登記ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲スコトキハ變更後ノ事項ノ記載ハ第十六條ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

附則 (大正二年勅令第九十三號) 此規則ノ施行ニ關スル細則ハ主務大臣之ヲ定ム

附則 (大正三年勅令第二百四號) 本令ハ大正二年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年法律第十八號附則第二條乃至第八條ノ規定ハ本令ニ依ル登記ニ之ヲ準用ス但シ同法附則第五條中「乙區」トアルハ「丙區」ヲ謂フ

附則

第一條 本令ハ大正三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二條 船舶積量測定法第十二條ノ規定ニ依リ積量ノ改測ヲ受ケタル船舶簿ノ謄本又ハ第十六條第一項第二號ノ事項ヲ除クノ外同條ニ掲ケタル事項及改測ノ事實ヲ記載シタル船舶原簿ノ抄本ヲ添付スルコトヲ要ス

第三條 前條ノ規定ニ依ル變更ノ登記ヲ受ケサル船舶ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル
第四條 石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ニ付テハ從前ノ規定ニ依リ登記簿ニ記載シタル船舶ノ表示ハ本令ニ依ル表示ニ當然變更セラレタルモノト看做ス

附則 (昭和七年勅令第七十九號)

第一條 本令ハ昭和六年法律第六號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第二條 石數ヲ以テ積量ヲ表示シタル船舶ニシテ昭和六年法律第六號ニ依リ積量ノ改測ヲ受ケタルモノニ付テハ改測ニ因ル變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ船舶原簿ノ謄本又ハ第十六條第一項(第三號及第六號ヲ除ク)ニ掲グル事項及改測ノ事實ヲ記載シタル抄本ヲ添付スルコトヲ要ス
前項ノ登記ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ變更後ノ事項ノ記載ハ第十六條ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス
第三條 石數ヲ以テ積量ヲ表示シタル船舶ニシテ前條ノ規定ニ依ル變更ノ登記ヲ受ケザルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル
第四條 石數ヲ以テ積量ヲ表示シタル船舶ニシテ昭和六年法律第六號ニ依リ積量ノ改測ヲ受ケ登記スベキモノト爲リタルモノニ付テハ所有權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載シ且第十四條及第十五條ニ規定スル書面ニ代ヘ船鑑札臺帳ノ謄本及改測ノ事實ヲ記載シタル船舶件名書ノ謄本ヲ添付スルコトヲ要ス
前項ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ表示欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ昭和六年法律第六號施行ノ結果登記スベキ船舶ト爲リタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第五條 從前ノ規定ニ依リ登記簿ニ記載シタル船舶ノ表示欄ノ記載中「登録噸數」又ハ「汽機ノ種類及ヒ數」トアルハ「純噸數」又ハ「機關ノ種類及ヒ數」ニ當然變更セラレタルモノト看做ス但シ其ノ記載ヲ變更スルヲ妨ゲズ

○船舶登記取扱手續

明治三十二年六月十五日 司法省令第三十五號

改正 明治三十五年第一五號、三十六年第二六號、四十四年第二〇號、大正二年第一八號、三年第九號、五年第二八號、一一年第四七號、昭和二年第一一號、四年第二五號、八年第二二號
第一條 船舶登記簿ハ附錄第一號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
第二條 船舶共同人名簿ハ附錄第二號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
第三條 船舶特別登記簿ハ附錄第一號雜形ニ準シ船舶特別共同人名簿ハ附錄第二號雜形ニ準シ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
第四條 船舶登記見出帳ハ附錄第三號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
第五條 船舶登記見出帳ニハイロハ順ニ依リ豫メイノ部ヨリスノ部マテヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ其船名ノ頭字ニ依リ相當ノ部ニ船舶ノ名稱、登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入スヘシ
第六條 受附帳ハ附錄第四號雜形ニ依リ毎年之ヲ調製スヘシ
第七條 登記證書ハ附錄第五號雜形ノ用紙ヲ以テ之ヲ作ルヘシ
第八條 船舶所有者ハ其本籍地又ハ所在地ノ市、區、町村長市、區、町村長ハ其職務ヲ證明得タル印鑑ヲ船舶港ヲ管轄スル登記所ニ提出スヘシ

改印ヲ爲シタルトキ亦同シ但不動産ノ登記ニ關シ其登記所ニ印鑑ヲ提出シタル者ハ此限ニ在ラス
船舶ヲ所有スル法人ノ代表者ハ法人ノ登記ニ關シ印鑑ヲ提出シタル登記所ノ證明ヲ得タル印鑑ヲ船舶港ヲ管轄スル登記所ニ提出スヘシ但法人ノ登記ニ關シ印鑑ヲ提出シタル登記所ト船舶港ヲ管轄スル登記所ト同一ナルトキハ此限ニ在ラス
第九條 印鑑ハ附錄第六號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
第十條 第八條ノ規定ハ官廳又ハ公署ニハ之ヲ適用セス
第十一條 登記所ニハ登記簿、共同人名簿、見出帳及ヒ受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ

- 一 印鑑簿
- 二 共同擔保目録綴込帳
- 三 信託原簿綴込帳
- 四 申請書類綴込帳
- 五 決定原本綴込帳
- 六 抗告書類綴込帳
- 七 評價事件簿
- 八 評價書類綴込帳
- 九 印鑑證明書綴込帳
- 十 登記證書交付帳
- 十一 本登記證書交付帳
- 十二 船舶登記簿通知簿
- 十三 謄本抄本交付簿
- 十四 各種通知簿

十五 受領證原符元帳
十六 還納受領證綴込帳
第十一條ノ二 前條第二號乃至第十六號ノ帳簿ハ一十年毎ニ別冊ト爲スヘシ但分冊スルコトヲ妨ケズ
第十一條ノ三 評價事件簿ハ附錄第七號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
第十一條ノ四 共同擔保目録ハ附錄第八號雜形ニ依リ美濃紙ヲ以テ之ヲ調製スヘシ
第十一條ノ五 申請人ハ共同擔保目録ノ表紙ニ船舶共同擔保目録ト記載シ之ニ署名捺印スヘシ
共同擔保目録ノ用紙ニハ丁數ヲ記入シ且毎葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ前二項ノ場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ各一人ノ署名捺印又ハ契印ヲ以テ足ル
第十一條ノ六 信託原簿ハ附錄第九號雜形ニ依リ美濃紙ヲ以テ之ヲ調製スヘシ
第十一條ノ七 第十一條ノ五ノ規定ハ信託原簿ニ之ヲ準用ス
第十二條 登記簿謄本ノ交付又ハ登記簿若クハ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ其申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ但閱覽ヲ請求スル申請書ニハ利害ノ關係アル事由ヲ記載シ又ハ其事由ヲ記載シタル書面ヲ添付スヘシ
一 船舶ノ種類及ヒ名稱
二 船舶港
三 手數料ノ金額
四 登記所ノ表示
五 年月日

第十三條 登記簿抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ其申請書ニ前條ニ掲ケタル事項ノ外抄本ノ交付ヲ請求スル部分ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

第十四條 登記簿ノ謄本ハ登記簿ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作り其末尾ニ左ノ認證文ヲ記載シタルモノヲ添附シテ契印ヲ爲シ登記官吏之ニ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ押捺スヘシ
此謄本ハ何船籍港ノ登記簿ニ依リ之ヲ作り茲ニ登記簿ト相違ナキコトヲ認證ス
前項ノ規定ハ登記簿ノ抄本ニ之ヲ準用ス但抄本用紙ハ半紙罫紙ヲ用ユヘシ

第十四條ノ二 印鑑簿及ヒ信託原簿ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

受附帳ハ十年間之ヲ保存スヘシ
決定原本綴込帳、抗告書類綴込帳、評價事件簿、評價書類綴込帳及ヒ印鑑證明書類綴込帳ハ五年間之ヲ保存スヘシ
登記證書交付帳、本登記済証交付帳、船舶登記済通知簿、謄本抄本交付帳、各種通知簿、受領證原符元帳及ヒ還納受領證綴込帳ハ三年間之ヲ保存スヘシ

前三項ノ帳簿ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第十四條ノ三 共同擔保目録ハ抵當權ノ抹消ノ登記ヲ爲シタル日ヨリ十年間之ヲ保存スヘシ

第十五條 登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其登記ヲ申請スルニ必要ナル事項ノ外登録稅額ヲ記載スヘシ但登録稅法第三條第一項第一號乃至第十二號、第三條ノ二、第三條ノ三但書、第三條ノ四及ヒ第十六條ノ登記ニ付テハ課稅標準ノ價格ヲモ記載スヘシ

登録稅法第十九條ノ八ノ場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外差稅額ヲ記載スヘシ

第十六條 登記原因及ヒ登記ノ目的カ同一ニシテ且登録稅法第三條第一項第九號乃至第十二號ノ規定ニ依リ登録稅ヲ納付スヘキ場合ニ於テ數箇ノ登記所ノ管轄内ニ在ル數箇ノ船舶ニ關スル權利ノ登記ヲ申請スルトキハ最初ニ登記ヲ申請スル登記所ニ登録稅ノ全額ヲ納付スヘシ
前項ノ規定ニ從ヒ登録稅ヲ納付シタルトキハ登記官吏ハ登記ヲ申請スヘキ登記所ノ數ニ應シ登録稅ノ受領證ヲ申請人ニ交付スヘシ但二通以上ノ受領證ヲ交付スルトキハ各通ニ番號ヲ附スヘシ
申請人カ他ノ登記所ニ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ受領證ヲ添附スヘシ

第十六條ノ二 數箇ノ船舶ニ關シ登録稅法第十六條ノ三ノ規定ニ依リ登録稅ヲ徵收スル場合ニ於テハ登記官吏ハ後ニ登記ヲ申請スヘキ登記所ノ數ニ應シ課稅價格ヲ記載シタル登録稅ノ受領證ヲ申請人ニ交付スヘシ但二通以上ノ受領證ヲ交付スルトキハ各通ニ番號ヲ附スヘシ

船舶及ヒ他ノ權利ニ關シ登録稅法施行規則第四條及ヒ第四條ノ二ノ規定ニ依リ登録稅ヲ徵收スル場合亦前項ニ同シ

前條第三項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條ノ三 商法第五百四十四條ノ二ノ規定ニ依ル船舶ノ委付ノ登記ハ所有權ノ登記名義人ヨリ之ヲ申請スヘシ

特定ノ債權者ニ對シテ船舶ヲ委付スル場合ニ於テハ申請書ニ其債權者ヲ表示スヘシ

第十六條ノ四 前條ノ申請アリタルトキハ登記用紙中甲區事項欄ニ其登記ヲ爲スヘシ
第十七條 船舶登記規則第十條第一項ノ規定ニ依リ登記證書ノ交付ヲ申請

スル場合ニ於テハ申請書ニ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十八條 登記證書ヲ交付スルトキハ登記證書交付帳ニ登録番號、船舶ノ種類、名稱並ニ船籍港、交付ノ年月日及ヒ申請人ノ氏名ヲ記載シ登記證書ト契印スヘシ

第十九條 船舶登記規則第三條第一項ノ通知ニハ船舶ノ種類、名稱、積量、船籍港、申請書受附ノ年月日、登記ノ目的及ヒ申請人ノ氏名、住所ヲ記載スヘシ

第二十條 信託原簿用紙中ノ豫備欄カ記載スヘキ餘白ナキトキハ申請人ハ附錄第十號雛形ノ豫備欄用紙ヲ編綴シ之ニ記載ヲ爲スヘシ

第二十一條 信託原簿ノ記載ヲ變更スヘキトキハ登記官吏ハ附錄第十一號雛形ノ變更欄用紙ヲ編綴シテ契印ヲ爲シ之ニ記載ヲ爲スヘシ

第二十二條 登記番號ハ船舶登記規則施行ノ日ヨリ更ニ新ナル番號ヲ附スヘシ

第二十三條 船舶登記規則第五十一條第一項但書ノ規定ニ依リ舊登記簿用紙ニ丁區事項欄ヲ追加スル場合ニ於テハ舊登記用紙中丙區ノ左側ニ附錄第一號雛形中丁區事項欄ノ部分ト同一ノ用紙ヲ貼附シ登記官吏契印スヘシ
第二十四條 不動産登記法施行細則第二條第二項、第三項、第四條、第五條、第十條、第十二條、第十三條、第十五條、第十六條ノ二乃至第十八條、第二十條乃至第二十四條、第二十七條、第二十九條、第三十三條ノ二、第三十三條、第三十四條、第三十五條ノ二乃至第三十七條、第三十八條ノ二、第三十九條、第四十條、第四十三條ノ四、第四十三條ノ七、第四十四條ノ五、第四十四條ノ七乃至第四十四條ノ九、第四十五條、第四十六條、第四十六條ノ三乃至第四十七條、第四十九條、第五十一條乃至

至第五十七條ノ九、第五十七條ノ十一、第五十八條乃至第六十一條、第六十三條ノ二、第六十四條乃至第六十七條、第六十九條乃至第七十一條、第七十一條ノ四、第七十二條乃至第七十六條及ヒ商業登記取扱手續第十三條、第四十六條ノ規定ハ船舶ノ登記ニ之ヲ準用ス

附則 (大正二年司法省令第十八號)

第一條 本令ハ大正二年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二條 従前ノ規定ニ依ル登記簿ノ謄本ハ従前ノ規定ニ依ル謄本用紙ヲ以テ之ヲ作成スヘシ

第三條 本令施行前ニ調製シタル船舶登記見出帳ハ當分ノ内其儘之ヲ使用スルコトヲ御

第四條 船舶異動通知書類綴込帳ハ司法大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ廢毀スルコトヲ得

區裁判所出張所カ前項ノ許可ヲ請フトキハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ

附錄第一號

船舶登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ
枚
地方裁判所長

第 號		登記番
表 題 部 (示表船舶)		示表番
		表 示 欄
		表 示 欄

丁

甲 區 (權有所)		順位番
		事項欄
		順位番
		事項欄
		順位番
		事項欄

乙 區 (人管船 轉船)		丙	
順位番	事項欄	順位番	事項欄

丁

冊數	簿ノ	登記	登記	順位	番號	擔保ノ目的タル	豫	備

附錄第九號
信託原簿

(台三)

四	三	二	一
信託管 理人ノ 氏名、 住所	受益者 ノ氏名、 住所	受託者 ノ氏名、 住所	委託者 ノ氏名、 住所
五			
信託條項			
豫			
備			

五			
信託條項			
豫			
備			

(台三)

備	豫
備	豫

備	豫
備	豫

更	變
更	變

更	變
更	變

○數箇登記所ノ管轄地ニ跨ル船舶登記事務取扱場所

明治三十二年七月五日
司法省令第三十九號

船舶港カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カルトキハ其船舶登記ノ事務ハ商業登記ニ付委任シタル登記所ニ於テ之ヲ取扱フ

○東京市ヲ船籍港ト定メタル船舶登記事務取扱所

昭和七年九月二十一日
司法省令第三十八號

東京市ヲ船籍港ト定メタル船舶登記ノ事務ハ東京區裁判所ヲシテ之ヲ取扱ハシム
本令ハ昭和七年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

○内務省所有ニ係ル船舶登記及船舶登録ニ關スル申請ニ就キ官吏指定

大正二年九月十日
内務省訓令第二十號

當省所有ニ係ル船舶登記及船舶登録ニ關スル申請ニ就キ本官ノ代理トシテ其所長ヲ指定ス
内務省土木出張所

○陸軍省所管ニ係ル船舶ノ登記及登録ニ關シ官吏指定

大正二年十月二十日
陸達第四十六號

改正 大正一四年第七號
昭和六年第六號
當省所管ニ係ル船舶ノ登記及登録ニ關シ本官ノ代理トシテ陸軍運輸部長又ハ陸軍造兵廠長官ヲ指定ス

○【農商務省】所有ニ係ル船舶登記及船舶登録ニ關スル申請ニ就キ官吏指定

大正五年十一月二十四日
農商務省訓令第十二號

當省所有ニ係ル船舶登記及船舶登録ニ關スル申請ニ就キ本官ノ代理トシテ製鐵所長官ヲ指定ス
製鐵所

○逓信省所管ニ係ル船舶ノ登記ノ囑託ニ關シ官吏指定

昭和二年二月二十四日
逓信令第三號

當省所管ニ係ル船舶ノ登記ノ囑託ニ關シテハ明治四十三年三月逓信省令第五十號ヲ準用ス
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十節 組合

○産業組合登記取扱手續

大正六年十月二十七日
司法省令第八號

- 改正 大正七年第一號、一一年第三八號
- 第一條 産業組合登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
- 第二條 産業組合聯合會登記簿ハ附錄第一號雛形ニ準シ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
- 第三條 産業組合中央會登記簿ハ附錄第二號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
- 第四條 産業組合登記見出帳ハ附錄第三號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 第五條 産業組合登記受附帳ハ附錄第四號雛形ニ依リ毎年之ヲ調製スヘシ
受附帳ハ一箇年毎ニ更新スヘシ
- 第六條 登記所ニハ左ノ帳簿ヲ備フヘシ
 - 一 囑託書類送込帳
 - 二 決定原本送込帳
 - 三 抗告書類送込帳
 - 四 登記済証交付帳
 - 五 謄本抄本證明書交付帳
 - 六 受領證原符元帳
- 第七條 前條ノ帳簿ハ一箇年毎ニ別冊ト爲スヘシ但シ分冊スルコトヲ妨ケ

- 第八條 組合原簿ハ附錄第五號乃至第七號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
聯合會原簿ハ附錄第五號雛形及第七號雛形ニ準シ之ヲ調製スヘシ
- 第九條 組合原簿及聯合會原簿ニハ強靱ナル美濃紙ヲ用ウヘシ
- 第十條 組合原簿及聯合會原簿ニハ組合ノ代表者其ノ表紙ニ署名捺印シ且毎葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ
- 第十一條 組合原簿及聯合會原簿ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ
産業組合登記受附帳ハ十年間之ヲ保存スヘシ
決定原本送込帳及抗告書類送込帳ハ五年間之ヲ保存スヘシ
登記済証交付帳、謄本抄本證明書交付帳及受領證原符元帳ハ三年間之ヲ保存スヘシ
- 第十二條 前項ノ帳簿ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス
- 第十三條 産業組合登記又ハ組合原簿ノ記載ノ囑託書ニハ其ノ登記又ハ記載ニ關スル届書ノ外總會若ハ總代會ノ決議又ハ總組合員ノ同意ヲ要スル事項ニ付其ノ決議又ハ同意アリタルコト、産業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ手續ヲ踐ミタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ
- 第十四條 組合ノ區域ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ
- 第十五條 組合ノ事務所ノ移轉又ハ合併ニ因リ産業組合法第十四條第一項ニ定ムル登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其ノ事由ヲ記載スヘシ
- 第十六條 主タル事務所ニ非サル事務所ノ廢止ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ但シ登記所ノ管轄内ニ他ノ事務所アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

二十			一十			十			九			
住所	ノ氏名	清算人	日	と年月	事由及	解散ノ	ノ事由	ハ解散	時期又	存立ノ	所名ノ監	住氏事
年月日登記			年月日登記									
備						豫						

(台三)

更						變					
更						變					

丁

更						變					
更						變					

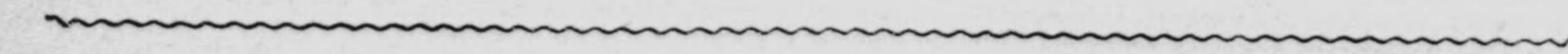
(台三)

更						變					
更						變					

丁

更	變
更	變

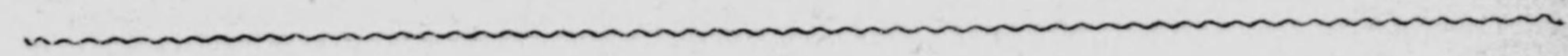
丁



更	變
更	變

更	變
更	變

丁



更	變
更	變

更 變		數 口 總 ノ 資 出	稱 名
更 變		額 總 ノ 資 出 ル タ ミ 込 拂	

丁

更 變	
更 變	

更 變	
更 變	

附錄第六號

無限責任何々組合ノ組合原簿

附録第七號
保證責任何々組合ノ組合原簿

更		變	數口總ノ資出	稱	名
更		變	額總ノ資出ルタミ込拂		
更		變			

更		變	組合員ノ 氏名住所
更		變	組合員ノ 氏名住所
更		變	

更	變		
更	變		

乙部

更	變	組合員ノ 氏名住所	保證金額
更	變	組合員ノ 氏名住所	保證金額

(合三)

○司法省令第十七號

(明治四十二年八月十六日)

(合三)

大正六年司法省令第八號ヲ以テ改正ス但同號
附則ニ依リ第五十一條乃至第五十三條ノ規定
ハ仍其ノ效力ヲ有スルヲ以テ其ノ條項ヲ存ス

第五十一條 本令施行前ニ設立ノ登記ヲ爲シタル組合カ産業組合法第十五
條第一項第一號及ヒ第二號ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生シタルニ因リ組合
原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ更ニ本令ニ定メタル組合原
簿ヲ差出スヘシ

前項ノ組合原簿ニハ變更前ノ出資ノ總口數及ヒ拂込ミタル出資ノ總額ヲ
記載スヘシ

第五十二條 本令施行前ニ登記シタル事項ノ變更又ハ消滅ノ登記ハ從來ノ
登記簿ニ之ヲ爲スヘシ

第五十三條 本令施行前ニ調製シタル産業組合登記簿ハ既ニ登記ヲ爲シタ
ルモノナルト否トヲ問ハス當分ノ内其儘之ヲ使用スルコトヲ得

○産業組合中央金庫登記取扱手續

大正十二年十二月十日
司法省令第二十一號

- 改正 大正十四年第二〇號
- 第一條** 産業組合中央金庫登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於
テ之ヲ調製スヘシ
- 第二條** 産業組合中央金庫登記受附帳ハ附錄第二號雛形ニ依リ毎年之ヲ調
製スヘシ
- 受附番號ハ一箇年毎ニ更新スヘシ

更	變	組合員ノ 氏名住所	保證金額
更	變	組合員ノ 氏名住所	保證金額

第二編 民事 第九章 登記 産業組合

- 第三條 産業組合中央金庫原簿ハ附録第三號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 第四條 産業債券ノ登記ヲ爲シタル後同一ノ事項ニ付更ニ登記ヲ爲スヘキトキハ變更欄ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ
- 第五條 産業債券ニ關スル登記ノ囑託書ニハ其ノ登記ヲ囑託スルニ必要ナル事項ノ外登録税額ヲ記載スヘシ但シ登録税法第六條第一項第十一號及第十一號ノ二ノ登記ニ付テハ課税標準ノ價格ヲモ記載スヘシ
- 第六條 産業組合中央金庫ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テ之ヲ取扱フ
- 第七條 産業組合登記取扱手續第六條、第七條、第九條乃至第十二條、第十五條乃至第十七條、第十九條乃至第二十一條、第二十五條及第二十九條ノ規定ハ産業組合中央金庫ノ登記ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ大正十二年十二月十五日ヨリ之ヲ施行ス

號					第	登	記
五	四	三	二	一	印	月	年
額	年	目	事	名	記	日	登
口	月	的	務	稱	官	マ	記
出	日		所		第	テ	一
表	ノ				十	ハ	欄
一	設				四	年	第
金	立				マ	月	九
	ノ				テ	日	欄
						登	第
						記	一
							欄
							第
							九
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
							一
							欄
							第
			</				

稱名	出資ノ口數	變		更
		變	更	
拂込ミル出資ノ總額		變	更	更
		更	變	更

○産業組合ニ關スル登記事務取扱所

明治三十三年七月十四日
司法省令第二十四號

産業組合ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テノミ之ヲ取扱ハシム

○家畜保險組合登記取扱手續

昭和四年六月二十八日
司法省令第二十五號

- 第一條 家畜保險組合ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テ之ヲ取扱フ
- 第二條 家畜保險組合登記簿ハ附録第一號様式ニ依リ地方裁判所長ニ於テ之ヲ調製シ登記所ノ請求ニ因リ交付スベシ
- 第三條 登記簿ニハ豫メ丁數ヲ記入スベシ
- 第四條 事務ヲ避クル爲メ登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ヲ登記所外ニ持出シタルトキハ登記官吏ハ速ニ其ノ旨ヲ司法大臣ニ具申スベシ
- 第五條 裁判所又ハ豫審判事ヨリ申請書其ノ他ノ附屬書類提出ノ命令又ハ送付ノ囑託アリタルトキハ登記官吏ハ其ノ關係アル部分ニ限り之ヲ送付スベシ
- 第六條 登記簿ノ全部又ハ一部分ガ滅失シタルトキハ登記官吏ハ遲滞ナク其ノ事由、年月日、滅失シタル登記簿其ノ他登記ノ回復ニ必要ナル事項ヲ詳細ニ記載シ且回復登記期間ヲ豫定シ地方裁判所長ニ申報スベシ但シ區

(台三)

裁判所出張所ノ申報ハ管轄區裁判所ヲ經由スベシ
地方裁判所長前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ相當ノ調査ヲ爲シタル後司法大臣ニ具申スベシ

第七條 登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類滅失ノ虞アルトキハ詳細其ノ狀況ヲ調査シ且適當ナル處理方法ヲ具シ前條ノ例ニ準ジ申報及其申ヲ爲スベシ

第八條 登記所ニハ印鑑簿、受附帳、申請書類送込帳及謄本抄本證明書交付帳其ノ他必要ナル帳簿ヲ備フベシ

第九條 申請書、囑託書、通知書、許可書、管轄轉屬ニ因リ移送ヲ受ケタル登記簿謄本其ノ他附屬書類ハ受附番號ノ順序ニ依リ申請書類送込帳ニ之ヲ編綴スベシ

第十條 印鑑ハ附録第二號様式ニ依リ之ヲ調製スベシ

第十一條 印鑑簿調製ノ様式及貼付ノ方法等ハ地方裁判所長之ヲ定ムベシ

第十二條 印鑑簿ハ永久ニ之ヲ保存スベシ
受附帳及申請書類送込帳ハ十年間其ノ他ノ帳簿ハ三年間之ヲ保存スベシ

前項ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第十三條 登記所ニ於テ登記ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ廢毀セントスルトキハ目錄ヲ作り地方裁判所長ニ申報スベシ但シ區裁判所出張所ノ申報ハ管轄區裁判所ヲ經由スベシ

第十四條 登記ノ申請ハ申請人又ハ其ノ代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ爲スベシ

第十五條 代理人ニ依リテ申請又ハ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ權限ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第二編 民事 第九章 登記 家畜保險組合

八五七

(台三)

第十六條 理事其ノ他法律ニ依リ登記ノ申請ヲ爲スベキ者ハ就職後遲滞ナク其ノ印鑑ヲ登記所ニ提出スベシ改印ヲ爲シタルトキ亦同ジ

第十七條 登記簿又ハ申請書其ノ他登記ニ關スル書類ヲ作ルニハ字畫ヲ明瞭ニスベシ

年月日及番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ文字ヲ用フベシ
文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ズ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ仍讀ミ得ベキ爲メ字體ヲ存スベシ

第十八條 申請書ガ數葉ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目ニ契印スベシ但シ其ノ者ガ多數ナルトキハ同一資格ヲ有スル者各其ノ一人ノ契印ヲ以テ足ル

第十九條 登記ノ申請書ニ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請人ハ其ノ原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ添附スベシ

登記官吏ガ書類ノ原本ヲ還付スルトキハ其ノ謄本ニ原本還付ノ旨ヲ記載シテ捺印スベシ

第二十條 行政官廳ノ認可ヲ要スル事項ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其ノ認可書ノ到達シタル年月日ヲ記載スベシ

第二十一條 登記簿若ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽又ハ登記簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ申請書ヲ提出スベシ

第二十二條 登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ閱覽セントスル登記事項又ハ書類ヲ記載シ申請人ニ署名捺印スベシ
申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ利害ノ

關係ヲ疏明スルニ足ルベキ事由ヲ記載シ又ハ之ニ其ノ關係ヲ疏明スルニ足ルベキ書面ヲ添付スベシ

第二十三條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル登記及手数料ノ金額ヲ記載シ申請人ニ署名捺印スベシ

第二十四條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スル場合ニ於ケル郵送料ハ郵便切手ヲ以テ之ヲ納付スベシ

第二十五條 登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ申請書ニ一通ヲ提出スベシ

前項ノ申請書ニハ證明ヲ請求スル事項ヲ記載シ申請人ニ署名捺印スベシ

第二十六條 登記ノ申請人ハ申請書ヲ提出シテ登記済證ヲ交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ申請書ニハ登記ノ件名ヲ記載シ申請人ニ署名捺印スベシ

第二十七條 組合ガ其ノ事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ新所在地ノ登記所ニ移轉ノ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ舊所在地ニ於ケル登記簿ノ謄本ニシテ一用紙ノ全部ヲ謄寫シタルモノヲ添付スベシ

前項ノ規定ハ新所在地ノ登記所ノ管轄内ニ他ノ事務所アル場合ニハ之ヲ

適用セズ

第二十八條 登記官吏ガ申請又ハ囑託ニ關スル書類ヲ受取リタルトキハ遲滞ナク總テノ事項ヲ調査スベシ

第二十九條 登記官吏ガ申請書ヲ受取リタルトキハ受附帳ニ登記ノ目的、申請人ノ氏名、受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ申請書ニ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スベシ

前項ノ規定ハ登記官吏ガ第九條ニ掲グル書類ヲ受取リタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十條 受附帳ニ申請人ノ氏名ヲ記載スル場合ニ於テ多數ナルトキハ申請書ニ掲ゲタル筆頭ノ者ノミノ氏名及他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第三十一條 登記ヲ爲スニハ登記用紙中相當欄ニ登記事項及登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スベシ

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載スルコトナクシテ登記ヲ完了シタルトキハ其ノ空欄ニ朱線ヲ交叉スベシ但シ後日登記スルコトアルベキ事項ノ爲設ケタル欄ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載シタル場合ニ於テ同欄内ニ餘白アルトキハ其ノ餘白ニ朱線ヲ交叉スベシ

豫備欄又ハ變更欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ左側ニ縱線ヲ劃シテ餘白ト分界スベシ

第三十二條 申請書ニ記載シタル代理人ノ氏名、住所ハ登記簿ニ之ヲ記載スルコトヲ要セズ

第三十三條 登記用紙中或欄ガ登記ヲ爲スベキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其ノ番號ノ第二ナルコト並ニ前用紙ヲ編綴セラル登記簿ノ冊數、丁數及其ノ繼續用紙ナルコトヲ記載シ且前用紙中登記

番號ノ左側ニ第一ノ文字並ニ新用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及之ニ繼續スル旨ヲ記載スベシ

前用紙中他ノ欄ニ餘白アルトキハ其ノ欄ニ登記スベキ事項ニ付テハ仍之ニ登記ヲ爲スベシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設ケル場合ニ之ヲ準用ス

第三十四條 組合ノ設立ノ場合ヲ除ク外家畜保險法第十六條第一項ニ定メタル登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其ノ事由ヲ記載スベシ

合ノ合併又ハ分割ニ因リ設立ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同ジ

破産法第二百二十二條及和議法第八條ノ規定ニ依リ登記ハ豫備欄ニ之ヲ爲スベシ

第三十五條 更正又ハ抹消ノ登記ノ申請アリタルトキハ其ノ登記用紙中變更欄ニ其ノ登記ヲ爲スベシ

第三十六條 行政區畫又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ登記官吏ハ登記用紙中變更欄ニ新舊ノ名稱及變更アリタル旨ヲ記載シ之ニ捺印シ其ノ記載ヲ更正スルコトヲ要ス

第三十七條 家畜保險法第八十七條ニ於テ準用スル非訟事件手續法第五百十一條ノ二第一項ノ規定ニ依リ通知書ニハ登記ヲ爲シタル事件ノ表示及其ノ登記ガ家畜保險法ノ規定ニ依リ許スベカラザルモノナルコトヲ記載スベシ

第三十八條 家畜保險法第八十七條ニ於テ準用スル非訟事件手續法第五百十一條ノ四ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由ヲモ記載スベシ

第三十九條 家畜保險法第八十七條ニ於テ準用スル非訟事件手續法第五百十一條ノ六第二項ノ規定ニ依リ登記ノ更正ヲ爲ス場合ニ於テハ許可アリ

第二編 民事 第九章 登記 家畜保險組合

タル旨及其ノ年月日ヲモ記載スベシ

第四十條 變更、更正又ハ抹消ノ登記ヲ爲シタルトキハ變更、更正又ハ抹消スベキ登記事項ヲ朱抹スベシ但シ抹消ノ登記ヲ爲シタルニ因リ登記用紙ヲ閉鎖スベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

抹消ノ登記ノ更正ノ場合ニ於テハ抹消セラレタル登記ヲ復活スベシ

第四十一條 決議無効ノ登記ノ囑託アリタルトキハ登記用紙中變更欄ニ決議無効ノ判決ヲ爲シタル裁判所ノ名稱及其ノ判決ノ確定シタル年月日ヲモ記載シ抹消ニ係ル登記アルトキハ其ノ登記ヲ復活スベシ

前項ノ場合ニ於テハ決議ニ因リテ爲シタル登記ヲ朱抹スベシ

第四十二條 組合ガ其ノ事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

前項ノ規定ハ登記所ノ管轄内ニ仍他ノ事務所アル場合ニハ之ヲ適用セズ

第四十三條 從タル事務所ノ廢止ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

前項ノ規定ハ登記所ノ管轄内ニ仍他ノ事務所アル場合ニハ之ヲ適用セズ

第四十四條 登記簿ニハ合併若ハ分割ニ因リ解散又ハ清算終了ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

破産手續終結ノ登記ヲ爲シタルトキハ亦前項ニ同ジ但シ強制和議認可決定ノ確定ニ因リ破産手續終結シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十五條 甲登記所ノ管轄地ノ一部ガ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其ノ部分ニ屬スル登記簿ノ謄本及申請書其ノ他ノ附屬書類又ハ其ノ謄本ヲ乙登記所ニ移送スベシ

前項ノ場合ニ於テハ甲登記所ノ登記用紙中豫備欄ニ乙登記所ニ管轄變更シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

第四十六條 前條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本及申請書其ノ他ノ附屬書類又ハ其ノ謄本ノ移送ヲ受ケタルトキハ乙登記所ハ登記簿ノ謄本ニ依リ抹消ニ係ラザル部分ノミヲ登記ヲ移スベシ

登記簿ニ登記ヲ移スニハ登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其ノ左側ニ前登記管轄ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ記載シ豫備欄ニ管轄變更ニ因リ登記ヲ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スベシ

第四十七條 登記用紙ヲ閉鎖スルニハ登記番號ヲ朱抹スベシ

第四十八條 登記ノ公告ハ登記ヲ爲シタル登記所ノ名ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第四十九條 登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽ハ登記官吏ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムベシ

第五十條 登記簿ノ謄本ハ登記簿ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作り其ノ末尾ニ左ノ認證文ヲ記載シタルモノヲ添附シテ毎葉ノ綴目ニ契印ヲ爲シ登記官吏之ニ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ捺捺スベシ

此ノ謄本ハ登記簿ニ依リ之ヲ作り茲ニ登記簿ト相違ナキコトヲ認證ス

前項ノ規定ハ登記簿ノ抄本ニ之ヲ準用ス但シ抄本用紙ハ半紙算紙ヲ用フベシ

第五十一條 登記簿ノ謄本ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外登記簿一用紙ノ全部ヲ遺漏ナク謄寫シテ之ヲ作ルベシ但シ請求ニ因リ抹消ニ係ラザル登記ノミヲ謄寫シテ之ヲ作ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ認證文ニ其ノ旨ヲ附記スベシ

登記簿ノ謄本ニ餘白アルトキハ其ノ部分ニ朱線ヲ交又シ又ハ餘白ナルコトヲ表示スベシ

トヲ表示スベシ

第五十二條 登記官吏ガ其ノ職務上過料ニ處セラレベキ者アルコトヲ知りタルトキハ遲滞ナク其ノ事件ヲ管轄地方裁判所長ニ通知スベシ

附則

本令ハ家畜保險法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附錄第一號	家畜保險組合登記簿	區裁判所
紙數表紙ヲ除キ	枚	
地方裁判所長		

登記番號		第一欄ヨリ		九		十		十一		十二	
月日及登記官印	年	年	月	日	日	年	月	日	年	月	日
一 名稱											
二 事務所											
三 目的											
四 區域											
五 設立認可年月日											
六 公告ヲ爲ス方											
七 理事ノ姓名住所											
八 監事ノ姓名住所											
九											
十											
十一											
十二											
備											

九	時存立ノハ事散又ノ	九	時存立ノハ事散又ノ
十	年事由及ノ	十	年事由及ノ
十一	所名ノ清算住氏人	十一	所名ノ清算住氏人
十二	月了清算年日ノ結	十二	月了清算年日ノ結
備		備	

更	變	更	變
更	變	更	變

附錄第二號(用紙厚紙堅十五種橫三種)

何郡(市)何町(村)何番地
 何々保險組合
 何々(資格ヲ)
 印鑑
 何
 何年何月何日生

附錄第三號

登記簿ノ種類	登記簿ノ種類	登記簿ノ種類	登記簿ノ種類
登記番號	登記番號	登記番號	登記番號
登記ノ件名	登記ノ件名	登記ノ件名	登記ノ件名
申請人ノ氏名、住所	申請人ノ氏名、住所	申請人ノ氏名、住所	申請人ノ氏名、住所
登記ノ年月日	登記ノ年月日	登記ノ年月日	登記ノ年月日
右登記簿ナルコトヲ證ス	右登記簿ナルコトヲ證ス	右登記簿ナルコトヲ證ス	右登記簿ナルコトヲ證ス
年月日	年月日	年月日	年月日
區裁判所	區裁判所	區裁判所	區裁判所

○牧野組合登記取扱手續

昭和六年十月二十四日
 司法省令第三十一號

- 第一條 牧野組合ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テ之ヲ取扱フ
- 第二條 牧野組合登記簿ハ附錄第一號様式ニ依リ地方裁判所長ニ於テ之ヲ調製シ登記所ノ請求ニ因リ交付スベシ
- 第三條 登記簿ニハ豫メ丁數ヲ記入スベシ
- 第四條 受附帳ハ附錄第二號様式ニ依リ之ヲ調製スベシ
 受附帳ハ八年毎ニ更新スベシ
- 第五條 事變ヲ避クル爲メ登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ヲ登記所外ニ持出シタルトキハ登記官吏ハ速ニ其ノ旨ヲ司法大臣ニ具申スベシ
- 第六條 裁判所又ハ豫審判事ヨリ申請書其ノ他ノ附屬書類提出ノ命令又ハ送付ノ囑託アリタルトキハ登記官吏ハ其ノ關係アル部分ニ限り之ヲ送付スベシ
- 第七條 登記簿ノ全部又ハ一部分ガ滅失シタルトキハ登記官吏ハ遲滞ナク其ノ事由、年月日、滅失シタル登記簿其ノ他登記ノ回復ニ必要ナル事項ヲ詳細ニ記載シ且回復登記期間ヲ豫定シ地方裁判所長ニ申報スベシ但シ區裁判所出張所ノ申報ハ管轄區裁判所ヲ經由スベシ
 地方裁判所長前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ相當ノ調査ヲ爲シタル後司法大臣ニ具申スベシ
- 第八條 登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類滅失ノ虞アルトキハ詳細其ノ狀況ヲ調査シ且適當ナル處理方法ヲ具シ前條ノ例ニ準ジ申報及具申ヲ爲スベシ

第九條 登記所ニハ印鑑簿、受附帳、申請書類送込帳及謄本抄本證明書交付帳其ノ他必要ナル帳簿ヲ備フベシ

第十條 申請書、囑託書、通知書、許可書、管轄轉屬ニ因リ移送ヲ受ケタル登記簿謄本其ノ他附屬書類ハ受附番號ノ順序ニ依リ申請書類送込帳ニ之ヲ編綴スベシ

第十一條 印鑑ハ附録第三號様式ニ依リ之ヲ調製スベシ

第十二條 印鑑簿調製ノ様式及貼附ノ方法等ハ地方裁判所長之ヲ定ムベシ

第十三條 印鑑簿ハ永久ニ之ヲ保存スベシ

受附帳及申請書類送込帳ハ十年間其ノ他ノ帳簿ハ三年間之ヲ保存スベシ

前項ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第十四條 登記所ニ於テ登記ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ廢毀セントスルトキハ目錄ヲ作り地方裁判所長ニ申報スベシ但シ區裁判所出張所ノ申報ハ管轄區裁判所ヲ經由スベシ

第十五條 登記ノ申請ハ申請人又ハ其ノ代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ爲スベシ

第十六條 代理人ニ依リテ申請又ハ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ權限ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第十七條 理事其ノ他法律ニ依リ登記ノ申請ヲ爲スベキ者ハ就職後遲滞ナク其ノ印鑑ヲ登記所ニ提出スベシ改印ヲ爲シタルトキ亦同シ

第十八條 登記ヲ爲シ又ハ申請書其ノ他登記ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫ヲ明瞭ニスベシ

年月日及番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ文字ヲ用フベシ

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ズ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其

ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ仍讀ミ得ベキ爲字體ヲ存スベシ

第十九條 申請書ガ數葉ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目ニ契印スベシ但シ其ノ者ガ多數ナルトキハ其ノ一人ノ契印ヲ以テ足ル

第二十條 登記ノ申請書ニ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請人ハ其ノ原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ添附スベシ

登記官吏ガ書類ノ原本ヲ還付スルトキハ其ノ謄本ニ原本還付ノ旨ヲ記載シテ捺印スベシ

第二十一條 行政官廳ノ認可ヲ要スル事項ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其ノ認可書ノ到達シタル年月日ヲ記載スベシ

第二十二條 登記簿若ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽又ハ登記簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ申請書ヲ提出スベシ

第二十三條 登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ閱覽セントスル登記事項又ハ書類ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スヘシ

申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ利害ノ關係ヲ説明スルニ足ルベキ事由ヲ記載シ又ハ之ニ其ノ關係ヲ説明スルニ足ルベキ書面ヲ添附スベシ

第二十四條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル登記及手數料ノ金額ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スベシ

抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ前項ニ掲グル事項ノ外其ノ請求スル部分ヲ記載スベシ

(台三)

(台三)

第二十五條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スル場合ニ於ケル郵送料ハ郵便切手ヲ以テ之ヲ納付スベシ

第二十六條 登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ申請書ニ通フ提出スベシ

前項ノ申請書ニハ證明ヲ請求スル事項ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スベシ

登記官吏ハ申請書ノ一通ニ證明文ヲ附シ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ捺捺シテ之ヲ申請人ニ交付スベシ

第二十七條 登記ノ申請人ハ申請書ヲ提出シテ登記濟證ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ申請書ニハ登記ノ件名ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スベシ

登記官吏ハ附録第四號様式ニ依リ登記濟證ヲ作製シ之ヲ申請人ニ交付スベシ

第二十八條 組合ガ其ノ事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ新所在地ノ登記所ニ移轉ノ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ舊所在地ニ於ケル登記簿ノ謄本ニシテ一用紙ノ全部ヲ謄寫シタルモノヲ添附スベシ

前項ノ規定ハ新所在地ノ登記所ノ管轄内ニ他ノ事務所アル場合ニハ之ヲ適用セズ

第二十九條 登記官吏ガ申請又ハ囑託ニ關スル書類ヲ受取リタルトキハ遲滞ナク總テノ事項ノ調査スベシ

第三十條 登記官吏ガ申請書ヲ受取リタルトキハ受附帳ニ登記ノ目的、申請人ノ氏名、受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ申請書ニ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スベシ

前項ノ規定ハ登記官吏ガ第十條ニ掲グル書類ヲ受取リタル場合ニ之ヲ準

用ス

第三十一條 受附帳ニ申請人ノ氏名ヲ記載スル場合ニ於テ多數ナルトキハ申請書ニ掲ゲタル筆頭ノ者ノ氏名及他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第三十二條 登記ヲ爲スニハ登記用紙中相當欄ニ登記事項及登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スベシ

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載スルコトナクシテ登記ヲ完了シタルトキハ其ノ空欄ニ朱線ヲ交又スベシ但シ後日登記スルコトアルベキ事項ノ爲設ケタル欄ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載シタル場合ニ於テ同欄内ニ餘白アルトキハ其ノ餘白ニ朱線ヲ交又スベシ

豫備欄又ハ變更欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ左側ニ縱線ヲ劃シテ餘白ト分界スベシ

第三十三條 申請書ニ記載シタル代理人ノ氏名、住所ハ登記簿ニ之ヲ記載スルコトヲ要セズ

第三十四條 登記用紙中或欄ガ登記ヲ爲スベキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其ノ番號ノ第二ナルコト並ニ前用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及其ノ繼續用紙ナルコトヲ記載シ且前用紙中登記番號ノ左側ニ第一ノ文字並ニ新用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及之ニ繼續スル旨ヲ記載スベシ

前用紙中他ノ欄ニ餘白アルトキハ其ノ欄ニ登記スベキ事項ニ付テハ仍之ニ登記ヲ爲スベシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設ケル場合ニ之ヲ準用ス

第三十五條 組合ノ設立ノ場合ヲ除ク外牧野法第十三條第二項ニ定メタル登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其ノ事由ヲ記載スベシ

破産法第二百二十二條及和議法第八條ノ規定ニ依ル登記ハ豫備欄ニ之ヲ爲スベシ

第三十六條 更正又ハ抹消ノ登記ノ申請アリタルトキハ其ノ登記用紙中變更欄ニ其ノ登記ヲ爲スベシ

第三十七條 行政區畫若ハ字又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルトキハ登記官吏ハ登記用紙中變更欄ニ新舊ノ名稱及變更アリタル旨ヲ記載シ之ニ捺印シ其ノ記載ヲ變更スルコトヲ要ス

第三十八條 牧野法第二十二條ニ於テ準用スル非訟事件手續法第五百一條ノ第二項ノ規定ニ依ル通知書ニハ登記ヲ爲シタル事件ノ表示及其ノ登記ガ牧野法ノ規定ニ依リ許スベカラザルモノナルコトヲ記載スベシ

第三十九條 牧野法第二十二條ニ於テ準用スル非訟事件手續法第五百一條ノ四ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由ヲモ記載スベシ

第四十條 牧野法第二十二條ニ於テ準用スル非訟事件手續法第五百一條ノ六第二項ノ規定ニ依リ登記ノ更正ヲ爲ス場合ニ於テハ許可アリタル旨及其ノ年月日ヲモ記載スベシ

第四十一條 變更、更正又ハ抹消ノ登記ヲ爲シタルトキハ變更、更正又ハ抹消スベキ登記事項ヲ抹消スベシ但シ抹消ノ登記ヲ爲シタルニ因リ登記用紙ヲ閉鎖スベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十二條 決議無効ノ登記ノ囑託アリタルトキハ登記用紙中變更欄ニ決議無効ノ判決ヲ爲シタル裁判所ノ名稱及其ノ判決ノ確定シタル年月日ヲモ記載シ抹消ニ係ル登記アルトキハ其ノ登記ヲ復活スベシ

前項ノ場合ニ於テハ決議ニ因リテ爲シタル登記ヲ抹消スベシ

第四十三條 組合ガ其ノ事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

前項ノ規定ハ登記所ノ管轄内ニ仍他ノ事務所アル場合ニハ之ヲ適用セズ

第四十四條 事務所ノ廢止ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

前項ノ規定ハ登記所ノ管轄内ニ仍他ノ事務所アル場合ニハ之ヲ適用セズ

第四十五條 破産手續終結ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ但シ強制和議認可決定ニ因リ破産手續終結シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十六條 甲登記所ノ管轄地ノ一部ガ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其ノ部分ニ屬スル登記簿ノ謄本及申請書其ノ他ノ附屬書類又ハ其ノ謄本ヲ乙登記所ニ移送スベシ

前項ノ場合ニ於テハ甲登記所ノ登記用紙中豫備欄ニ乙登記所ニ管轄變更シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

第四十七條 前條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本及申請書其ノ他ノ附屬書類又ハ其ノ謄本ノ移送ヲ受ケタルトキハ乙登記所ハ登記簿ノ謄本ニ依リ抹消ニ係ラザル部分ノミノ登記ヲ移スベシ

登記簿ニ登記ヲ移スニハ登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其ノ左側ニ前登記管轄ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ記載シ豫備欄ニ管轄變更ニ因リ登記ヲ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スベシ

附錄第一號

第五十條 登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽ハ登記官吏ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムベシ

第五十一條 登記簿ノ謄本ハ登記簿ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作り其ノ末尾ニ左ノ認證文ヲ記載シタルモノヲ添附シテ毎葉ノ綴目ニ契印ヲ爲シ登記官吏之ニ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ捺捺スベシ

此ノ謄本ハ登記簿ニ依リ之ヲ作り茲ニ登記簿ト相違ナキコトヲ認證ス

前項ノ規定ハ登記簿ノ抄本ニ之ヲ準用ス但シ抄本用紙ハ半紙罫紙ヲ用フベシ

第五十二條 登記簿ノ謄本ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外登記簿一用紙ノ全部ヲ遺漏ナク謄寫シテ之ヲ作ルベシ但シ請求ニ因リ抹消ニ係ラザル登記ノミヲ謄寫シテ之ヲ作ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ認證文ニ其ノ旨ヲ附記スベシ

登記簿ノ謄本ニ餘白アルトキハ其ノ部分ニ朱線ヲ交又シ又ハ餘白ナルコトヲ表示スベシ

第五十三條 登記官吏ガ其ノ職務上過料ニ處セラルベキ者アルコトヲ知りタルトキハ遲滯ナク其ノ事件ヲ管轄地方裁判所長ニ通知スベシ

附則 本令ハ牧野法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

紙數表紙ヲ除キ 地方裁判所長	枚
牧野組合登記簿	區裁判所

第 號				登記 番號
四地 區	三目 的	二事 務所	一名 稱	登記ノ年 月日及登 記官印
				第一欄ヨリ 第八欄マ テ 日登記
八 ノハ時存 事解期立 由散又ノ	七氏名、 住所	理事ノ 法	六爲ス方 公告ヲ	五可ノ年 月日
				設立認 年月日
				年月日

更	變	更	變
更	變	更	變

附錄第二號

牧野組合登記受附帳
區裁判所

受附ノ 年月日	受附 番號	登記ノ 目的	申請人ノ 氏名	備	考

登記官吏が書類ノ原本ヲ還付スルトキハ其ノ謄本ニ原本還付ノ旨ヲ記載シテ捺印スベシ

第二十一條 登記簿若ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閲覧又ハ登記簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ申請書ヲ提出スベシ

第二十二條 登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閲覧ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ閲覧セントスル登記事項又ハ書類ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スベシ

第二十三條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル登記及手数料ノ金額ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スベシ

第二十四條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スル場合ニ於ケル郵送料ハ郵便切手ヲ以テ之ヲ納付スベシ

第二十五條 登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ申請書ニ通テ提出スベシ

第二十六條 登記ノ申請人ハ申請書ヲ提出シテ登記済證ノ交付ヲ請求スル

豫備欄又ハ變更欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ左側ニ縦線ヲ劃シテ餘白ト分界スベシ

第三十二條 申請書ニ記載シタル代理人ノ氏名、住所ハ登記簿ニ之ヲ記載スルコトヲ要セズ

第三十三條 登記用紙中或欄方登記ヲ爲スベキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其ノ番號ノ第二ナルコト並ニ前用紙ヲ編綴セ

第三十四條 組合ノ設立ノ場合ヲ除ク外蠶絲業組合法第二十三條第二項ニ定メタル登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其ノ事由ヲ記載スベシ

第三十五條 更正又ハ抹消ノ登記ハ其ノ登記用紙中變更欄ニ之ヲ爲スベシ

第三十六條 行政區畫又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ登記官吏ハ登記用紙中變更欄ニ新舊ノ名稱及變更アリタル旨ヲ記載シ之ニ捺印シ其ノ記載ヲ更正スルコトヲ要ス

第三十七條 蠶絲業組合法第二十六條ニ於テ準用スル非訟事件手續法第五十一條ノ第二項ノ規定ニ依リ通知書ニハ登記ヲ爲シタル事件ノ表示及其ノ登記方蠶絲業組合法又ハ産業組合法ノ規定ニ依リ許スベカラザル

第二編 民事 第九章 登記 養蠶實行組合及農事實行組合

コトヲ得

第二十七條 組合ガ其ノ主タル事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ新所在地ノ登記所ニ移轉ノ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ舊所在地ニ於ケル登記簿ノ謄本ニシテ一用紙ノ全部ヲ謄寫シタルモノヲ添附スベシ

第二十八條 登記官吏ガ申請又ハ囑託ニ關スル書類ヲ受取リタルトキハ遅滞ナク總テノ事項ヲ調査スベシ

第二十九條 登記官吏ガ申請書ヲ受取リタルトキハ受附帳ニ登記ノ目的、申請人ノ氏名、受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ申請書ニ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スベシ

第三十條 受附帳ニ申請人ノ氏名ヲ記載スル場合ニ於テ多數ナルトキハ申請書ニ掲ゲタル筆頭ノ者ノ氏名及他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ルキハ其ノ空欄ニ朱線ヲ交叉スベシ但シ後日登記スルコトアルベキ事項ノ爲設ケタル欄ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十一條 登記ヲ爲スニハ登記用紙中相當欄ニ登記事項及登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スベシ

登記官吏ハ附錄第四號様式ニ依リ登記済證ヲ作製シ之ヲ申請人ニ交付スベシ

第三十二條 蠶絲業組合法第二十六條ニ於テ準用スル非訟事件手續法第五十一條ノ四ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由ヲモ記載スベシ

第三十三條 蠶絲業組合法第二十六條ニ於テ準用スル非訟事件手續法第五十一條ノ六第二項ノ規定ニ依リ登記ノ更正ヲ爲ス場合ニ於テハ許可アリタル旨及其ノ年月日ヲ記載スベシ

第三十四條 變更、更正又ハ抹消ノ登記ヲ爲シタルトキハ變更、更正又ハ抹消スベキ登記事項ヲ朱線スベシ但シ抹消ノ登記ヲ爲シタルニ因リ登記用紙ヲ閉鎖スベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十五條 抹消ノ登記更正スル場合ニ於テハ抹消セラレタル登記ヲ復活スベシ

第三十六條 組合ガ其ノ主タル事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

第三十七條 甲登記所ノ管轄地ノ一部ガ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其ノ部分ニ屬スル登記簿ノ謄本及申請書其ノ他ノ附屬書類又ハ其ノ謄本ヲ乙登記所ニ移送スベシ

第三十八條 前項ノ場合ニ於テハ甲登記所ノ登記用紙中豫備欄ニ乙登記所ニ管轄變更シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

第三十九條 前條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本及申請書其ノ他ノ附屬書類又ハ其ノ謄本ノ移送ヲ受ケタルトキハ乙登記所ハ登記簿ノ謄本ニ依リ抹消

モノナルコトヲ記載スベシ

第三十八條 蠶絲業組合法第二十六條ニ於テ準用スル非訟事件手續法第五十一條ノ四ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由ヲモ記載スベシ

第三十九條 蠶絲業組合法第二十六條ニ於テ準用スル非訟事件手續法第五十一條ノ六第二項ノ規定ニ依リ登記ノ更正ヲ爲ス場合ニ於テハ許可アリタル旨及其ノ年月日ヲ記載スベシ

第四十條 變更、更正又ハ抹消ノ登記ヲ爲シタルトキハ變更、更正又ハ抹消スベキ登記事項ヲ朱線スベシ但シ抹消ノ登記ヲ爲シタルニ因リ登記用紙ヲ閉鎖スベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十一條 抹消ノ登記更正スル場合ニ於テハ抹消セラレタル登記ヲ復活スベシ

第四十二條 組合ガ其ノ主タル事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

第四十三條 甲登記所ノ管轄地ノ一部ガ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其ノ部分ニ屬スル登記簿ノ謄本及申請書其ノ他ノ附屬書類又ハ其ノ謄本ヲ乙登記所ニ移送スベシ

第四十四條 前項ノ場合ニ於テハ甲登記所ノ登記用紙中豫備欄ニ乙登記所ニ管轄變更シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

第四十五條 前條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本及申請書其ノ他ノ附屬書類又ハ其ノ謄本ノ移送ヲ受ケタルトキハ乙登記所ハ登記簿ノ謄本ニ依リ抹消

記ヲ爲ストキハ本令ニ依ル登記簿ノ登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ生絲共同施設組合登記簿ヨリ抹消ニ係ラザル事項ヲ移スベシ但シ保證金額ニ關スル規定ノ登記ハ此ノ限ニ在ラズ
 前項ノ取扱ヲ爲シタルトキハ本令ニ依ル登記簿及生絲共同施設組合登記簿ノ登記用紙中豫備欄ニ其ノ事由ヲ記載シ且生絲共同施設組合登記簿ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ
 附錄第一號

蠶絲共同施設組合登記簿

區 裁判所

紙數表紙ヲ除キ

枚

地方裁判所長

更	變	備	豫
更	變	更	變

更	變	更	變
更	變	更	變

登記番號		號					
第一欄	第二欄	第三欄	第四欄	第五欄	第六欄	第七欄	第八欄
印及登記年月日	一 名 稱	二 組 織	三 事 務 所	四 目 的	五 設 立 認 可 日	六 地 區	七 出 資 一 口 額
第一欄ヨリ 年 月 日 マテ 日 登 記							
八十 ノ 年 月 日	七十 所 氏 名 及 住	六十 日 由 及 年 月	五十 ノ 事 由	四十 丁 等 名 數 ノ	三十 住 氏 監 事 所 名 及 住	二十 住 氏 理 事 所 名 及 住	一十 ス 公 告 ヲ 爲
年 月 日 登記	年 月 日 登記	年 月 日 登記					

前項ノ規定ハ昭和九年勅令第二百三十二號附則第三條第二項ニ於テ準用スル漁業組合令第五十條ノ十一第一項ノ漁業組合聯合會ノ登記ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ申請書ニ昭和九年勅令第二百三十二號附則第三條第一項ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スベシ
 從來ノ登記簿ノ謄本ハ其ノ登記簿ト同一様式ノ用紙ヲ用ヒテ之ヲ作成スベシ
 附錄第一號

漁業組合登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

更	變	更	變
更	變	更	變

丁

更	變	更	變
更	變	更	變

丁

登記番號

三十	二十	一十	十	五	四	三	二	一	登記
所名ノ 住氏	年原解 月因散 日及ノ	事解期存 由散又立 ノハ時	住氏監 所名事ノ	地 區	目 的	事 務 所	組 織	名 稱	月日及 官印登 記ノ年
年月 日登記	年月 日登記								第一欄ヨリ 年 月 日 マデ 登記
備	豫	四十 月了 日算 年結	九 住氏理 所名事ノ	八 法込 方出資 拂	七 額口出 ノ資一	六 月可 日立 年許			
		年月 日登記							

丁

有限責任何々組合ノ組合原簿

更 變		更 變		額資ノ總出	拂込ミ	總口數	出資ノ	名組合ノ
更 變		更 變						

丁

無限責任何々組合ノ組合原簿

所 名ノ 組合員		所 名ノ 組合員		額資ノ總出	拂込ミ	總口數	出資ノ	名組合ノ
更 變		更 變						

丁

保證責任何々組合ノ組合原簿

保證責任何々組合ノ組合原簿	
---------------	--

證金額	所及保	名、住 氏	組合員	證所名ノ 組合員	額金及 額保氏	額資ノ總出	拂込ミ	總口數	出資ノ	名組合ノ
更 變				更 變						

丁

○森林組合登記取扱手續

明治四十一年一月十六日
司法省令第一號

改正 大正二年第二三號、五年第三三號、七年第四號、一一年第三九號

第一條 森林組合登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第二條 森林組合登記見出帳ハ附錄第二號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第三條 登記所ニハ登記簿見出帳及ヒ受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ

- 一 印鑑簿
- 二 申請書類送込帳
- 三 決定原本送込帳
- 四 抗告書類送込帳
- 五 登記済證交付帳
- 六 謄本抄本證明書交付帳
- 七 受領證原符元帳

第四條 前條第二號乃至第七號ノ帳簿ハ一ケ年毎ニ別冊ト爲スヘシ但分冊スルコトヲ妨ケス

第五條 組合カ其事務所ヲ移轉シタル場合ニ於テ森林組合令第七條ノ規定ニ依リ同令第六條第二項ニ定メタル登記ヲ爲シタルトキ又ハ同令第三十

五條第一項ノ規定ニ依リ設立ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其事由ヲ記載スヘシ

第六條 森林組合ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テノミ之ヲ取扱フ

第七條 不動産登記法施行細則第四條、第五條、第十二條、第十三條、第二十

條乃至第二十四條、第二十七條、第三十三條乃至第三十五條ノ二、第三十六條、第三十七條、第三十九條、第四十七條、第五十一條及ヒ商業登記取扱手續第五條乃至第七條、第九條乃至第二十條、第二十一條第五項、第二十三條乃至第二十八條、第二十九條乃至第三十二條、第四十六條ノ規定ハ森林組合ノ登記ニ之ヲ準用ス

附錄第一號

森林組合登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ

地方裁判所長

枚

登記ノ年、月、日					第一欄	【明治】年 月
登記ノ年、月、日					第九欄	日 登記
一	二	三	四	五	六	
名稱	事務所	目的及 ヒ事業	設立許 可ノ年 月日	出資又 ハ費用 分擔ノ 方法	地 區	
丁						

七			八			九		
理事ノ 住所	氏名、	住所	監事ノ 住所	氏名、	住所	存立ノ 時期又 ハ解散 ノ事由	解散ノ 原因及 ヒ年月 日	清算人 ノ氏名、 住所
十			十一			十二		
【明治】年月日登記			【明治】年月日登記			備		

○輸出組合、工業組合及商業組合登記取扱手續

大正十四年八月二十八日
司法省令第十九號

改正 昭和六年第二號、七年第三號、八年第三號

- 第一條 輸出組合登記簿、工業組合登記簿及商業組合登記簿ハ附録第一號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
- 第二條 輸出組合聯合會登記簿、工業組合聯合會登記簿及商業組合聯合會登記簿ハ附録第一號雜形ニ準シ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
- 第二條ノ二 工業組合中央會登記簿ハ附録第二號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
- 第三條 輸出組合登記見出帳、工業組合登記見出帳及商業組合登記見出帳ハ附録第三號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 第四條 輸出組合登記受附帳、工業組合登記受附帳及商業組合登記受附帳ハ附録第四號雜形ニ依リ毎年之ヲ調製スヘシ
- 受附番號ハ一箇年毎ニ更新スヘシ
- 第五條 登記官吏力輸出組合聯合會ノ登記ノ申請書ヲ受取リタルトキハ輸出組合登記受附帳ニ、工業組合聯合會又ハ工業組合中央會ノ登記ノ申請書ヲ受取リタルトキハ工業組合登記受附帳ニ、商業組合聯合會ノ登記ノ申請書ヲ受取リタルトキハ商業組合登記受附帳ニ記入スヘシ
- 第五條ノ二 輸出組合、工業組合又ハ商業組合ノ設立ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ輸出組合法第十六條第二項第四號、工業組合法第十六條第二項第四號又ハ商業組合法第十六條第二項第四號ニ掲クル事項ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ

第五條ノ三 前條ノ規定ハ輸出組合聯合會、工業組合聯合會及商業組合聯合會ノ登記ニ之ヲ準用ス

第六條 不動産登記法施行細則第四條、第五條、第十三條、第二十條乃至第二十四條、第二十七條、第三十三條乃至第三十五條ノ二、第三十六條、第三十七條、第三十九條、第四十七條、第五十一條、第七十一條第一項、商業登記取扱手續第六條乃至第二十條、第二十一條第五項、第二十三條乃至第二十八條、第二十九條乃至第三十三條、第四十四條乃至第四十四條ノ三、第四十四條ノ八乃至第四十六條、第四十九條ノ三及產業組合登記取扱手續第十五條ノ規定ハ輸出組合、輸出組合聯合會、工業組合、工業組合聯合會、工業組合中央會、商業組合及商業組合聯合會ノ登記ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ大正十四年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

附録第一號

輸出組合(工業組合又ハ商業組合)登記簿

區裁判所

(台三)

紙數表紙ヲ除キ
枚

地方裁判所長

登記番號		第一欄		年月日		設立認可年月日	
四	三	二	一	五	六	七	八
地區	目的	事務所	名稱	登記月日	出資ノ總口數	拂込タル出資ノ總額	出資一口ノ金額
九	八	七	六	五	四	三	二
法	込	出	出	出	出	出	出
法	込	出	出	出	出	出	出
法	込	出	出	出	出	出	出

(台三)

一		十		十	
所名ノ住		監事		所名ノ住理事	
備豫		五十		四十	
月日		清算了ノ年		住所ノ氏名	
年月日登記		年月日登記		年月日登記	
				事由及解散ノ	
				存立ノ時期又ハ解散ノ事由	

(台三)

更 變		更 變	
更 變		更 變	

紙數表紙ヲ除キ 地方裁判所長 枚	附錄第二號 工業組合中央會登記簿 區裁判所
------------------------	-----------------------------

(台三)

備 號	一 月了 日算 年結	十 住氏人 所名ノ 算	九 年事解 月由及 日及	八 ノハ時存 事解散又 ノ期立ノ	號					印 日及 登記官 年月 第一欄 マテ ヨリ 年月 日登記
					五 總資 額ノ	四 月可 日ノ 年認	三 目 的	二 事 務 所	一 名 稱	
	年 月 日 登 記	年 月 日 登 記	年 月 日 登 記							
備 號					七 所 名ノ 監 住 氏 事		六 所 名ノ 理 住 氏 事			

更	變	更	變
更	變	更	變

部		名 稱	登 記	簿	備 考
			冊數	丁數	登記番號
					繼續用紙ノ冊數

附錄第三號
輸出組合(工業組合又ハ商業組合)登記見出帳
區裁判所

附錄第一號

商工組合中央金庫登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

登記簿		第		號	
六	出口ノ金	五	額資本金	四	月可設立認
三	目的	二	事務所	一	名稱
七	出資拂	八	本金額	九	公告ノ方法
十	事ノ氏	十一	長、理事	十二	清算了ノ年月日
十三	年マデ	十四	月マデ	十五	日登記
十六	年マデ	十七	月マデ	十八	日登記
十九	年マデ	二十	月マデ	二十一	日登記

(台三)

十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
監事ノ	氏名及	住所	存立期	間	各商工債	額	各商工債	額	各商工債
九	及住所	十	清算人	八	事由及	年	月	日	年
七	各商工債	六	及期限	五	券償還	四	ノ方法	三	及期限
二	存立期	一	住所	十	各商工債	額	各商工債	額	各商工債
五	率	十	商工債	四	金額	十	各商工債	額	各商工債
九	及住所	十	清算人	八	事由及	年	月	日	年
七	各商工債	六	及期限	五	券償還	四	ノ方法	三	及期限
二	存立期	一	住所	十	各商工債	額	各商工債	額	各商工債
五	率	十	商工債	四	金額	十	各商工債	額	各商工債

更	變	備	豫	十	二
				月	了
				日	年
				年	結
更	變	更	變	年	月
				日	日
				登	登
				記	記

(台三)

更	變	更	變
更	變	更	變

附錄第二號

商工組合中央金庫登記受附帳
區裁判所

受附ノ年月日	受附ノ番號	登記ノ目的	申請ノ氏名	備考

○住宅組合登記取扱手續

大正十年七月六日
司法省令第十八號

(台三)

- 改正 大正一四年第二〇號
- 第一條 住宅組合登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
 - 第二條 住宅組合登記見出帳ハ附錄第二號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
 - 第三條 住宅組合登記受附帳ハ附錄第三號雛形ニ依リ毎年之ヲ調製スヘシ
 - 受附番號ハ一箇年毎ニ更新スヘシ
 - 第四條 組合原簿ハ附錄第四號乃至第六號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
 - 第五條 住宅組合ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テ之ヲ取扱フ
 - 第六條 産業組合登記取扱手續第六條、第七條、第九條乃至第二十五條及第二十九條ノ規定ハ住宅組合ノ登記ニ之ヲ準用ス
- 附則
本令ハ大正十年七月十日ヨリ之ヲ施行ス

受附ノ年月日	受附ノ番號	登記ノ目的	申請ノ氏名	備考

更	變	組合員ノ 氏名住所	更	變	組合員ノ 氏名住所
更	變	組合員ノ 氏名住所	更	變	組合員ノ 氏名住所

丁

乙部

附錄第五號
無限責任何々組合ノ
名稱ノ 組合原簿

更	變
更	變

更	變	更	變	口ノ出 數總資	稱名
更	變	更	變	總資ルミ拂 額ノ出タ込	

丁

甲部

附錄第六號
保證責任何々組合ノ
名稱ノ 組合原簿

更	變	更	變	口ノ出 數總資	稱名
更	變	更	變	總資ルミ拂 額ノ出タ込	

丁

甲部

乙部

更	變	組合員ノ 氏名住所	組合員ノ 氏名住所
		保證金額	保證金額
更	變	組合員ノ 氏名住所	組合員ノ 氏名住所
		保證金額	保證金額

丁

○海外移住組合登記取扱手續

昭和二年四月三十日
司法省令第十四號

- 第一條 海外移住組合登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スベシ
- 第二條 海外移住組合聯合會登記簿ハ附錄第一號雛形ニ準ジ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スベシ
- 第三條 海外移住組合登記見出帳ハ附錄第二號雛形ニ依リ之ヲ調製スベシ
- 第四條 海外移住組合登記受附帳ハ附錄第三號雛形ニ依リ毎年之ヲ調製スベシ
- 受附番號ハ一箇年毎ニ更新スベシ
- 第五條 組合原簿ハ附錄第四號雛形ニ依リ之ヲ調製スベシ
- 聯合會原簿ハ附錄第四號雛形ニ準ジ之ヲ調製スベシ
- 第六條 海外移住組合ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テ之ヲ行フ
- 第七條 不動産登記法施行細則第四條、第五條、第二十條乃至第二十四條、第三十三條乃至第三十五條ノ二、第三十六條、第三十七條、第三十九條、第四十七條、第七十一條第一項、商業登記取扱手續第九條、第十條乃至第十三條、第十五條乃至第二十條、第二十一條第五項、第二十三條乃至第二十八條、第二十九條乃至第三十三條、第四十四條、第四十四條ノ八乃至第四十六條、第四十九條ノ三及產業組合登記取扱手續第六條、第七條、第九條乃至第十二條、第十五條乃至第十七條、第十九條乃至第二十二條、第二十四條、第二十六條ノ規定ハ海外移住組合及海外移住組合聯合會ノ登記ニ之ヲ準用ス

(台三)

附則
本令ハ昭和二年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附錄第一號	海外移住組合登記簿
紙數表紙ヲ除キ	枚
地方裁判所長	區裁判所

登記 番號	第一欄ヨリ 第十欄マテ	年 月 日	登記 年月日 官印	一 名 稱	二 事 務 所	三 目 的	四 區 域	五 設 立 許 可 ノ 年 月 日	六 出 資 一 口 ノ 金 額
				七 出 資 拂 込 ノ 方 法		八 理 事 ノ 氏 名 住 所			

(台三)

○負債整理組合登記取扱手續

昭和八年七月三十一日
司法省令第二十九號

- 第一條 負債整理組合ニ關スル登記ニ付テハ本令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外兼置實行組合及農事實行組合登記取扱手續ヲ準用ス
- 第二條 負債整理組合登記簿ハ附錄第一號様式ニ依リ地方裁判所長ニ於テ之ヲ調製シ登記所ノ請求ニ因リ交付スベシ
- 第三條 組合原簿ハ無限責任ノ組合ニ在リテハ附錄第二號様式ニ依リ、保證責任ノ組合ニ在リテハ附錄第三號様式ニ依リ之ヲ調製スベシ
- 第四條 組合原簿ニハ強靱ナル美濃紙ヲ用フルコトヲ要ス
- 第五條 組合原簿ニハ申請人其ノ表紙ニ署名捺印シ且毎葉ノ綴目ニ契印スベシ但シ申請人が多數ナルトキハ其ノ一人ノ署名捺印又ハ契印ヲ以テ足ル
- 第六條 組合原簿ハ永久ニ之ヲ保存スベシ
- 第七條 行政官廳ノ認可ヲ要スル事項ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其ノ認可簿ノ到達シタル年月日ヲ記載スベシ
- 第八條 登記又ハ組合原簿ノ記載ノ申請書ニハ總會ノ決議又ハ總組合員ノ同意ヲ要スル事項ニ付其ノ決議又ハ同意アリタルコト、農村負債整理組合法第二十四條第二項ニ於テ準用スル産業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ手續ヲ踐ミタルコトヲ證スル書面ヲモ添附スベシ
- 第九條 農村負債整理組合法第二十條第二項ノ組合原簿ハ前ノ組合原簿ニ之ヲ編綴シ登記官吏其ノ綴目ニ契印スベシ

第九條 組合原簿ノ記載ノ變更ハ其ノ變更欄ニ之ヲ記載シ變更シタル事項ヲ朱抹スベシ

第十條 行政區畫又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタル場合ニ於テ組合原簿ノ記載ノ更正ヲ爲スニハ原簿ノ表紙ノ裏面ニ新舊ノ名稱及變更アリタル旨ヲ記載シ登記官吏之ニ捺印スルヲ以テ足ル

第十一條 組合原簿ニハ其ノ表紙ニ登記番號並ニ受附ノ年月日及番號ヲ記載スベシ

第十二條 組合原簿ノ用紙中變更欄ニ餘白ナキニ至リタルトキハ登記官吏ハ其ノ組合原簿ニ繼續用紙ヲ編綴シ之ニ契印スベシ

第十三條 登記簿ニ清算終了ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

附則

本令ハ農村負債整理組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附錄第一號

負債整理組合登記簿	區裁判所
紙數表紙ヲ除キ 地方裁判所長	枚

(台三)

登記 年月日	第一欄ヨリ 第十一欄マデ 年月日	一 名 稱	二 組 織	三 事 務 所 在 地	四 目 的	五 地 區	六 設 立 認 可 日	七 出 資 額	八 出 資 方 法	九 理 事 名 住 所	十 存 立 期 又 ハ 解 散 ノ 事 由	十一 解 散 ノ 事 由 及 年 月 日	十二 清 算 結 了 ノ 日 年	十三 清 算 人 氏 名 住 所	十四 年 月 日 登 記
備 考															

附錄第二號

無 限 責 任 何 々 組 合 ノ 組 合 原 簿	更 變
更 變	更 變

九一九

組合ノ名	組合ノ員ノ氏名及住所	組合ノ員ノ氏名及住所
更	變	更 變
		丁

附録第三號

保證責任何々組合ノ組合原簿

組合ノ名	組合ノ員ノ氏名及住所	組合ノ員ノ氏名及住所	組合ノ員ノ氏名及住所	組合ノ員ノ氏名及住所
更	變	更	變	更 變
				丁

(合三)

第十一節 手数料

○土地登記簿、建物登記簿、工場財團登記簿、鑛業財團登記簿、漁業財團登記簿、立木登記簿及商業登記簿謄本抄本請求等手数料ノ件
 明治三十二年五月十三日
 司法省令第十四號

改正

明治三十八年第二〇號、四三年第六號、大正二年第二五號、一〇年第二二號、一四年第一七號

第一條 不動産登記法第二十一條又ハ非訟事件手續法第四百十二條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其用紙一枚ニ付キ手数料金十五錢ヲ納ムヘシ但一枚ニ滿タルモノト雖モ仍ホ之ヲ一枚ニ計算ス

共同擔保目録ヲ提出シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ請求スル者ハ其提出シタル用紙一枚ニ付キ手数料金十錢ヲ納ムヘシ豫備欄ニ登記シタル事項ヲ謄寫セサル用紙ニ付キ亦同シ

第二條 不動産登記法第二十一條ノ規定ニ依リ登記簿又ハ其附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ハ手数料金十五錢ヲ納ムヘシ

第三條 非訟事件手續法第四百十三條ノ規定ニ依リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ每一件手数料金十五錢ヲ納ムヘシ

第四條 明治三十二年司法省令第十三號第二十七條ノ規定ニ依リ商業登記ニ付キ登記済證ノ交付ヲ請求スル者ハ手数料金十錢ヲ納ムヘシ

第五條 手数料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ
 第六條 第一條乃至第三條ノ規定ハ官吏又ハ公吏力政府ノ利益ノ爲メ其職務ヲ以テ爲ス場合ニハ之ヲ適用セス

○永代借地及同地上建物登記ノ謄本抄本等請求手数料ノ件
 明治三十四年九月二十一日
 司法省令第十六號

改正

永代借地及ヒ永代借地ノ上ニ存スル建物ノ登記簿ノ謄本若クハ抄本ノ交付ヲ請求又ハ登記簿若クハ其附屬書類ノ閱覽ノ請求ニ關スル手数料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十四號ノ規定ヲ準用ス
 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 明治三十二年司法省令第四十二號ハ之ヲ廢止ス

○相互保險會社登記簿等ノ謄本抄本ノ交付等ヲ請求スル者ノ納ムヘキ手数料
 大正十四年八月二十八日
 司法省令第二十號

改正 昭和二年第一五號、四年第二四號、六年第一七號、第一九號、第三二號、七年第四五號、八年第二二號、第二七號、第三〇號、一一年第一九號、第二四號、第二九號
 左ニ掲クル登記簿ニ關スル抄本若ハ抄本ノ交付、登記事項ニ變更ナキコト若ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明又ハ登記済證ノ交付ヲ請求スル者ノ納ムヘキ手数料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十四號第一條及第三條乃至第六條ノ規定ヲ準用ス

- 相互保險會社登記簿
- 外國相互保險會社登記簿
- 產業組合登記簿
- 產業組合聯合會登記簿
- 產業組合中央會登記簿
- 產業組合中央金庫登記簿
- 森林組合登記簿
- 漁業組合登記簿
- 漁業組合聯合會登記簿
- 住宅組合登記簿
- 輸出組合登記簿
- 輸出組合聯合會登記簿
- 工業組合登記簿
- 工業組合聯合會登記簿
- 工業組合中央會登記簿
- 海外移住組合登記簿
- 海外移住組合聯合會登記簿
- 家畜保險組合登記簿
- 養蠶實行組合登記簿
- 牧野組合登記簿
- 商業組合登記簿
- 商業組合聯合會登記簿
- 商工組合中央金庫登記簿
- 農事實行組合登記簿

生絲共同施設組合登記簿
蠶絲共同施設組合登記簿
負債整理組合登記簿
日本競馬會登記簿

附則

本令ハ大正十四年九月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治三十三年司法省令第十九號、同第三十條、同第三十六號、昭明四十一年司法省令第二號及明治四十四年司法省令第二號ハ之ヲ廢止ス
大正十年司法省令第十八號第七條及大正十二年司法省令第二十一號第八條ハ之ヲ削除ス

○法人登記簿及ヒ夫婦財產契約登記簿
謄本抄本請求手数料ノ件

明治三十二年六月十二日
司法省令第三十四號

改正 大正一〇年第三號

第一條 非訟事件手續法第二百五條ノ規定ニ依リ法人登記簿及ヒ夫婦財產契約登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其用紙一枚ニ付キ手数料金十五錢ヲ納ムヘシ但シ一枚ニ滿タサルモノト雖モ仍ホ之ヲ一枚ニ計算ス
第二條 非訟事件手續法第二百五條ノ規定ニ依リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ每一件手数料金十五

(合三)

錢ヲ納ムヘシ

第三條 明治三十二年司法省令第十五號第十條ノ規定ニ依リ法人又ハ夫婦財產契約ノ登記ニ付キ登記濟證ノ交付ヲ請求スル者ハ手数料金十錢ヲ納ムヘシ
第四條 非訟事件手續法第四十二條第一項又ハ第五十七條第一項ノ規定ニ依リ書類ノ謄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其謄本一枚ニ付キ手数料金十五錢ヲ納ムヘシ但一行二十字詰二十行ヲ以テ一枚トシ十一行以上ハ一枚ニ計算シ十行以下ハ半枚ニ計算ス
第五條 手数料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ
第六條 前五條ノ規定ハ官吏又ハ公吏カ政府ノ利益ノ爲メ其職務ヲ以テ請求ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セス
第七條 本令ハ明治三十二年六月十六日ヨリ之ヲ施行ス
第八條 明治三十一年司法省令第十號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

○自動車交通事業財團登記簿ノ謄本抄
本ノ交付等ヲ請求スル者ノ納ムベキ
手数料

昭和八年九月三十日
司法省令第三十四號

自動車交通事業財團登記簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付又ハ登記簿若ハ其ノ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ノ納ムベキ手数料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十四號第一條、第二條、第五條及第六條ノ規定ヲ準用ス
附則
本令ハ自動車交通事業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(合三)

○農業用動産抵當登記簿ノ謄本若ハ抄本ノ
交付又ハ登記簿若ハ其ノ附屬書類ノ閱覽
ヲ請求スル者ノ納ムベキ手数料

昭和八年十一月二十九日
司法省令第三十七號

農業用動産抵當登記簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付又ハ登記簿若ハ其ノ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ノ納ムベキ手数料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十四號第一條、第二條、第五條及第六條ノ規定ヲ準用ス
附則
本令ハ農業動産信用法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○船舶登記簿謄本抄本請求等ニ關スル
手数料ノ件

明治三十二年六月十五日
司法省令第三十七號

改正 大正二年第二六號、一〇年第二二號

第一條 船舶登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其用紙一枚ニ付キ手数料金十五錢ヲ納ムヘシ但一枚ニ滿タサルモノト雖モ仍ホ之ヲ一枚ニ計算ス
共同擔保目録ヲ提出シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ請求スル者ハ其提出シタル用紙一枚ニ付キ手数料金十錢ヲ納ムヘシ豫備欄ニ登記シタル事項ヲ謄寫セサル用紙ニ付キ亦同シ
第二條 船舶登記簿又ハ其附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ハ手数料金十五錢ヲ納ムヘシ

- 第三條 船舶登記規則第十條第一項ノ規定ニ依リ登記證書ノ交付ヲ請求スル者ハ手数料金一圓ヲ納ムヘシ
- 第四條 特別登記簿ニ船舶ニ關スル登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ毎一件手数料金十五錢ヲ納ムヘシ
- 第五條 手数料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼付シテ之ヲ納ムヘシ
- 第六條 第一條乃至第四條ノ規定ハ官吏又ハ公吏カ政府ノ利益ノ爲メ其職務ヲ以テ請求ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セス
- 第七條 本令ハ船舶登記規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十章 供託

○供託法及同法關係法令

第八卷、第五篇、第九章ニ載録

第十一章 國籍

○國籍法

明治三十二年三月十六日 (總理、內務法律第六十六號) (大臣副署)

- 改正 大正五年第二七號、一三年第一九號
- 第一條 子ハ出生ノ時其父カ日本人ナルトキハ之ヲ日本人トス其出生前ニ死亡シタル父カ死亡ノ時日本人ナリシトキ亦同シ
- 第二條 父カ子ノ出生前ニ離婚又ハ離縁ニ因リテ日本ノ國籍ヲ失ヒタルト

- キハ前條ノ規定ハ懷胎ノ始ニ遡リテ之ヲ適用ス
- 前項ノ規定ハ父母カ共ニ其家ヲ去リタル場合ニハ之ヲ適用セス但母カ子ノ出生前ニ復籍ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス
- 第三條 父カ知レサル場合又ハ國籍ヲ有セサル場合ニ於テ母カ日本人ナルトキハ其子ハ之ヲ日本人トス
- 第四條 日本ニ於テ生マレタル子ノ父母カ共ニ知レサルトキ又ハ國籍ヲ有セサルトキハ其子ハ之ヲ日本人トス
- 第五條 外國人ハ左ノ場合ニ於テ日本ノ國籍ヲ取得ス
 - 一 日本人ノ妻ト爲リタルトキ
 - 二 日本人ノ入夫ト爲リタルトキ
 - 三 日本人タル父又ハ母ニ依リテ認知セラレタルトキ
 - 四 日本人ノ養子ト爲リタルトキ
 - 五 歸化ヲ爲シタルトキ
- 第六條 外國人カ認知ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得スルニハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス
 - 一 本國法ニ依リテ未成年者タルコト
 - 二 外國人ノ妻ニ非サルコト
 - 三 父母ノ中先ツ認知ヲ爲シタル者カ日本人ナルコト
 - 四 父母カ同時ニ認知ヲ爲シタルトキハ父カ日本人ナルコト
- 第七條 外國人ハ內務大臣ノ許可ヲ得テ歸化ヲ爲スコトヲ得
- 內務大臣ハ左ノ條件ヲ具備スル者ニ非サレハ其歸化ヲ許可スルコトヲ得
 - 一 引續キ五年以上日本ニ住所ヲ有スルコト
 - 二 滿二十年以上ニシテ本國法ニ依リテ能力ヲ有スルコト

三 品行端正ナルコト

- 四 獨立ノ生計ヲ營ムニ足ルヘキ資産又ハ技能アルコト
- 五 國籍ヲ有セス又ハ日本ノ國籍ノ取得ニ因リテ其國籍ヲ失フヘキコト
- 第八條 外國人ノ妻ハ其夫ト共ニスルニ非サレハ歸化ヲ爲スコトヲ得ス
- 第九條 左ニ掲ケタル外國人カ現ニ日本ニ住所ヲ有スルトキハ第七條第二項第一號ノ條件ヲ具備セサルトキト雖モ歸化ヲ爲スコトヲ得
 - 一 父又ハ母ノ日本人タリシ者
 - 二 妻ノ日本人タリシ者
 - 三 日本ニ於テ生マレタル者
 - 四 引續キ十年以上日本ニ居所ヲ有スル者
- 前項第一號乃至第三號ニ掲ケタル者ハ引續キ三年以上日本ニ居所ヲ有スルニ非サレハ歸化ヲ爲スコトヲ得ス但第三號ニ掲ケタル者ノ父又ハ母カ日本ニ於テ生マレタル者ナルトキハ此限ニ在ラス
- 第十條 外國人ノ父又ハ母カ日本人ナル場合ニ於テ其外國人カ現ニ日本ニ住所ヲ有スルトキハ第七條第二項第一號、第二號及ヒ第四號ノ條件ヲ具備セサルトキト雖モ歸化ヲ爲スコトヲ得
- 第十一條 日本ニ特別ノ功勞アル外國人ハ第七條第二項ノ規定ニ拘ハララス
- 內務大臣勅裁ヲ經テ其歸化ヲ許可スルコトヲ得
- 第十二條 歸化ハ之ヲ官報ニ告示スルコトヲ要ス
- 歸化ハ其告示アリタル後ニ非サレハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス
- 第十三條 日本ノ國籍ヲ取得スル者ノ妻ハ夫ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得ス
- 前項ノ規定ハ妻ノ本國法ニ反對ノ規定アルトキハ之ヲ適用セス

- 第十四條 日本ノ國籍ヲ取得シタル者ノ妻カ前條ノ規定ニ依リテ日本ノ國籍ヲ取得セザリシトキハ第七條第二項ニ掲ケタル條件ヲ具備セサルトキト雖モ歸化ヲ爲スコトヲ得
- 第十五條 日本ノ國籍ヲ取得スル者ノ子カ其本國法ニ依リテ未成年者ナルトキハ父又ハ母ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得ス
- 前項ノ規定ハ子ノ本國法ニ反對ノ規定アルトキハ之ヲ適用セス
- 第十六條 歸化人、歸化人ノ子ニシテ日本ノ國籍ヲ取得シタル者及ヒ日本人ノ養子又ハ入夫ト爲リタル者ハ左ニ掲ケタル權利ヲ有セス
 - 一 國務大臣ト爲ルコト
 - 二 樞密院ノ議長、副議長又ハ顧問官ト爲ルコト
 - 三 宮內勅任官ト爲ルコト
 - 四 特命全權公使ト爲ルコト
 - 五 陸海軍ノ將官ト爲ルコト
 - 六 大審院長、會計検査院長又ハ行政裁判所長官ト爲ルコト
 - 七 帝國議會ノ議員ト爲ルコト
- 第十七條 前條ニ定メタル制限ハ第十一條ノ規定ニ依リテ歸化ヲ許可シタル者ニ付テハ國籍取得ノ時ヨリ五年ノ後其他ノ者ニ付テハ十年ノ後內務大臣勅裁ヲ經テ之ヲ解除スルコトヲ得
- 第十八條 日本人カ外國人ノ妻ト爲リ夫ノ國籍ヲ取得シタルトキハ日本ノ國籍ヲ失フ
- 第十九條 婚姻又ハ養子縁組ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得シタル者ハ離婚又ハ離縁ノ場合ニ於テ其外國ノ國籍ヲ有スヘキトキニ限り日本ノ國籍ヲ失フ
- 第二十條 自己ノ志望ニ依リテ外國ノ國籍ヲ取得シタル者ハ日本ノ國籍ヲ

失フ

第二十條ノ二 勅令ヲ以テ指定スル外國ニ於テ生マレタルニ因リテ其國ノ國籍ヲ取得シタル日本人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ日本ノ國籍ヲ留保スルノ意思ヲ表示スルニ非サレハ其出生ノ時ニ遡リテ日本ノ國籍ヲ失フ

ニ非サレハ日本ノ國籍ヲ失ハス
現ニ文武ノ官職ヲ帶フル者ハ前八條ノ規定ニ拘ハラズ其官職ヲ失ヒタル後ニ非サレハ日本ノ國籍ヲ失ハス

前項ノ規定ニ依リ日本ノ國籍ヲ留保シタル者又ハ前項ノ規定ニ依ル指定前其指定セラレタル外國ニ於テ生マレタルニ因リテ其國ノ國籍ヲ取得シタル日本人當該外國ノ國籍ヲ有シ且其國ニ住所ヲ有スルトキハ其志望ニ依リ日本ノ國籍ノ離脱ヲ爲スコトヲ得

第二十五條 婚姻ニ因リテ日本ノ國籍ヲ失ヒタル者カ婚姻解消ノ後日本ニ住所ヲ有スルトキハ内務大臣ノ許可ヲ得テ日本ノ國籍ヲ回復スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ國籍ノ離脱ヲ爲シタル者ハ日本ノ國籍ヲ失フ

第二十六條 第二十條乃至第二十一條ノ規定ニ依リテ日本ノ國籍ヲ失ヒタル者カ日本ニ住所ヲ有スルトキハ内務大臣ノ許可ヲ得テ日本ノ國籍ヲ回復スルコトヲ得但第十六條ニ掲ケタル者カ日本ノ國籍ヲ失ヒタル場合ハ此限ニ在ラス

第二十條ノ三 前條第一項ノ外國以外ノ外國ニ於テ生マレタルニ因リテ其國ノ國籍ヲ取得シタル日本人カ其國ニ住所ヲ有スルトキハ内務大臣ノ許可ヲ得テ日本ノ國籍ノ離脱ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 第十三條乃至第十五條ノ規定ハ前二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

前條第三項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ國籍ノ離脱ヲ爲シタル者ニ之ヲ準用ス

第二十七條ノ二 國籍ノ離脱及回復ニ關スル手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十一條 日本ノ國籍ヲ失ヒタル者ノ妻及ヒ子カ其者ノ國籍ヲ取得シタルトキハ日本ノ國籍ヲ失フ

第二十八條 本法ハ明治三十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十二條 前條ノ規定ハ離婚又ハ離縁ニ因リテ日本ノ國籍ヲ失ヒタル者ノ妻及ヒ子ニハ之ヲ適用セズ但妻カ夫ノ離縁ノ場合ニ於テ離婚ヲ爲サス又ハ子カ父ニ隨ヒテ其家ヲ去リタルトキハ此限ニ在ラス

附則 (大正十三年法律第十九號)
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十三條 日本人タル子カ認知ニ因リテ外國ノ國籍ヲ取得シタルトキハ日本ノ國籍ヲ失フ但日本人ノ妻、入夫又ハ養子ト爲リタル者ハ此限ニ在ラス

○國籍法施行規則 大正十三年十一月十七日 (外務大臣) 內務省令第二十六號

第二十四條 滿十七年以上ノ男子ハ第十九條、第二十條及前三條ノ規定ニ拘ハラズ既ニ陸海軍ノ現役服ニシタルトキ又ハ之ニ服スル義務ナキトキ

第一條 國籍法第七條第一項ノ規定ニ依リ歸化ヲ爲サムトスル者ハ歸化ニ必要ナル條件ヲ具備スルコトヲ證スヘキ書類ヲ添ヘ其ノ住所地ヲ管轄スル地方廳ヲ經テ內務大臣ニ其ノ許可ノ申請ヲ爲スヘシ

キハ戶籍法第七十二條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ出生ノ届出ヲ爲ス者戶籍法第六十九條ノ期間内ニ出生ノ届出ニ添ヘ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第二條 國籍法第七條第一項ノ規定ニ依リ歸化ヲ爲サムトスル者ハ歸化ニ必要ナル條件ヲ具備スルコトヲ證スヘキ書類ヲ添ヘ其ノ住所地ヲ管轄スル地方廳ヲ經テ內務大臣ニ其ノ許可ノ申請ヲ爲スヘシ

天災又ハ避クヘカラサル事由ニ因リ前項ノ期間内ニ國籍ノ留保ヲ届出ヲ爲ス能ハサル場合ニ於テハ其ノ期間ハ届出ヲ爲スコトヲ得ルニ至リタル時ヨリ之ヲ起算ス

第三條 國籍法第二十五條又ハ同法第二十六條ノ規定ニ依リ國籍ノ回復ヲ爲サムトスル者ハ第一條ノ規定ニ準シ内務大臣ニ其ノ許可ノ申請ヲ爲スヘシ

航海中ニ出生シタル者ニ關シテハ第一項ノ届出ハ戶籍法第七十五條第二項又ハ第三項ノ規定ニ依リ船長ノ發送スル航海日誌ノ謄本ニ其ノ届書ヲ添付スルコトニ依リ之ヲ爲スコトヲ得

第四條 國籍法第二十五條又ハ同法第二十六條ノ規定ニ依リ國籍ノ回復ヲ爲サムトスル者ハ第一條ノ規定ニ準シ内務大臣ニ其ノ許可ノ申請ヲ爲スヘシ

第三條 國籍法第二十條ノ二第二項ノ規定ニ依リ國籍ノ離脱ヲ爲サントスル者ハ其ノ國ニ駐在スル日本ノ大使公使又ハ領事ヲ經テ內務大臣ニ届出ツヘシ

第五條 國籍法第二十條ノ三第一項ノ規定ニ依リ國籍ノ離脱ヲ爲サムトスル者ハ第三條及前條ノ規定ニ準シ内務大臣ニ其ノ許可ノ申請ヲ爲スヘシ

前項ノ届出ハ國籍ノ離脱ヲ爲ス者カ十五年未滿ナルトキハ法定代理人ヨリ之ヲ爲シ十五年以上ノ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ法定代理人ノ同意ヲ得テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第六條 國籍法第二十條ノ三第一項ノ規定ニ依リ國籍ノ離脱ヲ爲サムトスル者ハ第三條及前條ノ規定ニ準シ内務大臣ニ其ノ許可ノ申請ヲ爲スヘシ

繼父、繼母、嫡母又ハ後見人カ前項ノ届出又ハ届出ノ同意ヲ爲スニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第七條 內務大臣ハ國籍ノ離脱ノ届出ヲ受理シタルトキ又ハ國籍ノ離脱ヲ許可シタルトキハ之ヲ告示ス

第四條 前條ノ届書ニハ主ノ書類ヲ添付スヘシ

第八條 國籍法第二十五條又ハ同法第二十六條ノ規定ニ依リ國籍ノ回復ヲ爲サムトスル者ハ第一條ノ規定ニ準シ内務大臣ニ其ノ許可ノ申請ヲ爲スヘシ

一 戶籍謄本

附則 本令ハ大正十三年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

二 出生シタル國ノ當該官憲ノ發給シ若ハ證明アル出生證書

附則 大正十三年勅令第二百六十二號ニ依リ指定セラレタル外國ニ於テ生レタルニ因リテ其ノ國ノ國籍ヲ取得シタル日本人ニ關シ本令施行前大正五年內務省令第八號ノ規定ニ依リテ爲シタル國籍ノ離脱ノ許可ノ申請ハ本令施行ノ日ニ於テ本令ニ依リテ爲シタル國籍ノ離脱ノ届出ト看做ス

三 前條第二項又ハ第三項ノ規定ニ同意ヲ要スルモノニアリテハ其同意書

附則 大正十三年十一月十七日 (總理、內務大臣) 勅令第二百六十二號

第五條 國籍法第二十條ノ三第一項ノ規定ニ依リ國籍ノ離脱ヲ爲サムトスル者ハ第三條及前條ノ規定ニ準シ内務大臣ニ其ノ許可ノ申請ヲ爲スヘシ

○國籍法第二十條ノ二第一項ノ規定ニ依リ外國ヲ指定スルノ件

第六條 國籍ノ離脱ノ許可ハ許可書ノ日附ノ翌日ヨリ起算シ三十日ヲ經過ス

附則 大正十三年十一月十七日 (總理、內務大臣) 勅令第二百六十二號

第二編 民事 第十一章 國籍 國籍法施行規則

附則 大正十三年十一月十七日 (總理、內務大臣) 勅令第二百六十二號

第九二七

第九二七

- 一 亞米利加合衆國
- 二 亞爾然丁國
- 三 伯刺西爾國
- 四 加奈陀
- 五 智利國
- 六 祕魯國
- 七 墨西哥國

附則

本令ハ大正十三年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

○國籍喪失者ノ權利ニ關スル法律

明治三十二年三月二十九日 (各大臣) 法律第九十四號 (副署)

日本ノ國籍ヲ失ヒタル家族カ日本人ニ非サレハ享有スルコトヲ得サル權利ヲ有スル場合ニ於テ一年內ニ之ヲ日本人ニ讓渡ササルトキハ其權利ハ國庫ニ歸屬ス

○外國人ヲ養子又ハ入夫ト爲スノ法律

明治三十一年七月十一日 (各大臣) 法律第二十一號 (副署)

明治六年第百三號布告左ノ通改正ス

第一條 日本人カ外國人ヲ養子又ハ入夫ト爲スニハ內務大臣ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス

第二條 內務大臣ハ外國人カ左ノ條件ヲ具備スルニ非サレハ前條ノ許可ヲ與フルコトヲ得ス

- 一 引續キ一年以上日本ニ住所又ハ居所ヲ有スルコト
- 二 品行端正ナルコト

○內務省令第五十一號 (明治三十二年九月十四日)

改正 大正一三年第二七號

明治三十一年法律第二十一號ニ依リ外國人ヲ養子又ハ入夫ト爲サントスル者ハ本籍地又ハ寄留地地方廳ヲ經由シテ內務大臣ニ願出ツヘシ

第十二章 戶籍

第一節 戶籍

○戶籍法

大正三年三月三十一日 (總理、司法) 法律第二十六號 (大臣副署)

改正 大正一〇年第四八號、一三年第二〇號

戶籍法

第一章 戶籍事務ノ管掌

第二章 戶籍簿

第三章 戶籍ノ記載手續

第四章 届出

第一節 通則

第二節 出生

第三節 認知

第四節 養子縁組

第五節 養子縁離

第六節 婚姻

第七節 離婚

第八節 親權及ヒ後見

第九節 隠居

第十節 死亡及ヒ失踪

第十一節 家督相續

第十二節 推定家督相續人ノ廢除

第十三節 家督相續人ノ指定

第十四節 入籍、離籍及ヒ復籍拒絕

第十五節 廢家及ヒ絶家

第十六節 分家及ヒ廢絶家再興

第十七節 國籍ノ得喪

第十八節 氏名、族稱ノ變更及ヒ襲爵

第十九節 轉籍及ヒ就籍

第五章 戶籍ノ訂正

第六章 抗告

第七章 罰則

附則

戶籍法

第一章 戶籍事務ノ管掌

第一條 戶籍ニ關スル事務ハ市町村長之ヲ管掌ス

第二條 市町村長ハ自己又ハ自己ト家ヲ同シクスル者ニ關スル戶籍事件ニ付キ其事務ヲ行フコトヲ得ス

第三條 戶籍事務ハ市役所又ハ町村役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ一人ノ判事又ハ監督判事之ヲ監督ス

戶籍事務ノ監督ニ付テハ司法行政ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス

第四條 市町村長カ其職務ノ執行ニ付キ届出人其他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其損害カ市町村長ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル場合ニ限り之ヲ賠償スル責ニ任ス

第二編 民事 第十二章 戶籍 戶籍法

第五條 市制第六條及ヒ第八十二條第三項ノ市ニ在リテハ本法中市、市長及ヒ市役所ニ關スル規定ハ區、區長及ヒ區役所ニ之ヲ準用ス

第六條 市制町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ本法中市町村、市町村長及ヒ市役所並ニ町村役場ニ關スル規定ハ之ニ相當スル地區、吏員及ヒ公署ニ之ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テ市町村長ノ職務ヲ行フ吏員ノ事務ヲ代理スル吏員ナキ地ニ在リテハ其地ヲ管轄スル地方裁判所ノ長司法大臣ノ認可ヲ得テ豫メ其代理者ヲ定ム

第七條 第二條及ヒ第四條ノ規定ハ戶籍事務ヲ管掌スル吏員ノ代理者ニ之ヲ準用ス

第八條 本法ノ規定ニ依リテ納付スル手数料ハ之ヲ市町村ノ收入トス

第九條 戶籍ハ市町村ノ區域內ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ戶主ヲ本トシテ一戸毎ニ之ヲ編製ス

第十條 戶籍ハ地番號ノ順序ニ從ヒ之ヲ編製シテ帳簿ト爲ス

一ノ市町村內ニ各別ニ地番號ヲ附シタル二個以上ノ區畫アル場合ニ於テハ其區畫ノ順序ハ市町村長之ヲ定ム

第十一條 戶籍ハ正副二本ヲ設ク

正本ハ之ヲ市役所又ハ町村役場ニ備ヘ副本ハ監督裁判所之ヲ保存ス

第十二條 新ニ戶籍ヲ編製シタルトキハ市町村長ハ遲滞ナク其副本ヲ監督區裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

第十三條 戶籍簿ハ事變ヲ避クル爲メニスル場合ヲ除ク外市役所又ハ町村役場外ニ之ヲ持出スコトヲ得ス

第十四條 戶籍簿ヲ閱覽シ又ハ戶籍ノ謄本若クハ抄本ノ交付ヲ受ケントスル者ハ手数料ヲ納付シテ之ヲ請求スルコトヲ得
手數料ノ外郵送料ヲ納付シテ謄本又ハ抄本ヲ送付ヲ請求スルコトヲ得
市町村長ハ正當ノ理由アル場合ニ限り前二項ノ請求ヲ拒ムコトヲ得此場合ニ於テハ書面ヲ以テ其旨ヲ請求者ニ告知スルコトヲ要ス
謄本又ハ抄本ハ市町村長之ヲ作リ原本ト相違ナキ旨ヲ附記シ且之ニ職氏名ヲ署シ職印ヲ捺捺スルコトヲ要ス

第十五條 戶籍簿ノ全部若クハ一部カ滅失シタルトキ又ハ滅失ノ虞アルトキハ司法大臣ハ其再製又ハ補充ニ付キ必要ナル處分ヲ命ス但滅失ノ場合ニ於テハ其旨ヲ告示スルコトヲ要ス

第十六條 家督相續、廢絶家其他ノ事由ニ因リ戶籍ノ全部ヲ抹消シタルトキハ其戶籍ハ之ヲ戶籍簿ヨリ除キ別ニ編綴シ除籍簿トシテ之ヲ保存ス
除籍簿ノ保存期間ハ司法大臣之ヲ定ム

第十七條 第十三條乃至第十五條ノ規定ハ除籍簿及ヒ除カレタル戶籍ニ之ヲ準用ス

第三章 戶籍ノ記載手續

第十八條 戶籍ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 戶主、前戶主及ヒ家族ノ氏名
- 二 戶主ノ本籍
- 三 戶主カ華族又ハ士族ナルトキハ其族稱
- 四 家族カ戶主ト族稱ヲ異ニスルトキハ其族稱
- 五 戶主及ヒ家族ノ出生ノ年月日
- 六 戶主又ハ家族ト爲リタル原因及ヒ年月日
- 七 戶主並ニ家族ノ實父母ノ氏名及ヒ戶主並ニ家族ト實父母トノ續柄

- 八 戶主又ハ家族カ養子ナルトキハ其養親並ニ實父母ノ氏名及ヒ養子ト養親並ニ實父母トノ續柄
 - 九 戶主ト前戶主及ヒ家族トノ續柄
 - 十 家族ノ配偶者又ハ家族ヲ經テ戶主ト親族關係ヲ有スル者ニ付テハ其家族ト續柄
 - 十一 他家ヨリ入リテ家族ト爲リタル者カ他ノ家族トノミ親族關係ヲ有スルトキハ其續柄
 - 十二 他家ヨリ入リテ戶主又ハ家族ト爲リタル者ニ付テハ其原籍、原籍ノ戶主ノ氏名及ヒ其戶主ト戶主又ハ家族ト爲リタル者トノ續柄
 - 十三 後見人又ハ保佐人アル者ニ付テハ後見人又ハ保佐人ノ氏名、本籍及ヒ其就職並ニ任務終了ノ年月日
 - 十四 其他戶主又ハ家族ノ身分ニ關スル事項
- 第十九條 戶主及ヒ家族ノ氏名ノ記載ハ左ノ順序ニ依ル
- 第一 戶主
 - 第二 戶主ノ直系尊屬
 - 第三 戶主ノ配偶者
 - 第四 戶主ノ直系卑屬及ヒ其配偶者
 - 第五 戶主ノ傍系親及ヒ其配偶者
 - 第六 戶主ノ親族ニ非サル者
- 直系尊屬ノ間ニ在リテハ親等ノ遠キ者ヲ先ニシ直系卑屬又ハ傍系親ノ間ニ在リテハ親等ノ近キ者ヲ先ニス
- 戶籍ヲ編綴シタル後家族ト爲リタル者ニ付テハ戶籍ノ末尾ニ記載スルコトヲ要ス
- 第二十條 戶籍ノ記載ハ届出、報告、申請若クハ請求、證書若クハ航海日誌ヲ記載スルコトヲ要ス

誌ノ謄本又ハ裁判ニ依リ之ヲ爲ス

第二十一條 戶籍ニハ第十八條ニ掲ケタルモノノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 届出又ハ申請ノ受附ノ年月日、事件ノ本人ニ非サル者ノ届出又ハ申請ニ係ル場合ニ於テハ届出人又ハ申請人ノ資格及ヒ氏名、他ノ市町村長又ハ官廳ヨリ届書又ハ申請書ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テハ其受附ノ年月日及ヒ發送者ノ職氏名
- 二 報告又ハ請求ノ受附ノ年月日及ヒ報告者又ハ請求者ノ職氏名
- 三 證書又ハ航海日誌ノ謄本ノ受附ノ年月日及ヒ證書又ハ航海日誌ノ作製者並ニ謄本發送者ノ職氏名
- 四 戶籍ノ記載ヲ命シタル裁判ノ年月日及ヒ裁判所

第二十二條 市町村長カ届書、報告書其他ノ書類ヲ受理シタルトキハ其書類ニ受附ノ番號及ヒ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

本籍地ノ市町村長ハ前項ノ手續ヲ爲シタル後遲滞ナク戶籍ノ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第二十三條 家督相續、家督相續回復其他戶主ノ變更ヲ生スヘキ事項ニ付キ届出、申請又ハ請求アリタルトキハ其届出、申請又ハ請求及ヒ前戶主又ハ戶主ノ名義ヲ有セシ者ノ戶籍ニ依リテ新戶籍ヲ編綴スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ前戶主又ハ戶主ノ名義ヲ有セシ者ノ戶籍ニ事由ヲ記載シテ之ヲ抹消スルコトヲ要ス
家督相續人カ胎兒ナルトキハ其出生ノ記載ヲ爲スマテハ前二項ノ手續ヲ爲スコトヲ要セス此場合ニ於テハ前戶主ノ戶籍中戶主ニ關スル部分ヲ抹消シ家督相續人カ胎兒ナル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第二十四條 復籍拒絕ノ届出アリタルトキハ復籍拒絕者ノ戶籍ニ届出ノ要

旨ヲ記載スルコトヲ要ス
前項ノ手續ヲ爲シタル後新戶籍ヲ編綴スルコトキハ之ニ復籍拒絕ニ關スル事項ヲ移記スルコトヲ要ス

復籍ヲ拒絕セラレタル者カ死亡シ其他復籍スルコトナキニ至リタルトキハ復籍拒絕ニ關スル事項ヲ抹消スルコトヲ要ス

第二十五條 家督相續人指定ノ届出アリタルトキハ其指定ヲ爲シタル者ノ戶籍ニ届出ノ要旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第二十六條 離籍又ハ廢家ニ因リ除籍ノ手續ハ離籍セラレタル者ノ一家創立又ハ廢家ヲ爲ス者ノ入籍ノ手續アリタル後之ヲ爲スコトヲ要ス

第二十七條 一戶ノ全員又ハ一戶内ノ一人若クハ數人ヲ戶籍ヨリ除クヘキトキハ事由ヲ記載シテ戶籍ノ全部又ハ一部ヲ抹消スルコトヲ要ス
除籍セラレヘキ者ノ本籍カ他ノ市町村ニ轉屬スル場合ニ於テハ前項ノ手續ハ入籍ノ通知ヲ受ケタル後之ヲ爲スコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ爲スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第二十八條 戶籍ノ記載ヲ爲スニハ略字又ハ符號ヲ用キス字畫明瞭ナルコトヲ要ス
年月日ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ文字ヲ用ウルコトヲ要ス
文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ市町村長之ニ認印シ其削除ニ係ル文字ハ尙ホ明カニ讀得ヘキ爲メ字體ヲ存スルコトヲ要ス

第二十九條 戶籍ノ記載ヲ爲ス毎ニ市町村長ハ其文末ニ認印スルコトヲ要ス

第三十條 戶籍用紙中ノ一部分ヲ用キ盡シタルトキハ掛紙ヲ爲スコトヲ得
此場合ニ於テハ市町村長ハ職印ヲ以テ掛紙ト本紙トニ契印ヲ爲スコトヲ
要ス

第三十一條 届出事件ノ本人ノ本籍カ一ノ市町村ヨリ他ノ市町村ニ轉屬ス
ル場合ニ於テハ届出ヲ受理シタル市町村長ハ戶籍ノ記載ヲ爲シタル後遲
滯ナク届書ノ一通ヲ他ノ市町村長ニ送付スルコトヲ要ス

第三十二條 前條ノ場合ヲ除ク外他ノ市町村長カ戶籍ノ記載ヲ爲スヘキ必
要アル場合ニ於テハ届出ヲ受理シタル市町村長ハ遲滯ナク届書ノ一通ヲ
他ノ市町村長ニ送付スルコトヲ要ス

第三十三條 本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ニ付キ届出ヲ受理シタル
後其者ノ本籍カ分明ト爲リタル旨又ハ其者カ本籍ヲ有スルニ至リタル旨
ノ届出アリタル場合ニ於テハ前二條ノ規定ハ其届書及ヒ前ニ受理シタル
届書ニ付キ之ヲ適用ス

第三十四條 前三條ノ規定ハ届書ニ非サル書面ニ因リ戶籍ノ記載ヲ爲スヘ
キ場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テハ市町村長ハ其受附ケタル書面ノ謄本
ヲ作り其謄本ヲ送付スルコトヲ要ス

第三十五條 届出事件ノ本人ノ本籍カ他ノ市町村ニ轉屬スル場合ニ於テハ
入籍地ノ市町村長ハ戶籍ノ記載ヲ爲シタル後除籍地ノ市町村長ニ入籍ノ
通知ヲ爲スコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此
限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ爲スヘキ場合ニ之
ヲ準用ス

第三十六條 戶籍ノ記載手續ヲ完了シタルトキハ届書其他受理シタル書類
ハ本籍人及ヒ非本籍人ニ區別シ本籍人ニ關スルモノハ戶籍編綴ノ順序ニ

從ヒテ之ヲ編綴シ非本籍人ニ關スルモノハ事件ノ種類ニ依リ各別ニ之ヲ
編綴シ且各目録ヲ附スルコトヲ要ス

戶籍ノ記載ヲ要セサル事項ニ付キ受理シタル書類ハ之ヲ合綴シ且目録ヲ
附スルコトヲ要ス日本ノ國籍ヲ有セサル者ニ關スル事項ニ付キ受理シタ
ル書類亦同シ

第三十七條 前條第一項ノ書類ハ一个月毎ニ遲滯ナク之ヲ監督區裁判所ニ
送付スルコトヲ要ス

第三十八條 第三十六條ノ書類ノ保存期間ハ司法大臣之ヲ定ム

第三十九條 戶籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノナルコト又ハ其記載
ニ錯誤若クハ遺漏アルコトヲ發見シタル場合ニ於テハ市町村長ハ遲滯ナ
ク届出人又ハ届出事件ノ本人ニ其旨ヲ通知スルコトヲ要ス但其錯誤又ハ
遺漏カ市町村長ノ過誤ニ出テタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ通知ヲ爲スコト能ハサルトキ又ハ通知ヲ爲シタルモ戶籍訂正ノ申
請ヲ爲ス者ナキトキハ市町村長ハ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ戶籍ノ訂正
ヲ爲スコトヲ得前項但書ノ場合亦同シ

裁判所其他ノ官廳、檢事又ハ吏員カ其職務上戶籍ノ記載ニ錯誤又ハ遺漏
アルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク届出事件ノ本人ノ本籍地ノ市町村長
ニ其旨ヲ通知スルコトヲ要ス

第四十條 同一ノ事件ニ付キ數人ノ届出義務者ヨリ各別ニ届出アリタル場
合ニ於テ後ニ受理シタル届出ニ因リテ戶籍ノ記載ヲ爲シタルトキハ前ニ
受理シタル届出ニ基キ其戶籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ要ス

第四十一條 行政區畫又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ戶籍ノ記載ハ
訂正セラレタルモノト看做ス但其記載ヲ更正スルコトヲ妨ケス
地番號ノ變更アリタルトキハ戶籍ノ記載ヲ更正スルコトヲ要ス

第四十二條 市町村ノ區域ノ變更アリタルトキハ戶籍及ヒ之ニ關スル書類
ハ之ヲ當該市町村ニ引繼クコトヲ要ス

第四十二條ノ二 第三十一條乃至第三十四條及ヒ第三十五條第一項ノ規定
ハ共通法第三條ノ規定ニ依リテ内地ノ家ヲ去リタル者及ヒ他ノ地域ノ家
ヲ去リテ内地ノ家ニ入りタル者ノ戶籍ノ記載手續ニ付キ之ヲ準用ス

第四章 届出

第一節 通則

第四十三條 届出ハ届出事件ノ本人ノ本籍地又ハ届出人ノ所在地ニ於テ之
ヲ爲スコトヲ要ス

第四十四條 日本ノ國籍ヲ有セサル者ニ關スル届出ハ其寄留地又ハ届出人
ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

所在地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ之ヲ寄留地ノ市町村長ニ送
付スルコトヲ要ス

第四十五條 本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ニ付キ届出アリタル後其
者ノ本籍カ分明ト爲リタルトキ又ハ其者カ本籍ヲ有スルニ至リタルトキ
ハ届出人又ハ届出事件ノ本人ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ届出事
件ヲ表示シテ届出ヲ受理シタル市町村長ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第四十六條 届出ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第四十七條 届書ニハ左ノ事項ヲ記載シ届出人ノ署名、捺印スルコトヲ
要ス

- 一 届出事件
 - 二 届出ノ年月日
 - 三 届出人ノ出生ノ年月日及ヒ本籍
- 届出事件ニ因リ届出事件ノ本人ニ隨ヒテ家ヲ去リ、他家ニ入り其他身分

ニ變更ヲ生スル者アル場合ニ於テハ届書ニ其者ノ氏名、出生ノ年月日並
ニ本籍及ヒ身分變更ノ事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第四十八條 届出人ト届出事件ノ本人ト異ナルトキハ届書ニ其續柄ヲ記載
スルコトヲ要ス

届出人カ家族ナルトキハ届書ニ戶主ノ氏名及ヒ届出人ト戶主トノ續柄ヲ
記載スルコトヲ要ス

第四十九條 届出ヲ爲スヘキ者カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ親權ヲ
行フ者又ハ後見人ヲ以テ届出義務者トス但出生、死亡其他單純ノ事實ニ
關スル届出ハ未成年者又ハ禁治産者モ亦之ヲ爲スコトヲ得

親權ヲ行フ者又ハ後見人カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ届書ニ左ノ事項ヲ記
載スルコトヲ要ス

一 届出ヲ爲スヘキ者ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ本籍

二 無能力ノ原因

三 届出人カ親權ヲ行フ者又ハ後見人ナルコト

第五十條 無能力者カ其法定代理人ノ同意ヲ得シテ爲スコトヲ得ヘキ行
爲ニ付テハ無能力者之ヲ届出ツルコトヲ要ス

禁治産者カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ届出ニ届出事件ノ性質及ヒ效果ヲ理
會スルニ足ルヘキ能力ヲ有スルコトヲ證スヘキ診斷書ヲ添付スルコトヲ
要ス

第五十一條 證人ヲ要スル事件ノ届出ニ付テハ證人ハ届書ニ出生ノ年月日
及ヒ本籍ヲ記載シテ署名、捺印スルコトヲ要ス

第五十二條 届出人、届出事件ノ本人又ハ證人カ本籍ニ在ラサルトキハ届
書ニ其所在ヲ記載スルコトヲ要ス

第五十三條 届書ニ記載スヘキ事項ニシテ存セサルモノ又ハ知レサルモノ

アルトキハ其旨ヲ記載スルコトヲ要ス但市町村長ハ特ニ重要ト認ムル事項ヲ記載セサル屆書ヲ受理スルコトヲ得ス

第五十四條 屆書ニハ本法其他ノ法令ニ定メタル事項ノ外戶籍ニ記載スヘキ事項ヲ明瞭ナラシムル爲メ必要ナルモノハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第五十五條 第二十八條第一項及第三項ノ規定ハ屆書ニ之ヲ準用ス

第五十六條 二箇所以上ノ市役所又ハ町村役場ニ於テ戶籍ノ記載ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ市役所又ハ町村役場ノ數ト同數ノ屆書ヲ提出スルコトヲ要ス

本籍地外ニ於テ届出ヲ爲ストキハ前項ノ規定ニ依ルモノノ外尙ホ一通ノ屆書ヲ提出スルコトヲ要ス

前二項ノ場合ニ於テ相當ト認ムルトキハ市町村長ハ屆書ノ謄本ヲ作り之ヲ以テ屆書ニ代フルコトヲ得

第五十七條 口頭ヲ以テ届出ヲ爲スニハ届出人ハ市役所又ハ町村役場ニ出頭シ屆書ニ記載スヘキ事項ヲ陳述スルコトヲ要ス

市長村長ハ届出人ノ陳述ヲ筆記シ届出ノ年月日ヲ記載シテ届出人ニ讀聞カセ且届出人ヲシテ其書面ニ署名、捺印セシムルコトヲ要ス

届出人カ疾病其他ノ事故ニ因リ出頭スルコト能ハサルトキハ代理人ヲ以テ届出ヲ爲スコトヲ得

第五十八條 届出事件ニ付キ戶主、父母、後見人、親族會其他ノ者ノ同意、承諾又ハ承認ヲ要スルトキハ屆書ニ其同意、承諾又ハ承認ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス但同意、承諾又ハ承認ヲ爲シタル者ヲシテ屆書ニ其旨ヲ附記シ署名、捺印セシムルヲ以テ足ル

届出事件ニ付キ官廳ノ許可ヲ要スルトキハ屆書ニ許可書ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第六十五條 市町村長カ届出ヲ受理シタル場合ニ於テ屆書ニ欠缺アル爲メ戶籍ノ記載ヲ爲スコト能ハサルトキハ届出義務者ヲシテ其追完ヲ爲サシムルコトヲ要ス此場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第六十六條 届出期間經過後ノ届出ト雖モ市町村長ハ之ヲ受理スルコトヲ要ス

第六十七條 届出人ハ届出ノ受理又ハ不受理ノ證明書ヲ請求スルコトヲ得但受理ノ證明書ヲ請求スル場合ニ於テハ手数料ヲ納付スルコトヲ要ス

利害關係人ハ手数料ヲ納付シテ第三十六條ノ書類ノ閱覽ヲ請求シ又ハ其書類ニ記載シタル事項ニ付キ證明書ヲ請求スルコトヲ得

第十四條第二項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

利害關係人ハ特別ノ理由アル場合ニ限り第三十七條ノ書類ノ閱覽ヲ請求スルコトヲ得

第六十八條 届出人其他ノ者カ署名、捺印スヘキ場合ニ於テ印ヲ有セサルトキハ署名スルヲ以テ足ル署名スルコト能ハサルトキハ氏名ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル署名スルコト能ハス且印ヲ有セサルトキハ氏名ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル

前項ノ場合ニ於テハ書面ニ其事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第二節 出生

第六十九條 出生ノ届出ハ十四日以内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

屆書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 子ノ氏名及ヒ男女ノ別

二 子カ私生子又ハ庶子ナルトキハ其旨

三 出生ノ年月日時及ヒ場所

四 父母ノ氏名、本籍及ヒ職業

第二編 民事 第十二章 戶籍 戶籍法

九三五

第五十九條 屆書ニ關スル規定ハ第五十七條第二項及ヒ前條第一項ノ書面ニ之ヲ準用ス

第六十條 外國ニ在ル日本人ハ本法ノ規定ニ從ヒ其國ニ駐在スル日本ノ大使、公使又ハ領事ニ届出ヲ爲スコトヲ得

第六十一條 外國ニ在ル日本人カ其國ノ方式ニ從ヒ届出事件ニ關スル證書ヲ作ラシメタルトキハ一个月内ニ其國ニ駐在スル日本ノ大使、公使又ハ領事ニ其證書ノ謄本ヲ提出スルコトヲ要ス

大使、公使又ハ領事カ其國ニ駐在セサルトキハ一个月内ニ本籍地ノ市町村長ニ證書ノ謄本ヲ發送スルコトヲ要ス

第六十二條 大使、公使又ハ領事ハ前二條ノ規定ニ依リ受理シタル書類ヲ一个月内ニ外務大臣ニ發送シ外務大臣ハ十日以内ニ之ヲ本人ノ本籍地ノ市町村長ニ發送スルコトヲ要ス

第六十三條 届出期間ハ届出事件發生ノ日ヨリ之ヲ起算ス

裁判確定ノ日ヨリ期間ヲ起算スヘキ場合ニ於テ裁判力發送又ハ交付前確定シタルトキハ其發送又ハ交付ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第六十四條 市町村長カ届出ヲ怠リタル者アルコトヲ知リタルトキハ相當ノ期間ヲ定メ届出義務者ニ對シ其期間内ニ届出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス

届出義務者カ前項ノ期間内ニ届出ヲ爲ササルトキハ市町村長ハ更ニ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲スコトヲ得

第三十九條第二項ノ規定ハ前二項ノ催告ヲ爲スコト能ハサル場合及ヒ催告ヲ爲スモ届出ヲ爲ササル場合ニ、同條第三項ノ規定ハ裁判所其他ノ官廳、檢事又ハ吏員カ届出ヲ怠リタル者アルコトヲ知リタル場合ニ之ヲ準用ス

(台三)

五 子ノ入ルヘキ家ノ戶主ノ氏名及ヒ本籍

六 子カ一家ヲ創立スルトキハ其旨及ヒ創立ノ原因或ニ場所

七 日本ノ國籍ヲ有セサル者ノ子ナルトキハ其旨

第七十條 出生ノ届出ハ出生地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第七十一條 汽車又ハ航海日誌ヲ備ヘサル船舶中ニテ出生アリタル場合ニ於テハ到着地ニ於テ届出ヲ爲スコトヲ得

第七十二條 嫡出子出生ノ届出ハ父之ヲ爲シ父カ届出ヲ爲スコト能ハサル場合又ハ民法第七百三十四條第一項、第二項但書ノ場合ニ於テハ母之ヲ爲スコトヲ要ス

庶子出生ノ届出ハ父之ヲ爲シ私生子出生ノ届出ハ母之ヲ爲スコトヲ要ス

前二項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スヘキ者カ届出ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ左ニ掲ケタル順序ニ從ヒ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第一 戶主

第二 同居者

第三 分焼ニ立會ヒタル醫師又ハ産婆

第四 分焼ヲ介抱シタル者

第七十三條 嫡出子否認ノ訴ヲ提起シタルトキト雖モ出生ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十四條 民法第八百二十一條ノ規定ニ依リ裁判所カ父ヲ定ムヘキトキハ出生ノ届出ハ母之ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ屆書ニ父ノ未定ナル事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十二條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條 航海中ニ出生アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ第

九三五

六十九條第二項ニ掲ケタル事項ヲ航海日誌ニ記載シテ署名、捺印スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタル後艦船カ日本ノ港ニ著シタルトキハ艦長又ハ船長ハ運滞ナク出生ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ其地ノ市町村長ニ發送スルコトヲ要ス

艦船カ外國ノ港ニ著シタルトキハ艦長又ハ船長ハ運滞ナク出生ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ其國ニ駐在スル日本ノ大使、公使又ハ領事ニ發送シ大使、公使又ハ領事ハ一月内ニ之ヲ外務大臣ニ發送シ外務大臣ハ十日内ニ之ヲ本籍地ノ市町村長ニ發送スルコトヲ要ス

第七十六條 病院、監獄其他ノ公設所ニ於テ出生アリタル場合ニ於テ父母共ニ届出ヲ爲スコト能ハサルトキハ公設所ノ長又ハ管理人届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十七條 出生ノ届出前ニ子カ死亡シタルトキハ死亡ノ届出ト共ニ出生ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十八條 棄兒ヲ發見シタル者又ハ棄兒發見ノ申告ヲ受ケタル警察官ハ二十四時間内ニ其旨ヲ市町村長ニ申出ツルコトヲ要ス

前項ノ申出アリタルトキハ市町村長ハ氏名ヲ命シ本籍ヲ定メ且附屬品、發見ノ場所、年月日時其他ノ狀況及ヒ氏名、男女ノ別、出生ノ推定年月日並ニ本籍ヲ調査ニ記載スルコトヲ要ス其調査ハ之ヲ届書ト看做ス

第七十九條 父又ハ母カ棄兒ヲ引取ルトキハ一月内ニ第六十九條第二項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シ且戶籍ノ訂正ヲ申請スルコトヲ要ス

第八十條 第七十八條第一項又ハ前條ノ手續ヲ爲ス前ニ棄兒カ死亡シタルトキハ死亡ノ届出ト共ニ其手續ヲ爲スコトヲ要ス

第三節 認知

第八十一條 私生子認知ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 子ノ氏名、男女ノ別、出生ノ年月日及ヒ本籍

二 死亡シタル子ヲ認知スル場合ニ於テハ死亡ノ年月日

三 父カ認知ヲ爲ス場合ニ於テハ母ノ氏名並ニ本籍及ヒ父ノ職業

四 子カ家族ナルトキハ戶主ノ氏名、本籍及ヒ戶主ト子トノ續柄

第八十二條 胎内ニ在ル子ヲ認知スル場合ニ於テハ届書ニ其旨、母ノ氏名及ヒ本籍ヲ記載シ認知者ノ本籍地ニ於テ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

第八十三條 父カ庶子出生ノ届出ヲ爲シタルトキハ其届出ハ認知届出ノ效力ヲ有ス民法第八百三十六條第二項ノ規定ニ依リ嫡出子タルヘキ者ニ付キ父母カ嫡出子出生ノ届出ヲ爲シタルトキ亦同シ

第八十四條 認知ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ第八十一條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スコトヲ要ス其届書ニハ裁判確定ノ日ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十五條 遺言ニ依ル認知ノ場合ニ於テハ遺言執行者ハ其就職ノ日ヨリ十日内ニ認知ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添附シ第八十一條又ハ第八十二條ノ規定ニ從ヒテ其届出ヲ爲スコトヲ要ス

第八十六條 認知セラレタル胎兒カ死體ニテ生レタルトキハ出生届出義務者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十四日内ニ認知ノ届出地ニ於テ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス但遺言執行者カ前條ノ届出ヲ爲シタル場合ニ於テハ遺言執行者共届出ヲ爲スコトヲ要ス

第八十七條 第五十七條第三項ノ規定ハ第八十一條及ヒ第八十二條ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第八十八條 縁組ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 當事者ノ氏名、出生ノ年月日、本籍地及ヒ職業
- 二 養子ノ實父母ノ氏名及ヒ本籍
- 三 當事者カ家族ナルトキハ戶主ノ氏名、本籍及ヒ戶主トノ續柄
- 四 縁組ノ外實家ノ戶主、前養親ノ氏名及ヒ本籍ヲ記載スルコトヲ要ス
- 五 其事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第四節 養子縁組

第九十五條 縁組ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 當事者ノ氏名、本籍及ヒ職業
- 二 養子ノ實父母ノ氏名及ヒ本籍
- 三 當事者カ家族ナルトキハ戶主ノ氏名及ヒ本籍
- 四 養子ノ復籍スヘキ家ノ戶主ノ氏名及ヒ本籍
- 五 養子カ一家ヲ創立スルトキハ其旨及ヒ創立ノ原因並ニ場所但實家ヲ再興スルトキハ其旨及ヒ再興ノ場所

第九十六條 民法第八百六十二條第二項ノ規定ニ依リテ縁組ノ協議ヲ爲シタル場合ニ於テハ届出ハ其協議ヲ爲シタル者之ヲ爲スコトヲ得

第九十七條 民法第八百六十二條第三項ノ規定ニ依リテ縁組ヲ爲ス場合ニ於テハ養子其届出ヲ爲スコトヲ得

第九十八條 縁組ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ第九十五條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スコトヲ要ス其届書ニハ裁判確定ノ日ヲ記載スルコトヲ要ス

第九十九條 第五十七條第三項ノ規定ハ第九十五條乃至第九十七條ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第六節 婚姻

第一百條 婚姻ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 當事者ノ氏名、出生ノ年月日、本籍及ヒ職業
- 二 父母ノ氏名及ヒ本籍
- 三 當事者カ家族ナルトキハ戶主ノ氏名、本籍及ヒ戶主トノ續柄
- 四 入夫婚姻又ハ婿養子縁組ナルトキハ其旨
- 五 入夫婚姻ノ場合ニ於テ入夫カ戶主ト爲ルトキハ其旨

當事者ノ一方カ婚家又ハ養家ヨリ更ニ婚姻ニ因リテ他家ニ入ル場合ニ於テハ其旨及ヒ再興ノ場所

第九十四條 第五十七條第三項ノ規定ハ縁組ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第九十五條 第五十七條第三項ノ規定ハ縁組ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第九十六條 第五十七條第三項ノ規定ハ縁組ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第九十七條 第五十七條第三項ノ規定ハ縁組ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第九十八條 第五十七條第三項ノ規定ハ縁組ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第九十九條 第五十七條第三項ノ規定ハ縁組ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第一百條 第五十七條第三項ノ規定ハ縁組ノ届出ニハ之ヲ適用セス

テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外實家ノ戶主、養親ノ氏名及ヒ本籍ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百八條 婚姻ノ届出ハ夫ノ本籍地又ハ所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス但入夫婚姻又ハ婿養子縁組ノ場合ニ於テハ妻ノ本籍地又ハ所在地ニ於テ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第一百九條 第九十三條ノ規定ハ婚姻取消ノ裁判カ確定シタル場合ニ之ヲ準用ス

檢事カ訴ヲ提起シタル場合ニ於テハ裁判確定ノ後遲滞ナク戶籍記載ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第二百三條 第五十七條第三項ノ規定ハ婚姻ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第七節 離婚

第二百四條 離婚ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 當事者ノ氏名、本籍及職業
- 二 父母ノ氏名及ヒ本籍
- 三 當事者カ家族ナルトキハ戶主ノ氏名及ヒ本籍
- 四 婚家ヲ去ル者ノ復籍スヘキ家ノ戶主ノ氏名及ヒ本籍
- 五 婚家ヲ去ル者カ一家ヲ創立スルトキハ其旨及ヒ創立ノ原因並ニ場所但實家ヲ再興スルトキハ其旨及ヒ再興ノ場所

第二百五條 離婚ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ前條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スコトヲ要ス其届書ニハ裁判確定ノ日ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百六條 第五十七條第三項ノ規定ハ第二百四條ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第八節 親權及ヒ後見

第二百七條 父カ親權又ハ管理權ノ喪失ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ母其權

第二百十四條 後見人ニ關スル本節ノ規定ハ保佐人ニ之ヲ準用ス

第九節 隠居

第二百十五條 隠居ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 隠居者ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ本籍
- 二 家督相續人ノ氏名、出生ノ年月日並ニ本籍及ヒ家督相續人ト隠居者トノ續柄
- 三 隠居ノ原因

第十節 死亡及ヒ失踪

第二百十六條 死亡ノ届出ハ届出義務者カ死亡ノ事實ヲ知りタル日ヨリ七日内ニ診斷書若クハ檢案書又ハ檢視調書ノ謄本ヲ添附シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 死亡者ノ氏名、本籍及ヒ職業
- 二 死亡ノ年月日時及ヒ場所
- 三 死亡者カ家族ナルトキハ戶主ノ氏名及ヒ戶主ト死亡者トノ續柄

第二百十七條 左ニ掲ケタル者ハ其順序ニ從ヒ死亡ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス但順序ニ拘ハラス届出ヲ爲スコトヲ得

第一 戶主

第二 同居者

第三 家主、地主又ハ家屋若クハ土地ノ管理人

第二百十八條 死亡ノ届出ハ死亡地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第二百十九條 水難、火災其他ノ事變ニ因リ死亡シタル者アル場合ニ於テハ其取調ヲ爲シタル官廳又ハ公署ハ死亡者ノ本籍地ノ市町村長ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

利ヲ行フトキハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス其届書ニハ裁判確定日ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百八條 第九十三條第一項ノ規定ハ失權宣告取消ノ裁判カ確定シタル場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テハ届書ニ裁判確定ノ日ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百九條 後見開始ノ届出ハ後見人其就職ノ日ヨリ十日内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 後見人及ヒ被後見人ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ本籍
- 二 被後見人カ家族ナルトキハ戶主ノ氏名及ヒ本籍
- 三 後見開始ノ原因及ヒ年月日
- 四 後見人就職ノ年月日

第一百十條 後見人更迭ノ場合ニ於テハ後任者ハ就職ノ日ヨリ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス此場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第一百十一條 遺言ニ依ル後見人指定ノ場合ニ於テハ指定ニ關スル遺言ノ謄本ヲ届書ニ添附スルコトヲ要ス

後見人選任ノ場合ニ於テハ選任ヲ證スル書面ヲ届書ニ添附スルコトヲ要ス

第一百十二條 後見終了ノ届出ハ後見人十日内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 被後見人ノ氏名及ヒ本籍
- 二 後見終了ノ原因及ヒ年月日

第一百十三條 前四條ノ届出ハ被後見人ノ本籍地又ハ後見人ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第一百二十條 死刑ノ執行アリタルトキハ監獄ノ長ハ遲滞ナク監獄所在地ノ市町村長ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ在監中死亡シタル者ノ引取人ナキ場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テハ報告書ニ診斷書又ハ檢案書ヲ添附スルコトヲ要ス

第一百二十一條 前二條ノ報告書ニハ第二百十六條第二項ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百二十二條 死亡者ノ本籍分明ナラス又ハ死亡者ヲ認識スルコト能ハサル場合ニ於テハ警察官ハ檢視調書ヲ作り之ヲ添附シテ遲滞ナク死亡地ノ市町村長ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

死亡者ノ本籍分明ナルニ至リ又ハ死亡者ヲ認識スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ警察官ハ遲滞ナク其旨ヲ報告スルコトヲ要ス

第一項ノ報告アリタル後第十七條第一號及ヒ第二號ニ掲ケタル者カ死亡者ヲ認識シタルトキハ十日内ニ死亡ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第一百二十三條 第七十一條、第七十五條及ヒ第七十六條ノ規定ハ死亡ノ届出ニ之ヲ準用ス

第一百二十四條 失踪宣告ノ届出ハ其宣告ヲ請求シタル者裁判ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 失踪者ノ氏名及ヒ本籍
- 二 民法第三十條ニ定メタル期間満了ノ日
- 三 失踪者カ家族ナルトキハ戶主ノ氏名及ヒ戶主ト失踪者トノ續柄

第一百二十五條 家督相續ノ届出ハ戶主ト爲リタル者相續ノ事實ヲ知りタル日ヨリ一个月内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但入夫婚姻ニ因リテ戶主ト爲リタル

ル者ハ此限ニ在ラス

屆書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 家督相續ノ原因及ヒ戸主ト爲リタル年月日

二 前戸主ノ氏名及ヒ前戸主トノ續柄

戸主ト爲リタル者カ外國ニ在ル場合ニ於テハ三個月内ニ屆書ヲ發送スルヲ以テ足ル

第二百二十六條 選定ニ因ル家督相續人カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ選定ヲ證スル書面ヲ届書ニ添附スルコトヲ要ス

第二百二十七條 家督相續人カ胎兒ナルトキハ母ハ相續ノ開始アリタルコトヲ知リタル日ヨリ一個月内ニ診斷書ヲ添附シ家督相續ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 家督相續ノ原因及ヒ相續開始ノ年月日

二 家督相續人カ胎兒ナルコト

三 前戸主ノ氏名及ヒ前戸主ト家督相續人トノ續柄

第二百二十五條第三項ノ規定ハ前項ノ届出ニ之ヲ準用ス

第二百二十八條 前條ノ届出ヲ爲シタル後胎兒カ死體ニテ生レタルトキハ母ハ一個月内ニ醫師又ハ産婆ノ檢案書ヲ添附シ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

母カ前項ノ届出ヲ爲ササルトキハ家督相續人ハ分妯ノ事實ヲ知リタル日ヨリ一個月内ニ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第二百二十九條 家督相續回復ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一個月内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ第二百二十五條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スコトヲ要ス

タル日ヨリ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第十四節 入籍、離籍及ヒ復籍拒絶

第三百三十七條 民法第七百三十七條ノ規定ニ依リ家族ト爲ラント欲スル者ハ左ノ事項ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 入籍スヘキ家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍

二 入籍スヘキ家ノ戸主ト入籍スヘキ者トノ續柄

三 原籍ノ戸主ノ氏名、本籍及ヒ其戸主ト入籍スヘキ者トノ續柄

第三百三十八條 民法第七百三十八條ノ規定ニ依リ自己ノ親族ヲ家族ト爲サント欲スル者ハ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ前條ニ掲ケタル事項ノ外入籍スヘキ者ノ氏名及ヒ出生ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百三十九條 戸主カ其家族ヲ離籍セント欲スルトキハ左ノ事項ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 離籍セラルヘキ者ノ氏名

二 離籍ノ原因

第四百十條 離籍ニリテ一家ヲ創立シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 離籍者ノ氏名及ヒ本籍

二 離籍者ト離籍セラレタル者トノ續柄

三 離籍ノ原因及ヒ年月日

第四百十一條 戸主カ其家族タリシ者ノ復籍ヲ拒マント欲スルトキハ左ノ事項ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 復籍ヲ拒マルヘキ者ノ氏名及ヒ本籍

第三百三十條 第二百二十五條及ヒ前三條ノ届出ハ被相續人ノ本籍地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十二節 推定家督相續人ノ廢除

第三百三十一條 推定家督相續人廢除ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 廢除セラレタル者ノ氏名及ヒ本籍

二 廢除ノ原因

三 裁判確定ノ日

第三百三十二條 廢除取消ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 廢除セラレタル者ノ氏名及ヒ本籍

二 廢除ノ原因

三 裁判確定ノ日

第三百三十三條 家督相續人ノ指定ニハ指定セラレタル者ノ氏名及ヒ本籍ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百三十四條 家督相續人指定取消ノ届書ニハ指定家督相續人ノ氏名及ヒ本籍ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百三十五條 遺言ニ依ル家督相續人ノ指定又ハ指定取消ノ場合ニ於テハ指定又ハ指定取消ニ關スル遺言ノ謄本ヲ届書ニ添附スルコトヲ要ス

第三百三十六條 指定家督相續人カ死亡シタルトキハ指定者ハ其事實ヲ知リ

タル日ヨリ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

復籍ヲ拒マルヘキ者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名

復籍拒絶ノ原因

第三百四十二條 復籍拒絶又ハ復籍スヘキ家ノ廢絶ニ因リテ一家ヲ創立シタル者カ縁組若クハ婚姻ノ取消又ハ離縁若クハ離婚ノ届書ニ其場所ヲ記載セザリシトキハ一家創立ノ事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ其届出ヲ爲スコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 復籍拒絶者又ハ廢絶家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍

二 復籍拒絶ノ原因及ヒ年月日又ハ廢絶ノ年月日

第十五節 廢家及ヒ絶家

第三百四十三條 廢家ヲ爲サント欲スル者ハ其者カ入ルヘキ家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス但家督相續ニ因リテ戸主ト爲リタル者ニ非サルトキハ其旨ヲ届書ニ記載スルコトヲ要ス

第三百四十四條 絶家ノ家族ハ絶家ノ事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ一家創立ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

届書ニハ左書事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 絶家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍

二 絶家ノ原因及ヒ年月日

第十六節 分家及ヒ廢絶家再興

第三百四十五條 分家ヲ爲サント欲スル者ハ左ノ事項ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 本家ノ戸主ノ氏名、本籍及ヒ其戸主ト分家ノ戸主トノ續柄

二 民法第七百四十三條第二項ノ規定ニ依リ分家ノ家族ト爲ルヘキ者アルトキハ其氏名及ヒ出生ノ年月日

九四一

三 分家ノ戸主及ヒ家族ト爲ルヘキ者ノ父母ノ氏名及ヒ本籍
第四百四十六條 廢絶家ヲ再興セント欲スル者ハ左ノ事項ヲ届書ニ記載シテ
其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 廢絶家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍
- 二 廢絶ノ年月日
- 三 廢絶家ト再興ヲ爲ス者ノ家トノ續柄
- 四 再興ヲ爲ス者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名及ヒ本籍

第十七節 國籍ノ得喪

第四百四十七條 外國人カ養子縁組又ハ婚姻ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得スヘ
キトキハ縁組又ハ婚姻ノ届書ニ國籍取得者ノ原國籍ヲ記載スルコトヲ要
ス

第四百四十八條 外國人カ認知ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得スヘキトキハ認知
ノ届書ニ子ノ原國籍ヲ記載スルコトヲ要ス

第四百四十九條 歸化ノ届出ハ許可ノ日ヨリ十日内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス
届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 歸化ヲ爲シタル者ノ原國籍
- 二 父母ノ氏名及ヒ國籍
- 三 許可ノ年月日
- 四 歸化ヲ爲シタル者ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得シタル者アルトキハ其
氏名、出生ノ年月日及ヒ歸化人トノ續柄

歸化ヲ爲シタル者ノ妻又ハ子カ歸化人ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得セザルト
キハ届書ニ其事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第四百五十條 國籍喪失ノ届出ハ戸主又ハ家督相續人其事實ヲ知りタル日ヨ
リ一ヶ月内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

リ一ヶ月内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス
届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 國籍喪失者ノ氏名及ヒ本籍
- 二 國籍喪失ノ原因及ヒ年月日
- 三 新ニ國籍ヲ取得シタルトキハ其國籍

第五百一十一條 國籍喪失者カ滿十七年以上ノ男子ナルトキハ其者カ陸海軍
ノ現役ニ服シタルコト又ハ之ニ服スル義務ナキコトヲ證スヘキ書面ヲ届
書ニ添附スルコトヲ要ス但シ國籍法第二十條ノ二又ハ第二十條ノ三ノ規
定ニ依ル國籍喪失者ニ付テハ此限ニ在ラス

第五百一十二條 國籍回復ノ届出ハ許可ノ日ヨリ十日内ニ之ヲ爲スコトヲ要
ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 日本ノ國籍ヲ失ヒタル原因及ヒ年月日
- 二 國籍回復前ニ有セシ國籍
- 三 許可ノ年月日
- 四 國籍回復者ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得シ又ハ之ヲ回復シタル者アル
トキハ其氏名、出生ノ年月日及ヒ其者ト國籍回復者トノ續柄

第四百四十九條第三項ノ規定ハ前項ノ届出ニ之ヲ準用ス

第十八節 氏名、族稱ノ變更及ヒ襲稱
第五百十三條 氏名變更ノ届出ハ許可ノ日ヨリ十日内ニ之ヲ爲スコトヲ要
ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 變更前ノ氏名

二 變更シタル氏名

三 許可ノ年月日

第五百十四條 新ニ華族ニ列セラレ又ハ士族ニ編入セラレタル者ハ十日内
ニ辭令書又ハ許可書ノ添附シ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 新舊族稱
- 二 族稱變更ノ原因
- 三 辭令又ハ許可ノ年月日

第五百十五條 爵ヲ襲キタル者ハ辭令書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十日内ニ
其添本ヲ添附シ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第五百十六條 華族又ハ士族ノ族稱ヲ喪失シタル場合ニ於テハ戸主ハ十日
内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ族稱喪失ノ原因及ヒ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第五百十七條 前條ノ規定ハ處刑ニ因リテ族稱ヲ喪失シタル場合ニハ之ヲ
適用セス此場合ニ於テハ裁判所ハ本人ノ本籍地ノ市町村長ニ其旨ヲ報告
スルコトヲ要ス

第十九節 轉籍及ヒ就籍

第五百十八條 轉籍セント欲スルトキハ新本籍ヲ届書ニ記載シ戸主其旨ヲ
届出ツルコトヲ要ス

他ノ市町村ニ轉籍スル場合ニ於テハ戸籍ノ添本ヲ届書ニ添附スルコトヲ
要ス

第五百十九條 轉籍ノ届出ハ轉籍地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第二編 民事 第十二章 戶籍 戶籍法

第六十條 本籍ヲ有セザル者ハ其就籍セント欲スル地ヲ管轄スル區裁判
所ノ許可ヲ得テ十日内ニ就籍ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

届書ニハ第十八條ニ掲ゲタル事項ノ外就籍許可ノ年月日ヲ記載スルコト
ヲ要ス

第六十一條 就籍ノ届出ハ就籍地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第六十二條 就籍許可ノ裁判ヲ得タル者カ就籍ノ届出ヲ爲サザルトキハ
戸主之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十三條 第六十條ノ規定ハ確定判決ニ因リテ就籍ノ届出ヲ爲スヘ
キ場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テハ判決ノ添本ヲ届書ニ添附スルコトヲ
要ス

第五章 戶籍ノ訂正

第六十四條 戶籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノナルコト又ハ其記
載ニ錯誤若クハ遺漏アルコトヲ發見シタル場合ニ於テハ利害關係人ハ其
戶籍ノ存スル市役所又ハ町村役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ
得テ戶籍ノ訂正ヲ申請スルコトヲ得

第六十五條 届出ニ因リ效力ヲ生スヘキ行爲ニ付キ戶籍ノ記載ヲ爲シタ
ル後其行爲ノ無効ナルコトヲ發見シタルトキハ届出人又ハ届出事件ノ本
人ハ前條ノ區裁判所ノ許可ヲ得テ戶籍ノ訂正ヲ申請スルコトヲ得

第六十六條 前二條ノ許可ノ裁判アリタルトキハ一ヶ月内ニ其添本ヲ添
附シ戶籍ノ訂正ヲ申請スルコトヲ要ス

第六十七條 確定判決ニ因リ戶籍ノ訂正ヲ爲スヘキトキハ訴ヲ提起シタ
ル者ハ判決確定ノ日ヨリ一ヶ月内ニ判決ノ添本ヲ添附シ訂正ノ申請ヲ爲
スコトヲ要ス

檢事カ訴ヲ提起シタル場合ニ於テハ判決確定ノ後遲滞ナク戶籍ノ訂正ヲ

請求スルコトヲ要ス

第四百六十八條 第四十三條、第四十六條乃至第五十條、第五十二條乃至第五十九條及第六十三條乃至第六十八條ノ規定ハ戶籍訂正ノ申請ニ之ヲ準用ス

第六章 抗告

第六十九條 戶籍事件ニ付キ市町村長ノ處分ヲ不當トスル者ハ市役所又ハ町村役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

第七十條 抗告ハ管轄區裁判所ニ抗告狀ヲ提出シテ之ヲ爲ス

抗告狀ニハ屆書又ハ申請書及ヒ關係書類ヲ添付スルコトヲ要ス

第七十一條 抗告ヲ受ケタル裁判所ハ抗告ニ關スル書類ヲ市町村長ニ送付シテ其意見ヲ求ムルコトヲ要ス

第七十二條 市町村長ハ抗告ヲ理由アリト認ムルトキハ處分ヲ變更シテ其旨ヲ裁判所及ヒ抗告人ニ通知スルコトヲ要ス

抗告ヲ理由ナシト認ムルトキハ意見ヲ附シ送附ヲ受ケタル日ヨリ五日內ニ書類ヲ裁判所ニ返還スルコトヲ要ス

第七十三條 裁判所ハ抗告ヲ理由ナシトスルトキハ之ヲ却下シ理由アリトスルトキハ市町村長ニ相當ノ處分ヲ命スルコトヲ要ス

抗告ヲ却下シ又ハ處分ヲ命スル裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲シ市町村長及ヒ抗告人ニ送達スルコトヲ要ス

第七十四條 裁判所ノ決定ニ對シテハ法律ニ違背シタル裁判ナルコトヲ理由トスルトキニ限り非訟事件手續法ノ規定ニ從ヒテ抗告ヲ爲スコトヲ得

抗告裁判所ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第七十五條 抗告ノ費用ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第七章 罰則

第七十六條 正當ノ理由ナクシテ期間內ニ爲スヘキ届出又ハ申請ヲ爲ササル者ハ十圓以下ノ過料ニ處ス

第七十七條 第六十四條ノ規定ニ依リ市町村長カ期間ヲ定メテ届出又ハ申請ノ催告ヲ爲シタル場合ニ於テ正當ノ理由ナクシテ其期間內ニ届出又ハ申請ヲ爲ササル者ハ二十圓以下ノ過料ニ處ス

第七十八條 市町村長ハ左ノ場合ニ於テハ三十圓以下ノ過料ニ處ス

一 正當ノ理由ナクシテ届出又ハ申請ヲ受理セサルコト

二 戶籍ノ記載ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

三 正當ノ理由ナクシテ戶籍簿、除籍簿又ハ第三十六條ノ書類ノ閲覧ヲ拒ミタルトキ

四 正當ノ理由ナクシテ戶籍若クハ除カレタル戶籍ノ謄本、抄本又ハ第六十七條ノ證明書ヲ交付セサルトキ

五 其他戶籍事件ニ付キ職務ヲ怠リタルトキ

第七十九條 過料ノ裁判ハ過料ニ處セラルヘキ者ノ住所又ハ居住ノ地ヲ管轄スル區裁判所之ヲ爲ス其裁判及ヒ裁判ノ執行ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第八十條 戶籍ノ記載ヲ要セサル事項ニ付キ虚偽ノ届出ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス日本ノ國籍ヲ有セサル者ニ關スル事項ニ付キ虚偽ノ届出ヲ爲シタル者亦同シ

附則

第八十一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十二條 本法施行ニ關スル細則ハ司法大臣之ヲ定ム

第八十三條 本法ノ規定ハ本法施行前ノ届出其他ノ事由ニ因リテ戶籍ノ

記載ヲ爲シ又ハ新ニ戶籍ヲ編製スル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第八十四條 舊法ノ規定ニ依リ戶籍ハ本法ノ規定ニ依リ戶籍トシテ其效力ヲ有ス但本法ノ規定ニ依リ戶籍ニ記載スヘキ事項ニシテ舊法ノ規定ニ依リ戶籍ニ記載ナキモノハ身分登記ニ依リ之ヲ記載スルコトヲ得

司法大臣ハ前項ノ規定ニ拘ハラヌ本法ノ規定ニ依リ戶籍ヲ改製スヘキコトヲ命スルコトヲ得

第八十五條 舊法ノ規定ニ依リテ改製セザリシ戶籍ハ司法大臣ノ命スル所ニ依リ本法ノ規定ニ依リテ之ヲ改製スルコトヲ要ス但記載ヲ要スル事項ニシテ従前ノ戶籍ニ依リ其實事ヲ知ルコト能ハサルモノハ其記載ヲ省クコトヲ得

第八十六條 身分登記簿及ヒ舊法ニ保存期間ノ定アル帳簿並ニ書類ノ保存期間ハ司法大臣之ヲ定ム

附則 (大正十三年法律第二十號) (大正十三年勅令第二百一十一號ヲ以テ大正四年一月一日ヨリ施行)

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(大正十三年勅令第二百六十三號ヲ以テ大正十三年十二月一日ヨリ施行)

○戶籍法施行細則

大正三年十月三日 司法省令第七號

改正 大正四年第六號、五年第一號、第六號、九年第一二號、一三年第三號

第一條 戶籍用紙ハ強靱ナル美濃紙ヲ用キ附録第一號様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 戶籍カ數葉ニ涉ルトキハ職印ヲ以テ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ

第二編 民事 第十二章 戶籍 戶籍法施行細則

舊法ノ規定ニ依リ戶籍ノ用紙ヲ用キ盡シタルトキハ前條ノ戶籍用紙ヲ用キテ其記載ヲ繼續スヘシ

第三條 戶籍簿ニハ附録第二號様式ニ依ル表紙ヲ附スヘシ

戶籍簿ハ之ヲ分册スルコトヲ得此場合ニ於テハ其表紙ニ番號ヲ記載シ地區ニ依リテ分册シタルトキハ其地區ノ名稱ヲモ記載スヘシ

第四條 除籍簿ハ年毎ニ之ヲ別册トシ其表紙ニ「大正」何年除籍簿ト記載スヘシ

前條ノ規定ハ各年度ノ除籍簿ニ之ヲ準用ス

市町村長ハ相當ト認ムルトキハ數年度ノ除籍簿ヲ合綴スルコトヲ得此場合ニ於テハ更ニ表紙ヲ附シ「自」大正何年「至」大正何年「除籍簿」ト記載スヘシ

第五條 戶籍ノ全部ヲ抹消シタルトキハ市町村長ハ遲滞ナク其戶籍ノ副本ヲ監督區裁判所ニ送付スヘシ

區裁判所ハ前項ノ規定ニ拘ハラヌ何時ニテモ戶籍ノ副本ヲ徵スルコトヲ得戶籍法施行前ノ戶籍簿ヨリ除カレタル戶籍ノ副本亦同シ

第六條 區裁判所カ前條第一項ノ規定ニ依リテ送付ヲ受ケタル副本及ヒ同條第二項ノ規定ニ依リテ徵シタル除籍ノ副本ハ市町村ノ區別ニ從ヒ之ヲ編綴シ除籍簿ノ副本トシテ之ヲ保存スヘシ

第七條 市町村長ハ戶籍簿及ヒ除籍簿ニ付キ各別ニ見出帳ヲ調製シ之ニ戶主ノ氏名及ヒ本籍ヲ記載スヘシ

前項ノ記載ハ戶主ノ氏名ノイハハ順ニ依リテ之ヲ爲スヘシ

第八條 市町村長カ屆書其他ノ書類ヲ受理シ又ハ其送付ヲ受ケタルトキハ其書類ニ受附ノ番號及ヒ年月日ノ外本籍人及ヒ非本籍人ノ區別ニ從ヒ受附ノ順序ニ依リ種類番號ヲ記載スヘシ

市町村長カ戶籍法第三十九條第二項又ハ第六十四條第三項ノ規定ニ依リ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ戶籍ノ訂正又ハ記載ヲ爲ストキハ前項ニ掲ケタル事項ハ許可書ニ之ヲ記載スヘシ

第九條 事件ノ種類ハ戶籍法第四章第二節乃至第十九節ニ掲ケタル事件ノ區別ニ從ヒテ之ヲ定ムヘシ

第十條 届出ノ追完、戶籍ノ訂正及ヒ戶籍法第一百四十二條ニ依ル一家創立ノ届出ニ關スル書類ニ付テハ前項ノ規定ニ拘ハラズ別ニ一ノ種目ヲ定ムヘシ

第十一條 市町村長ハ附録第三號様式ニ依リ毎年受附帳ヲ調製シ其年度内ニ受理シタル事件ニ付キ受附ノ順序ニ從ヒ姓名、届出事件ノ本人ノ氏名並ニ本籍、受付ノ番號並ニ年月日及ヒ種類番號ヲ記載スヘシ

第十二條 受附番號及ヒ種類番號ハ毎年之ヲ更新スヘシ

第十三條 戶籍ノ副本又ハ届書其他ノ書類若クハ其謄本ノ送付ハ送付スヘキ書類ニ發送ノ年月日及ヒ發送者ノ職氏名ヲ記載シテ之ヲ爲スヘシ

第十四條 戶籍ノ記載ハ附録第一號様式附屬雛形ニ定メタル相當欄ニ之ヲ爲スヘシ

第十五條 直系尊屬、直系卑屬若クハ傍系親ノ間ニ在リテ親等ノ同シキ者又ハ戶主ノ親族ニ非サル者ハ親族順位ニ依リ親族順位ノ同シキ者ハ出生ノ前後ニ依リテ之ヲ記載スヘシ

第十六條 事項欄ノ記載ハ附録第四號記載例ニ從ヒ事件毎ニ行ヲ更メテ之ヲ爲スヘシ

第十七條 婚姻及ヒ離婚ニ關スル事項ハ夫及ヒ妻ノ事項欄ニ之ヲ記載スヘシ

第十八條 復籍拒絶及ヒ家督相續人ノ指定ニ關スル事項ハ戶主ノ事項欄ニ之ヲ記載スヘシ

(台三)

新ニ戶籍ヲ編製スルトキハ戶主及ヒ家族ノ身分ニ關スル事項ニシテ基本タル戶籍ニ記載シタルモノハ之ヲ新戶籍ニ記載スヘシ

第十五條 戶籍法第五十八條第二項ノ場合ニ於テハ届書ニ添附シタル戶籍ノ謄本ニ記載シタル事項ハ婚姻其他ノ事由ニ因リ除籍者ニ關スルモノヲ除ク外之ヲ轉籍地ノ戶籍ニ記載スヘシ

第十六條 本籍地變更ノ後原籍地ノ市町村長カ受理シタル届書其他ノ書類ハ之ヲ抹消シ且其事由ヲ戶籍ニ記載スヘシ

第十七條 新本籍地ノ市町村長カ前項ノ書類ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ニ依リテ戶籍ノ記載ヲ爲スヘシ

第十八條 離婚又ハ離婚ニ因リ實家ニ復籍シタル者ニ付テハ戶籍ニ離婚又ハ離婚ニ關スル事項ノ外實家ノ戶籍又ハ除カレタル戶籍ニ基キ其者ニ關スル一切ノ事項ヲ記載スヘシ但實家ノ本籍地ノ市役所又ハ市町村役場ニ保存スル戶籍及ヒ除カレタル戶籍ニ記載ナキ事項ハ此限ニ在ラス

第十九條 前條ノ規定ハ縁組又ハ婚姻ノ無効又ハ取消其他ノ事由ニ因リ戶籍ノ記載ヲ回復スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第二十條 復籍拒絶ニ關スル記載ヲ抹消スルトキハ其事由ヲ記載スヘシ

第二十一條 指定家督相續人ニ付キ死亡、指定ノ取消又ハ指定ノ效力ヲ失フヘキ事由ノ届出アリタル場合ニ於テハ事由ヲ記載シテ家督相續人ノ指定ニ關スル戶籍ノ記載ヲ抹消スヘシ

第二十二條 戶籍ノ全部若クハ一部又ハ其記載ヲ抹消スルニハ附録第五號様式ニ依リ之ヲ朱抹スヘシ

第二十三條 戶籍ノ訂正ヲ爲スニハ訂正ノ趣旨及ヒ事由ヲ記載シ附録第六號様式ニ依リ訂正スヘキ記載ヲ朱抹スヘシ

(台三)

第二十二條 行政區畫、土地ノ名稱又ハ地番號ノ更正ヲ爲スニハ事項欄ニ更正ノ事由ヲ記載シ附録第七號様式ニ依リ更正スヘキ事項ノ記載ヲ訂正スヘシ

第二十三條 行政區畫又ハ土地ノ名稱ヲ更正スル場合ニ於テハ戶籍簿ノ表紙ニ記載シタル名稱ヲ更正シ表紙ノ裏面ニ其事由ヲ記載スヘシ

第二十四條 戶籍法第八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ身分登記ニ依リテ戶籍ノ記載ヲ爲シタルトキハ其旨ヲ記載スヘシ

第二十五條 戶籍法第八十五條但書ノ規定ニ依リ戶籍ノ記載ヲ省クトキハ其事由ヲ記載スヘシ

第二十六條 市町村長ノ代理者カ戶籍ノ記載ヲ爲ストキハ其文末ニ代理資格ヲ記載シテ認印スヘシ

第二十七條 戶籍法第三十七條ノ書類ニシテ非本籍人ニ關スルモノハ其書類ヲ受理シタル市役所又ハ市町村役場ノ區別ニ從ヒ毎年ニ各別ニ之ヲ編綴スヘシ但シ分綴スルコトヲ妨ケス

第二十八條 戶籍法第三十六條第二項ノ書類ハ毎年ニ各別ニ之ヲ編綴スヘシ但分綴スルコトヲ妨ケス

第二十九條 區裁判所カ新戶籍ノ副本及ヒ第五條第一項ノ戶籍ノ副本ノ送付ヲ受ケタルトキ又ハ第五條第二項ノ規定ニ依リ戶籍ノ副本ヲ徵シタルトキハ前ニ送付ヲ受ケタル戶籍ノ副本ハ其戶籍ニ關スル届書其他ノ書類ニ共ニ別ニ編綴シ之ヲ廢書簿ト爲スヘシ但第六條ノ帳簿ニ編綴スヘキモノハ此限ニ在ラス

第三十條 區裁判所カ戶籍法施行前ノ戶籍ノ副本ノ引繼ヲ受ケサル場合ニ於テ第五條第一項又ハ第二項ニ依リ戶籍ノ副本ノ送付ヲ受ケタルトキハ其旨ヲ地方裁判所長ニ通知スヘシ

第三十條 市町村ノ區域ノ變更アリタル場合ニ於テ戶籍及ヒ之ニ關スル書類ノ引繼ヲ完了シタルトキハ引繼ヲ受ケタル市町村長ヨリ其旨ヲ監督區裁判所ニ報告スヘシ

第三十一條 市町村ノ區域ノ變更ニ因リ區裁判所ノ管轄ニ變更ヲ生シタルトキハ舊管轄區域内ノ本籍人ノ戶籍並ニ除カレタル戶籍ノ副本及ヒ之ニ關スル書類ハ新管轄區裁判所ニ之ヲ引繼クヘシ

第三十二條 戶籍簿及ヒ届書其他ノ書類ハ鎖鑰アル書籍ニ藏メ其保存ヲ嚴シシ向ホ倉庫アルトキハ倉庫ニ藏置クヘシ

第三十三條 事變ヲ避クル爲メ戶籍簿又ハ除籍簿ヲ市役所又ハ市町村役場外ニ持出シタルトキハ遲滞ナク其旨ヲ監督區裁判所ニ報告スヘシ

第三十四條 戶籍簿又ハ除籍簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキハ市町村長ハ遲滞ナク其事由、年月日、帳簿ノ名稱、冊數其他必要ナル事項ヲ記載シ監督區裁判所ニ申報スヘシ

第三十五條 監督區裁判所前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ必要ノ調査ヲ爲シタル後其再製又ハ補完ノ方法ヲ具シ之ヲ管轄地方裁判所長及ヒ司法大臣ニ具申スヘシ

第三十六條 戶籍簿又ハ除籍簿ノ全部又ハ一部カ滅失スル虞アルトキハ前條ノ例ニ準シ申報及ヒ具申ヲ爲スヘシ

第三十七條 戶籍簿、除籍簿又ハ届書其他ノ書類ノ閱覽ハ吏員ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムヘシ

第三十八條 戶籍又ハ除カレタル戶籍ノ謄本又ハ抄本ハ原本ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作ルヘシ

第三十九條 謄本又ハ抄本ニハ其記載ニ接續シテ附録第八號書式ニ依リ附記ヲ爲スヘシ

謄本又ハ抄本カ數葉ニ涉ルトキハ職印ヲ以テ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ
 前項ノ規定ハ謄本又ハ抄本ニ掛紙ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス
 第三十七條 前條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ市町村長ノ作ルヘキ屆書其他ノ書類ノ謄本ニ之ヲ準用ス
 第三十八條 戶籍法第十四條第三項ニ依ル告知ノ書面ハ附録第九號書式ニ依リテ之ヲ作ルヘシ
 第三十九條 届出又ハ申請ノ受理又ハ不受理ノ證明書ハ附録第十號書式ニ依リテ作ルヘシ但市町村長ハ證明ヲ求ムル事項ヲ記載シタル書面又ハ其符箋ニ證明ノ趣旨及ヒ年月日ヲ記載シテ署名、捺印シ之ヲ以テ證明書ニ代フルコトヲ得
 符箋ニ依リテ前項ノ證明ヲ爲ス場合ニ於テハ職印ヲ以テ接目ニ契印スヘシ
 第四十條 身分登記簿ノ閱覽及ヒ身分登記ノ謄本並ニ抄本ノ交付ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル
 第四十一條 市町村長カ届出、申請又ハ其追完ヲ怠リタル者ニ對シ戶籍法第六十四條又ハ第六十五條ニ依リ爲スヘキ催告ハ附録第十二號書式ニ依リ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
 第四十二條 市町村長カ届出、申請又ハ其追完ヲ怠リタル者アルコトヲ知リタルトキハ届出事件ヲ具シ其旨ヲ管轄區裁判所ニ通知スヘシ
 第四十三條 届出地カ届出事件ノ本人ノ寄留地ナルトキハ届出人ハ屆書ニ其旨ヲ記載スヘシ
 戶籍法第四十四條第一項ノ規定ニ依リ日本ノ國籍ヲ有セサル者ニ關スル

事項ニ付キ届出人ノ所在地ニ於テ届出ヲ爲ストキハ屆書ニ本人ノ寄留地ヲ記載スヘシ
 第四十三條ノ二 同一市町村ニ於テ二以上ノ戶籍ニ記載ヲ爲スヘキ事項ニ付テハ監督區裁判所ハ其戶籍ノ數ト同數ノ屆書又ハ申請書ヲ提出セシムヘキコトヲ市町村長ニ命スルコトヲ得但市町村長ハ受理シタル屆書又ハ申請書ノ謄本ヲ作リ之ヲ以テ屆書又ハ申請書ニ代フルコトヲ得
 前項ノ書類ハ戶籍法第三十七條ノ規定ニ從ヒ之ヲ監督區裁判所ニ送付スヘシ
 第四十四條 戶籍及ヒ之ニ關スル帳簿並ニ書類ノ保存期間ハ後四條ノ定ムル所ニ依ル
 第四十五條 除籍簿及ヒ除籍簿ノ謄本ノ保存期間ハ五十年トス
 戶籍法第三十六條第二項ノ書類ノ保存期間ハ十年戶籍法第三十七條ノ書類ニシテ非本籍人ニ關スルモノノ保存期間ハ三年トス
 前二項ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス
 第四十六條 受附帳ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ五年トス
 第四十七條 廢書簿ノ保存期間ハ第五條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ戶籍ノ謄本ノ送付アリタル翌年ヨリ三年トス
 第四十八條 戶籍法第八十四條第二項又ハ第八十五條ニ依リテ戶籍ヲ改製シタル場合ニ於テハ原戶籍ノ保存期間ハ改製ノ翌年ヨリ五十年トス
 第四十九條 本籍人ノ身分登記簿ノ正本、非本籍人ノ身分登記簿ノ正本並ニ副本及ヒ非本籍人ノ身分ニ關スル屆書並ニ附屬書類ノ保存期間ハ戶籍法施行ノ日ヨリ三年トス但第五十一條第一項第三號ニ掲ケタルモノハ此限ニ在ラス
 本籍人ノ身分登記簿ノ謄本ノ保存期間ハ戶籍法施行ノ日ヨリ五十年トス但

區裁判所カ第五條第二項ノ規定ニ依リ市町村毎ニ戶籍及ヒ戶籍法施行前ノ戶籍簿ヨリ除カレタル戶籍ノ謄本ノ全部ノ送付ヲ受ケタル翌年ヨリ三年間之ヲ保存スルヲ以テ足ル
 第五十條 戶籍法施行前ノ戶籍ノ謄本ハ新戶籍ノ謄本ノ送付アルマテ又ハ戶籍法第八十四條第二項若クハ第八十五條ノ規定ニ依リ戶籍ノ改製ヲ爲スマテ之ヲ保存スヘシ
 第五十一條 前二條ニ掲ケタルモノヲ除ク外戶籍法施行前ノ帳簿及ヒ書類ノ保存期間ハ左ノ區別ニ依ル

- 一 除籍簿 五十年
 - 二 舊戶籍法第二百一十一條第一項ニ依リ戶籍ヲ改製シタル場合ニ於ケル原戶籍 五十年
 - 三 戶籍ノ記載ヲ要セサル事項並ニ日本ノ國籍ヲ有セサル者ニ關スル事項ニ付テノ屆書及ヒ附屬書類 十年
 - 四 戶籍及ヒ本籍人ノ身分ニ關スル屆書及ヒ附屬書類 十年
 - 五 受附帳 三年
- 前項第一號及ヒ第三號乃至第五號ノ帳簿及ヒ書類ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ第二號ノ原戶籍ノ保存期間ハ改製ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス
 第五十二條 前條第一項第二號ニ掲ケタルモノヲ除ク外舊戶籍法施行前ノ帳簿及ヒ書類ノ保存期間ハ從前ノ規定ニ依ル
 第五十三條 市町村長カ保存期間ヲ經過シタル帳簿又ハ書類ヲ廢毀セントスルトキハ目錄ヲ作り監督區裁判所ノ認可ヲ受クヘシ
 第五十四條 戶籍事務ノ取扱ニ關シ疑義ヲ生シタルトキハ市町村長ハ監督區裁判所ヲ經由シテ司法大臣ニ稟何スルコトヲ得

本令ハ大正四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
 附錄目錄

- 第一號 戶籍ノ様式
- 附屬 雛形
- 第二號 戶籍簿表紙ノ様式
- 第三號 受附帳ノ様式
- 第四號 戶籍記載例
- 第五號 戶籍ノ抹消ノ様式
- 第一 全部抹消
- 第二 一部抹消
- 第六號 戶籍ノ訂正ノ様式
- 第一 全部ノ訂正
- 第二 一部ノ訂正
- 第七號 本籍地ノ更正ノ様式
- 第八號 謄本又ハ抄本ノ附記ノ書式
- 第九號 告知書ノ書式
- 第十號 受理又ハ不受理ノ證明書ノ書式
- 第十一號 記載事項證明書ノ書式
- 第十二號 催告狀ノ書式
- 第一 届出又ハ申請ノ催告狀ノ書式
- 第二 同追完ノ催告狀ノ書式
- 第三 同第二回以後ノ催告狀ノ書式

附錄第一號様式附屬雜形 注意 (本雜形ハ戶籍ノ記載ヲ爲スヘキ相當欄及ヒ特殊ノ記載例ヲ示スニ止マリ必要アル記載事項ヲ網羅セズ)

本籍		東京市麴町區元園町一丁目三番地	
前戶主		甲野仁吉	
族稱		華族	
前戶主ノ續柄		亡 甲野仁吉長男	
父		亡 甲野仁吉	
母		松子	
長男		甲野義太郎	
出生		明治拾八年六月貳拾壹日	
大正參年拾貳月參拾壹日前戶主仁吉死亡ニ因リ家督相續届出大正四年壹月拾日受附 大正四年八月拾日附辭令ヲ以テ華族ニ列セラレ右届出同月拾七日受附 麴町區麴町四丁目六番地ニ轉籍届出大正四年拾月六日受附 乙野梅子ト婚姻届出大正四年拾壹月七日受附 姪子戶主義太郎ノ同意ヲ得スシテ神奈川縣橋樹郡橋村十番地丙川八ト婚姻ヲ爲シタルニ 因リ復籍拒絕届出大正參年拾貳月拾日受附			

前戶主		甲野義太郎	
族稱		華族	
前戶主ノ續柄		亡 甲野仁吉長男	
父		亡 甲野仁吉	
母		松子	
長男		甲野義太郎	
出生		明治貳年參月四日	
妻		乙野忠藏	
母		夏子	
二女		梅子	
大正拾年拾壹月壹日午後八時本籍ニ於テ死亡戶主甲野義太郎届出同月貳日受附 千葉縣千葉郡千葉町五番地戶主乙野忠藏二女大正四年拾壹月七日甲野義太郎ト婚姻届出同日 入籍			

千葉縣千葉郡千葉町四番地ニ於テ出生父甲野義太郎届出大正五年九月拾八日千葉町長波川保吉受附同月貳拾日送付入籍
 疾病ニ因リ家政ヲ執ルニ堪ヘサルニ因リ推定家督相續人廢除大正貳拾年七月六日裁判確定戶主甲野義太郎届出同月八日受附

女		長		男		長	
出生		母	父	出生		母	父
大正六年九月參日	櫻子	梅子	甲野義太郎	大正五年九月拾壹日			甲野義太郎
			長女		禮太郎		長男

本籍ニ於テ出生父甲野義太郎届出大正八年貳月拾日受附入籍
 乙原藤子ト婚姻届出大正參拾參年七月五日受附

弟		男		二		
出生	族稱	母	父	出生	母	父
明治參拾四年五月七日	平民	松子	甲野仁吉	大正八年貳月參日	梅子	甲野義太郎
			二男			二男

養父麴町區元園町一丁目四番地戶主丙川信太郎弟信二郎及養母鶴子ト協議離縁届出大正九年拾月壹日受附復籍
 大正拾年拾月拾日東京地方裁判所ニ於テ懲役ノ刑ニ處セラレ華族ノ族稱喪失右同裁判所ノ報告同月拾六日受附
 千葉縣千葉郡千葉町三番地ニ分家届出大正拾五年拾月拾五日千葉町長波川保吉受附同月拾六日送付除籍

印

千葉縣千葉郡千葉町四番地戶主乙原信藏二女大正參拾參年七月五日甲野禮二郎卜婚姻屆出同日入籍

出生		大正拾貳年五月六日	
父	乙原信藏	母	秋子
家族ノ續柄	二男禮二郎妻	父	丙山忠吉
母	藤子	母	冬子
出生	大正元年拾月五日	父	二女
出生	大正元年拾月五日	母	萩子
出生	大正元年拾月五日	父	冬子
出生	大正元年拾月五日	母	二女

魏町區元園町一丁目六番地戶主丙山忠吉二女戶主甲野義太郎姪入籍屆出大正參拾參年九月七日受附
 神奈川縣橋樹郡橋村十番地丙川悌八卜婚姻屆出大正參拾參年拾月壹日橋村長山邊熊藏受附同月參日送付除籍

(台三)

魏町區平河町一丁目四番地戶主丙野悌三長女杉子本籍ニ於テ庶子出生父甲野禮太郎屆出大正參拾參年拾月四日受附入籍

出生		大正貳拾貳年八月壹日	
父	甲野禮太郎	母	丙野杉子
家族ノ續柄	妻梅子姪孫	父	乙野忠兵衛
母	智太郎	母	竹子
出生	大正貳拾參年拾壹月拾日受附	父	三男
出生	大正貳拾參年拾壹月拾日受附	母	忠之助
出生	大正貳拾參年拾壹月拾日受附	父	忠之助
出生	大正貳拾參年拾壹月拾日受附	母	忠之助

千葉縣千葉郡千葉町五番地戶主乙野忠藏曾孫入籍戶主妻梅子屆出大正參拾參年拾壹月拾日受附

(台三)

附錄第四號 戶籍記載例

(括弧内ノ記載ハ戶籍ノ記載ヲ爲スヘキ事項欄ヲ示ス)

目次

戶籍記載例

出生

- 一 子ノ本籍地ニ於テ届出テタル嫡出子出生ニ關スル記載(子ノ事)
- 二 出生地ニ於テ同居者ヨリ届出テタル私生子出生ニ關スル記載(同上)
- 三 庶子カ一家ヲ創立スル場合ニ於テ子ノ本籍地ニ於テ後見人ヨリ届出テタル庶子出生ニ關スル記載(同上)
- 四 父未定ノ子ノ出生ニ關スル記載(後夫ノ戶籍中)
- 五 非本籍市長ノ送付ニ係カル航海日誌ノ謄本ニ依ル嫡出子出生ニ關スル記載(子ノ事)
- 六 名未定ノ子ノ出生ニ關スル記載(同上)
- 七 前例ニ付キ子ノ名ノ追完ニ關スル記載(同上)
- 八 棄兒發見ニ關スル記載(同上)
- 九 棄兒ノ引取ニ因ル戶籍ノ訂正(同上)
- 十 私生子認知ノ效力ヲ生セシムル目的ヲ以テ父母共ニ届出テタル嫡出子出生ニ關スル記載(同上)
- 十一 私生子認知ノ届出ニ因リ子カ父ノ家ニ入ル場合ニ於ケル認知ニ付テノ記載(父ノ戶籍中)
- 十二 除籍地ノ市町村長カ他ノ市町村ニ在ル父ノ家ニ入ルヘキ私生子ノ認知ニ付テノ記載及ヒ入籍通知ニ因リテ爲ス除籍(原籍戶籍中)

養子縁組

- 十三 裁判ニ依ル認知ニ關スル記載(父ノ戶籍中)
- 十四 遺言ニ依ル認知ニ關スル記載(同上)
- 十五 本籍地ヲ同シクスル當事者カ本籍地ニ於テ届出テタル養子縁組ニ因ル入籍(養家ノ戶籍中)
- 十六 同上除籍(實家ノ戶籍中)
- 十七 本籍地ヲ異ニスル當事者カ養親ノ所在地ニ於テ届出テタル養子縁組ニ因ル入籍(養家ノ戶籍中)
- 十八 同上除籍(實家ノ戶籍中)
- 十九 婚家又ハ養家ヨリ更ニ他家ニ縁組ヲ爲シタル場合ニ於ケル入籍(新縁組ヲ爲シタル養家ノ戶籍中)
- 二十 夫ト共ニスル縁組ニ因ル妻ノ入籍(養家ノ戶籍中)
- 二十一 同上除籍(籍中妻ノ事項欄)
- 二十二 養子ニ代ハリ父母カ承諾ヲ爲ス養子縁組ニ關スル記載(養家ノ戶籍中)
- 二十三 夫カ夫婦ノ名義ヲ以テスル縁組ニ關スル記載(養家ノ戶籍中)
- 二十四 遺言ニ依ル養子縁組ニ關スル記載(養家ノ戶籍中)
- 二十五 縁組届出ノ不受理ニ對スル抗告ニ付テノ裁判ニ依ル記載(同上)
- 二十六 養子縁組取消ノ裁判ニ因ル除籍(括弧内ノ記載ハ婚家ヨリ縁組ニ因リテ他家ニ入りタル者カ縁組ノ取消ノ場合ニ於テ婚家ノ廢家ノ爲メ其實家ニ復籍スル場合ニ關スル) (同上)

離婚

- 二十七 實家ト養家ト本籍地ヲ同シクスル場合ニ於ケル協議離婚ニ因ル養子ノ除籍(養家ノ戶籍中)
- 二十八 同上復籍(實家ノ戶籍中)
- 二十九 養子ト共ニ妻ノ除籍(養家ノ戶籍中)
- 三十 同上入(復)籍(籍中妻ノ事項欄)
- 三十一 實家ノ本籍地外ニ於テ届出テタル協議離婚ニ因ル復籍(實家ノ戶籍中)
- 三十二 養親ノ死亡後養子カ戶主ノ同意ヲ得テ爲ス離婚ニ因ル除籍(養家ノ戶籍中)
- 三十三 裁判上ノ離婚ニ因ル養子ノ除籍(同上)
- 三十四 同上一家創立ニ關スル記載(創立シタル家ノ戶籍中)
- 三十五 離婚及ヒ離縁ノ後養家ノ本籍地ニ於テ届出テタル一家創立ニ關スル記載(同上)
- 三十六 同上實家ノ本籍地ニ於テ届出テタル一家創立ニ關スル記載(同上)
- 三十七 離婚及ヒ一家創立ニ因ル除籍(養家ノ戶籍中)
- 三十八 離婚及ヒ實家再興ニ因ル除籍(同上)
- 三十九 夫ニ付キ婚姻ニ關スル記載(夫ノ事)
- 四十 婚姻ニ因ル妻ノ入籍(婚家ノ戶籍中)

離婚

- 四十一 同上除籍(實家ノ戶籍中)
- 四十二 婚姻證書ノ謄本ノ送付ヲ受ケタル場合ニ關スル記載(夫ノ事)
- 四十三 妻ニ付キ婿養子縁組ニ關スル記載(妻ノ事)
- 四十四 婿養子縁組ニ因ル夫ノ入籍(養家ノ戶籍中)
- 四十五 同上夫ノ除籍(婿養子ノ事項欄)
- 四十六 入夫婚姻ニ因ル夫ノ入籍(新籍中入夫ノ事項欄)
- 四十七 妻ニ付キ入夫婚姻ニ關スル記載(同妻ノ事項欄)
- 四十八 父母ノ婚姻ニ因ル嫡出子ノ身分取得ニ關スル記載(嫡出子ノ身分者ノ事)
- 四十九 檢事ノ請求ニ因ル婚姻取消ノ裁判ニ關スル記載(夫ノ事)
- 五十 同上妻ノ除籍(婚家ノ戶籍中)
- 五十一 本籍不明ノ夫カ婚姻ヲ爲シタル後本籍分明ノ届出ヲ爲シタル場合ニ於ケル夫ニ付テノ記載(夫ノ事)
- 五十二 同上妻ノ入籍(婚家ノ戶籍中)
- 五十三 同上除籍(實家ノ戶籍中)
- 五十四 夫ニ付キ協議離婚ニ關スル記載(夫ノ事)
- 五十五 協議離婚ニ因ル妻ノ除籍(妻ノ事)

- 五十六 同上復籍(實家ノ戶籍中)
- 五十七 夫ニ付キ裁判上ノ離婚ニ關スル記載(夫ノ事)
- 五十八 裁判上ノ離婚ニ因ル妻ノ除籍(妻ノ事)
- 五十九 同上復籍(實家ノ戶籍中)
- 親權及ヒ後見
- 六十 親權(管理權)ノ喪失ニ關スル記載(子ノ事)
- 六十一 失權宣告ノ取消ニ關スル記載(同上)
- 六十二 後見ノ開始ニ關スル記載(無能力者)
- 六十三 後見人ノ更迭ニ關スル記載(同上)
- 六十四 後見ノ終了ニ關スル記載(同上)
- 六十五 保佐人ニ關スル記載(同上)
- 隱居
- 六十六 隱居ニ關スル記載(隱居者ノ)
- 六十七 裁判所ノ許可ヲ得テ爲ス隱居ニ關スル記載(同上)
- 六十八 婚姻ニ因リ隱居ヲ爲シタルモノト看做ス場合ニ關スル記載(實家ノ事)
- 籍中戶主
- 死亡及ヒ失踪
- 六十九 本籍地ニ於テ届出テタル死亡ニ關スル記載(死亡者ノ)
- 七十 水難ニ付キ取調官臨ノ報告ヲ受ケタル場合ニ關スル記載(同上)
- 七十一 在監中ノ死亡ニ關スル記載(同上)
- 七十二 本籍氏名不明ノ死亡者ニ付キ本籍氏名ノ報告アリタル場合ニ關スル記載(同上)

- 七十三 死亡ニ關シ職權ヲ以テ爲ス記載(同上)
- 七十四 失踪ニ關スル記載(失踪者ノ)
- 家督相續
- 七十五 選定家督相續人ノ相續ニ關スル記載(新戶籍中戶)
- 七十六 前戶主ノ戶籍ノ抹消(前戶主ノ)
- 七十七 入夫婚姻ニ因ル前戶主ノ戶籍ノ抹消(同上)
- 七十八 胎兒ノ家督相續ニ付キ前戶主ノ戶籍ノ記載(前戶主ノ)
- 七十九 家督相續人タル胎兒ノ死體分娩ニ關スル記載(同上)
- 八十 胎兒ノ家督相續ニ付キ新戶籍ノ記載(新戶籍中戶)
- 八十一 家督相續人タル胎兒ノ出生ノ届出ニ因ル前戶主ノ戶籍ノ抹消(前主ノ事)
- 八十二 家督相續ノ回復ニ付キ新戶籍ノ記載(新戶籍中戶)
- 八十三 家督相續ノ回復ノ場合ニ於テ戶主ノ名義ヲ有セシ者ノ戶籍ノ抹消(戶主ノ名義ヲ有セシ者ノ事)
- 推定家督相續人ノ廢除
- 八十四 廢除ニ關スル記載(家督相續人)
- 八十五 廢除取消ニ關スル記載(廢除セラレタ)
- 家督相續人ノ指定
- 八十六 指定ニ關スル記載(戶主ノ)
- 八十七 指定ノ取消ニ關スル記載(同上)
- 八十八 指定家督相續人ノ死亡ニ關スル記載(同上)
- 八十九 家督相續人ノ指定ノ失效ニ關スル記載(同上)

(台三)

入籍、離籍及ヒ復籍拒絕

- 九十 民法第七百三十七條ノ規定ニ依ル入籍(入リタル家ノ戶籍)
- 九十一 同上除籍(去リタル家ノ戶籍)
- 九十二 民法第七百三十八條ノ規定ニ依ル入籍(入リタル家ノ戶籍)
- 九十三 離籍ニ關スル記載(離籍者ノ戶籍中離籍セ)
- 九十四 離籍ニ因ル除籍(同上)
- 九十五 離籍セラレタル者ノ妻ノ除籍(同妻ノ)
- 九十六 離籍ニ因ル一家創立ニ關スル記載(新戶籍中戶)
- 九十七 離籍セラレタル者ノ妻ノ入籍(同妻ノ)
- 九十八 復籍拒絕ニ關スル記載(戶主ノ)
- 九十九 新戶籍ニ於ケル復籍拒絕ニ關スル事項ノ移記(新戶籍中戶)
- 百 復籍ヲ拒絕セラレタル者ノ一家創立ニ因ル復籍拒絕ノ記載抹消(主ノ事)
- 復籍ヲ拒絕セラレタル者ノ死亡ニ付キ職權ヲ以テスル記載(同上)
- 廢家及ヒ絶家
- 百二 廢家ニ關スル記載(廢家ノ主)
- 百三 裁判所ノ許可ヲ得テ爲ス廢家ニ關スル記載(同上)
- 百四 廢家ニ因ル除籍(同上)
- 百五 絶家ニ關スル記載(最終戶主)
- 百六 絶家ニ因ル一家創立ニ關スル記載(一家創立者)

(台三)

- 百七 絶家ノ家族ノ一家創立ニ因ル除籍(絶家ノ戶籍中)
- 百八 職權ヲ以テスル絶家ノ戶籍ノ抹消(最終戶主)
- 分家
- 百九 分家ニ因ル新戶籍ノ記載(戶主ノ)
- 百十 分家ノ戶主ニ隨ヒテ其家ニ入ル直系卑屬ノ入籍(新戶籍中直系)
- 百十一 分家者ノ除籍(本家ノ戶籍中分家)
- 百十二 分家ノ戶主ニ隨ヒテ其家ニ入ル直系卑屬ノ除籍(同直系卑屬)
- 廢絶家再興
- 百十三 廢絶家再興ニ因ル新戶籍ノ記載(戶主ノ)
- 百十四 廢絶家再興者ノ除籍(去リタル家ノ戶籍)
- 外國人タル女トノ婚姻ニ關スル記載(夫ノ事)
- 百十五 外國人タル女トノ婚姻ニ關スル記載(同上)
- 百十六 婚姻及ヒ之ニ因ル國籍取得ニ關スル記載(妻ノ事)
- 百十七 認知及ヒ之ニ因ル國籍取得ニ關スル記載(子ノ事)
- 百十八 歸化ニ關スル記載(一家創立者)
- 百十九 婚姻及ヒ之ニ因ル國籍喪失ニ關スル記載(國籍喪失者)
- 百二十 國籍回復ニ關スル記載(國籍回復者)
- 氏名、族稱ノ變更及ヒ變換
- 百二十一 名ノ變更ニ關スル記載(名ヲ變更シタ)
- 百二十二 族稱ノ變更ニ關スル記載(戶主ノ)